

工事番号													(様式-1)		
		課長		課長補佐		課長補佐		係員			検算		担当		
工 事 名		令和6年度(明許繰越)豊科武道館柔道場大規模改修工事										金抜設計書	設計書		
施 工 箇 所		安曇野市 豊科武道館柔道場													
設 計 大 要								施 工 方 法				請 負			
<p>■豊科武道館柔道場の大規模改修工事</p> <p>○延べ面積：608.89㎡ 鉄骨造 平屋</p> <p>○外壁・屋根塗装、サッシ断熱化、天井補強、畳入替、照明LED化、空調設備新設 ほか</p>								施 工 期 間				日 間			
								契 約 年 月 日				令 和 年 月 日			
								竣 工 予 定 年 月 日				令 和 8 年 3 月 13 日			
								契 約 保 証 方 法				金 銭 的 保 証			
								<p>・別途指定する建設機械については排出ガス対策型の使用を原則とする。</p> <p>・この設計書で施工機械・仮設材の規格、調査条件等の記載及び「人、h、ℓ、%、日、時、工数、空m3、掛m2、日・回、日回、供用日、月」の単位により見積りのための参考数量を示したものは任意扱いです。したがって、内訳書の作成や契約を拘束するものではありません。ただし、指定した場合を除きます。</p>							

工事設計用紙

名 称	摘 要	単 位	数 量	単 価	金 額	備 考
令和6年度(明許繰越)豊科武道館柔道場大規模改修工事 工事費内訳書						
内 訳 書						
A 共通仮設費		式	1			
B 建築工事費		式	1			
C 電気設備工事費		式	1			
D 機械設備工事費		式	1			
純工事費計						
現場管理費		式	1			
一般管理費等		式	1			
工事価額計						
消費税相当額		式	1			10%
設計工事費合計						

工事設計用紙

名 称	摘 要	単 位	数 量	単 価	金 額	備 考
A 共通仮設費						
共通仮設	率仮設	式	1			
<積上げ仮設>						
仮囲い	成型鋼板 H=2.0 6ヵ月	m	154			
出入り口	クローズド W=6.0 H=1.8 6ヵ月	カ所	2.0			
交通誘導警備員		人	60.0			
室内環境測定	アクティブ法 3カ所 改修前後 計6回	式	1.0			
倉庫	武道館物品入れ 9ヶ月	式	1.0			
物品移動費	2名 2日間(移設、戻し)	式	1.0			
鉄板敷き	6ヶ月	m ²	300			
積上げ仮設費 計						
A-計						

工事設計用紙

名 称	摘 要	単 位	数 量	単 価	金 額	備 考
B 建築工事費						
B-1 直接仮設工事		式	1			
B-2 柔道場撤去工事		式	1			
B-3 柔道場天井工事		式	1			
B-4 畳工事		式	1			
B-5 鋼製建具工事		式	1			
B-6 塗装工事		式	1			
B-7 内外装工事		式	1			
B-計						

工事設計用紙

名 称	摘 要	単 位	数 量	単 価	金 額	備 考
B-1 直接仮設工事						
墨出し		m2	624			
外部足場	枠組本足場、W1.2 H<10m 6ヶ月	m2	620			
養生シート	メッシュシート	m2	620			
安全手すり	最上部 6ヶ月	m	155			
内部足場(柔道場)	枠組棚足場、4ヶ月	m2	402			
床養生		m2	402			
清掃跡片付		m2	402			
内部足場	脚立足場 並列 4ヵ月	m2	207			
床養生		m2	207			
清掃跡片付		m2	207			
竣工時清掃		m2	624			
	B-1 直接仮設工事		小 計			

工事設計用紙

名 称	摘 要	単 位	数 量	単 価	金 額	備 考
B-3 柔道場天井工事						
SZグリップ補強・ボルト締工法	イアルボード貼り部@455 材工	m ²	276			
下がり天井SZグリップ補強	石膏ボード貼り部@303 材工	m ²	107			
エアコン部 開口補強	材工	箇所	7.0			
照明部分開口補強	材工	箇所	23.0			
換気扇部分開口補強	材工	箇所	6.0			
イアルボード貼り	t25 40K 木目調 910*910 材工	m ²	276			
グラスウールボード部コ型見切	材工	m ²	182			
下がり天井石膏ボード貼り	t9.5 材工	m ²	107			
グラスウールボード部コ型見切	グラスウールボード部取合 材工	m ²	98.3			
天井裏 グラスウール敷	t1002重敷 24K 材工	m ²	383			
運搬納入費		式	1.0			
天井点検口	600□ 材工	箇所	7.0			
床 点検口新設	アルミ600□ 開口補強含む	式	1.0			
床下点検・補修	既存床下状況による対応	式	1.0			
	B-3 柔道場天井工事		小 計			

工事設計用紙

名 称	摘 要	単 位	数 量	単 価	金 額	備 考
B-4 畳工事						
柔道畳	軽量発泡体入 上壇含む	畳	247			
採寸費		式	1.0			
納入施工費		式	1.0			
	B-4 畳工事		小 計			

工事設計用紙

名 称	摘 要	単 位	数 量	単 価	金 額	備 考
B-5 鋼製建具工事						
(アルミサッシュ断熱化改修 カバー工法)						
AW1	外倒窓6連窓 固定網戸	箇所	1.0			
AW1-A	外倒窓5連+FIX窓 固定網戸	箇所	1.0			
AW2	外倒窓2連 固定網戸	箇所	3.0			
機械器具損料		式	1.0			
既存建具撤去費		式	1.0			
既存建具処分費		式	1.0			
取り付け費		式	1.0			
網戸取付費		式	1.0			
シーリング費	内部	式	1.0			
シーリング費	外部	式	1.0			
運搬費		式	1.0			
実測調査管理費		式	1.0			
法定福利費		式	1.0			
	(アルミサッシュ断熱化改修 カバー工法)		小小計			

工事設計用紙

名 称	摘 要	単 位	数 量	単 価	金 額	備 考
(アルミサッシュ網戸工事)						
AW3	網戸張替、新規・調整	箇所	1.0			
AW4	網戸張替	箇所	1.0			
AW4-A	網戸新規	箇所	1.0			
AW04(AW4')	網戸張替・調整	箇所	2.0			
AW04-A(AW4')	網戸張替・調整	箇所	1.0			
AW5	網戸張替・調整	箇所	1.0			
AW6	網戸張替・調整	箇所	6.0			
AW6-A	網戸張替、新規	箇所	1.0			
AW7	網戸張替・調整	箇所	1.0			
AW8	網戸新規・調整	箇所	2.0			
AW9	網戸張替・調整	箇所	2.0			
AW10	網戸張替・調整	箇所	1.0			
AW11	網戸新規・調整	箇所	1.0			
AW12	網戸張替・調整	箇所	1.0			
調査管理費		式	1.0			
運搬費		式	1.0			
取り付け費		式	1.0			
法定福利費		式	1.0			

工事設計用紙

名 称	摘 要	単 位	数 量	単 価	金 額	備 考
	(アルミサッシュ網戸工事)		小小計			
(内窓工事)						
AW6	引違い窓 2枚建	箇所	7.0			
取り付け費		箇所	7.0			
副資材		箇所	7.0			
調整費		箇所	7.0			
	(内窓工事)		小小計			
(ドア取替工事)						
SD4	軽量鋼板ドア	式	1.0			
	SUS沓摺・アングルピース錆止塗装					
	レバーハンドル錠・マスターキー・DC・床付戸当					
取り付け費		式	1.0			
運搬費		式	1.0			
法定福利費		式	1.0			
	(ドア取替工事)		小小計			

工事設計用紙

名 称	摘 要	単 位	数 量	単 価	金 額	備 考
(オペレーター工事)						
AW-1 MD-NW	外倒しオペレーター2連窓	箇所	2.0			
	外倒しオペレーター	箇所	2.0			
AW-1' MD-NW	外倒しオペレーター2連窓	箇所	1.0			
	外倒しオペレーター	箇所	3.0			
AW-2 MD-NW	外倒しオペレーター	箇所	3.0			
取り付け費		式	1.0			
法定福利費		式	1.0			
	(オペレーター工事)		小小計			
(ガラス工事)						
金属建具 複層ガラス	強化4+A6+FL3	m2	32.3			
ガラスシーリング		m	197			
運搬費		式	1.0			
AW-6 破損ガラス交換	網入型板ガラス t6.8 2枚	m2	0.9			
ガラスシーリング		m	10.8			
施工費	既存ガラス撤去共	m2	0.9			
運搬費		式	1.0			
法定福利費		式	1.0			
	(ガラス工事)		小小計			

工事設計用紙

名 称	摘 要	単 位	数 量	単 価	金 額	備 考
(暗幕カーテン取替工事)						
AW-1	1.5倍ヒダ 防災ラベル	set	2.0			
AW-1'	1.5倍ヒダ 防災ラベル	set	2.0			
AW-2	1.5倍ヒダ 防災ラベル	set	3.0			
AW-7	1.5倍ヒダ 防災ラベル	set	1.0			
AW-9	1.5倍ヒダ 防災ラベル	set	2.0			
AW-10	1.5倍ヒダ 防災ラベル	set	1.0			
AW-11	1.5倍ヒダ 防災ラベル	set	1.0			
AW-12	1.5倍ヒダ 防災ラベル	set	1.0			
取り付け費		式	1.0			
	(暗幕カーテン取替工事)		小小計			
(鋼製建具工事分産廃費)	撤去・運搬・処分	式	1.0			
	B-5 鋼製建具工事		小 計			

工事設計用紙

名 称	摘 要	単 位	数 量	単 価	金 額	備 考
B-6 塗装工事						
屋根再塗装	鋼板					
下地調整	RB種 3種ケレンB	m ²	899			
錆止め塗装	C種	m ²	899			
遮熱塗装	クールタイト Si 屋根用遮熱塗装	m ²	899			
外壁再塗装	ALCパネル					
高圧洗浄		m ²	399			
下地調整	RB種	m ²	399			
耐候性塗装	DP-A種	m ²	399			
軒裏再塗装	ケイカル板					
下地処理	RB種	m ²	148			
アクリル樹脂塗装	NAD B種	m ²	148			
玄関軒裏木部再塗装						
下地処理	RB種	m ²	10.3			
木材保護塗装	WP A種	m ²	10.3			
破風再塗装	鋼板					
下地調整	RB種 3種ケレンB	m ²	130			
錆止め塗装	C種	m ²	130			
耐候性塗装	DP-2	m ²	130			

工事設計用紙

名 称	摘 要	単 位	数 量	単 価	金 額	備 考
軒樋・豎樋 再塗装	鋼板					
下地調整	B種	m	213			
錆止め塗装	C種	m	213			
耐候性塗装	DP-2	m	213			
雪止アングル 再塗装	スチール					
下地調整	B種	m	105			
錆止め塗装	C種	m	105			
耐候性塗装	DP-1	m	105			
水切 再塗装	鋼板					
下地調整	B種	m	129			
錆止め塗装	C種	m	129			
耐候性塗装	DP-2	m	129			
外部金物類 再塗装	換気フード・ガラリ・地窓					
下地調整	RB種 3種ケレンB	m ²	4.7			
錆止め塗装	C種	m ²	4.7			
耐候性塗装	DP-2	m ²	4.7			

工事設計用紙

名 称	摘 要	単 位	数 量	単 価	金 額	備 考
鋼製建具 再塗装	鋼板 取替SD-4を含む					
全面下地処理	けれん・錆止め	m ²	104			
合成樹脂調合塗装	3回塗り	m ²	104			
木製建具 再塗装	すべて					
全面下地処理	けれん・錆止め	m ²	22.6			
合成樹脂調合塗装	2回塗り	m ²	104			
窓枠・カーテンBOX 再塗装	すべて					
CL塗装	CL A種 下地調整	m	389			
柔道場						
天井 EP塗装	新規 石膏ボード	m ²	144			
廻縁 CL塗装	新規 木部	m	131			
壁 SOP塗装	シナ有効合板 再塗装	m ²	60.0			
壁 見切縁 CL塗装	木部 再塗装	m	78.8			
壁 SOP塗装	木板貼り 再塗装	m ²	120			
巾木 CL塗装	木部 再塗装	m	40.5			
天井 CL塗装	上壇木部 再塗装	m ²	10.5			
廻縁 CL塗装	上壇木部 再塗装	m	13.8			
壁 SOP塗装	木檜集成材 再塗装	m ²	20.8			

工事設計用紙

名 称	摘 要	単 位	数 量	単 価	金 額	備 考
玄関						
天井 EP塗装	石綿吸音板 再塗装	m ²	27.2			
壁 EP塗装	吹付タイル 再塗装	m ²	32.0			
CL塗装	下駄箱 再塗装	m ²	21.1			
SOP塗装	受付カウンター 再塗装	m ²	1.2			
倉庫・器具庫						
天井 EP塗装	石膏ボード張替	m ²	24.8			
壁 SOP塗装	シナ合板OP 再塗装	m ²	65.8			
CL塗装	棚類 再塗装	m ²	9.6			
事務室・研修室						
天井 EP塗装	ジプトーン 再塗装	m ²	19.2			
壁 SOP塗装	シナ合板OP 再塗装	m ²	55.9			
男便所・女便所						
天井 EP塗装	ケイカル板 再塗装	m ²	25.1			
壁 SOP塗装	石膏ボードOP 再塗装	m ²	56.2			
前室						
天井 EP塗装	石綿吸音板 再塗装	m ²	2.4			
廻縁 CL塗装	木部 再塗装	m	6.2			
壁 SOP塗装	木板貼り 再塗装	m ²	4.3			

工事設計用紙

名 称	摘 要	単 位	数 量	単 価	金 額	備 考
CL塗装	洗面廻り木部 再塗装	m ²	1.1			
外倉庫						
天井 EP塗装	ケイカル板 再塗装	m ²	5.3			
壁 SOP塗装	石膏ボードOP 再塗装	m ²	8.1			
壁 SOP塗装	石膏ボード 新規	m ²	11.6			
廊下						
天井 EP塗装	ジプトーン 再塗装	m ²	23.1			
壁 NAD塗装	シナ合板VP 再塗装	m ²	49.9			
壁 SOP塗装	黒板掲示板塗装	m ²	3.3			
男女更衣室						
天井 EP塗装	ジプトーン 再塗装	m ²	42.1			
壁 CL塗装	シナ合板OSCL 再塗装	m ²	53.3			
巾木 CL塗装	木部 再塗装	m	36.2			
CL塗装	洗面廻り木部 再塗装	m ²	5.4			
男女倉庫						
天井 EP塗装	ケイカル板 再塗装	m ²	20.8			
壁 CL塗装	シナ合板OSCL 再塗装	m ²	53.3			
	B-6 塗装工事		小 計			

工事設計用紙

名 称	摘 要	単 位	数 量	単 価	金 額	備 考
B-7 内外装工事						
倉庫・器具庫						
天井石膏ボード張替え	PB9.5	m ²	24.8			
柔道場						
廻り縁取り付け	35*35	m	131			
外倉庫						
タイル壁へPB12.5貼り	木下地共	m ²	11.6			
ビニール床シート新設	ストロング 調整モルタル共	m ²	5.3			
ソフト巾木 新規	H60	m	9.5			
女子更衣室						
壁クロス張替		m ²	30.2			
男女倉庫						
タイル壁へPB12.5貼り	木下地共	m ²	57.0			
同上 壁クロス張	新規	m ²	57.0			
床組	ころばし床組 合板t15	m ²	20.8			
ビニール床シート新設	ストロング	m ²	20.8			
ソフト巾木 新規	H60	m	23.0			
建具枠追加	壁フカシ部分 AW10,12 SD11,13	m	27.0			

工事設計用紙

名 称	摘 要	単 位	数 量	単 価	金 額	備 考
男女便所・男女更衣室						
ビニール床シート撤去新設	ストロング	m ²	64.9			
流し台・ライニング既設移動 復旧	床開口・復旧共	箇所	2.0			
男女便所						
ソフト巾木 撤去新設	H60	m	23.0			
諸室すべて						
天井裏 グラスウール敷	t1002重敷 24K	m ²	165			
内外装材 産廃物処理費	収集～運搬～処分	式	1			
外部補修						
竖樋交換	75φ	m	3.5			
シール打ち替え	外壁・破風・水切・建具廻り	m	813			
タイル補修 床・壁	二丁掛	m ²	5.0			
基礎クラック補修		m ²	2.0			
SUS細目グレーチング	600*1000 靴拭きマット	箇所	2.0			
室外機基礎架台	D13@150 t150	式	1.0			
	B-7 内外装工事		小 計			

工事設計用紙

名 称	摘 要	単 位	数 量	単 価	金 額	備 考
C 電気設備工事費						
C-1 照明器具LED更新改修工事						
	C-1-1 LED照明器具更新	式	1.0			
	C-1-2 既設照明器具撤去工事	式	1.0			
	C-1-3 既設配線改修	式	1.0			
	C-1-4 産廃運搬処分費	式	1.0			
			小計 C-1			
C-2 冷暖房・換気扇電源工事						
	C-2-1 冷暖房屋外機電源工事	式	1.0			
	C-2-2 冷暖房屋内機電源工事	式	1.0			
	C-2-3 換気扇電源工事	式	1.0			
			小計 C-2			
C-3 トイレコンセント増設工事		式	1.0			
C-4 既設温水器電源撤去		式	1.0			
C-5 既設壁コンセント改修		式	1.0			
C-6 自動火災報知設備改修		式	1.0			
C - 計						

工事設計用紙

名 称	摘 要	単 位	数 量	単 価	金 額	備 考
C-1 照明器具LED更新改修工事						
C-1-1 LED照明器具更新						
LED照明器具 A45	直付 XLX459DEN相当品	台	1			
LED照明器具 A42	直付 XLX420AENP相当品	台	12			
LED照明器具 A42WP	直付 XLX422AENZ相当品	台	2			
LED照明器具 A2	直付 XLX200AENC相当品	台	4			
LED照明器具 A2BT	直付 XLX201AGNC相当品	台	2			
LED照明器具 B4WP	NNFW41800C相当品	台	4			
LED照明器具 C2	直付 XLX200AENC相当品	台	1			
LED照明器具 D2WP	NNFW21800K相当品	台	3			
LED照明器具 E2	LGB85032相当品	台	2			
LED照明器具 F	XND9989SNZ相当品	台	16			
LED照明器具 G	XND0690SN相当品	台	6			
LED照明器具 H	埋込 XLX160RKN相当品	台	20			
LED照明器具 I	直付 XL663PFVJ相当品	台	3			
LED照明器具 J	XNW0630WN+リニューアルプレート相当品	台	3			
LED照明器具 a	NNFB91625C相当品	台	1			
LED照明器具 b	FA20312C+FK21747C相当品	台	5			

工事設計用紙

名 称	摘 要	单 位	数 量	单 価	金 額	備 考
C-1-2 既設照明器具撤去工事						
既設照明器具撤去 A	HID灯具埋込400W相当	台	10			
既設照明器具撤去 A	灯具昇降装置	台	10			
既設照明器具撤去 B	白熱灯埋込 IL80W相当	台	24			
既設照明器具撤去 C	蛍光灯埋込 FUL13W相当	台	3			
既設照明器具撤去 D	蛍光灯直付 L40W×1相当	台	12			
既設照明器具撤去 E	蛍光灯直付 L40W×2相当	台	1			
既設照明器具撤去 F	蛍光灯直付 L20W×1相当	台	3			
既設照明器具撤去 G	蛍光灯壁付 L20W×1相当	台	3			
既設照明器具撤去 H	誘導灯直付 L20W×1相当	台	5			
既設照明器具撤去 I	非常灯埋込 IL20W相当	台	1			
既設照明器具撤去 J	蛍光灯壁付 FL40W×1相当	台	4			
既設照明器具撤去 K	白熱灯埋込 IL60W相当	台	9			
既設照明器具撤去 L	蛍光灯直付 FL40W×1相当	台	2			
既設照明器具撤去 M	蛍光灯壁付 FL20W×1相当	台	3			
既設照明器具撤去 N	非常灯埋込 FL20W×1相当	台	2			
	小 計 C-1-2					

工事設計用紙

名 称	摘 要	単 位	数 量	単 価	金 額	備 考
C-1-4 産廃運搬処分費						
撤去材集積積込費	ガラスくず	t	0.02			
撤去材集積積込費	鉄くず	t	0.2			
撤去材集積積込費	混合廃棄物	t	0.26			
撤去材集積積込費	水銀灯類	個	10			
撤去材集積積込費	蛍光灯類	本	38			
撤去材運搬費	ガラスくず	t	0.02			
撤去材運搬費	鉄くず	t	0.2			
撤去材運搬費	混合廃棄物	t	0.26			
撤去材運搬費	水銀灯類	個	10			
撤去材運搬費	蛍光灯類	本	38			
撤去材処分費	ガラスくず	t	0.02			
撤去材処分費	鉄くず	t	0.2			
撤去材処分費	混合廃棄物	t	0.26			
撤去材処分費	水銀灯類	個	10			
撤去材処分費	蛍光灯類	本	38			
	小 計 C-1-4					

工事設計用紙

名 称	摘 要	単 位	数 量	単 価	金 額	備 考
C-2 冷暖房・換気扇電源工事						
C-2-1 冷暖房屋外機電源工事						
硬質ビニル電線管	HIVE82	m	5			
硬質ビニル電線管	HIVE82ノーマルベンド	個	1			
硬質ビニル電線管	HIVE82エントランスキャップ	個	1			
引込支持金具		式	1			
金属製可とう電線管	F83 ビニル被覆付	m	2			
金属製可とう電線管	F83 防水コネクター	個	1			
金属製可とう電線管	F83 防水異種カップリング	個	1			
金属製可とう電線管	F63 ビニル被覆付	m	2			
金属製可とう電線管	F63 防水コネクター	個	1			
金属製可とう電線管	F63 防水異種カップリング	個	1			
金属製可とう電線管	F50 ビニル被覆付	m	2			
金属製可とう電線管	F50 防水コネクター	個	1			
金属製可とう電線管	F50 防水異種カップリング	個	1			
金属製可とう電線管	F38 ビニル被覆付	m	6			
金属製可とう電線管	F38 防水コネクター	個	2			
金属製可とう電線管	F30 ビニル被覆付	m	6			
金属製可とう電線管	F30 防水コネクター	個	2			

工事設計用紙

名 称	摘 要	単 位	数 量	単 価	金 額	備 考
厚鋼電線管	GZ-54	m	5			
厚鋼電線管	GZ-54 ノーマルベンド	個	1			
厚鋼電線管	GZ-42	m	5			
厚鋼電線管	GZ-42 ノーマルベンド	個	1			
プルボックス	400×400 SUS WP	個	1			
波付硬質ポリエチレン管	FEP65	m	10			
波付硬質ポリエチレン管	FEP65 コネクター	個	2			
波付硬質ポリエチレン管	FEP50	m	10			
波付硬質ポリエチレン管	FEP50 コネクター	個	2			
埋設標識シート	150幅 2倍	m	10			
ケーブル	EM-CET100°	m	12			
ケーブル	EM-CET38°	m	20			
ケーブル	EM-CET22°	m	20			
ケーブル	EM-CET14°	m	10			
ケーブル	EM-CET8° -4C	m	10			
ケーブル	EM-IE5.5°	m	35			
ケーブル	EM-IE14°	m	20			
引込分電盤		面	1			

工事設計用紙

名 称	摘 要	単 位	数 量	単 価	金 額	備 考
C-4 既設温水器電源撤去						
温水器電源撤去切り離し		式	1			
電力会社申請手続費		式	1			
	C-4 既設温水器電源撤去		小 計			

工事設計用紙

名 称	摘 要	単 位	数 量	単 価	金 額	備 考
C-5 既設壁コンセント改修						
既設コンセント取替	2P15A×2	カ所	2			
	C-5 既設壁コンセント改修		小 計			

工事設計用紙

名 称	摘 要	単 位	数 量	単 価	金 額	備 考
C-6 自動火災報知設備改修						
既設感知器撤去	撤去(30個)結線処理	式	1			
作動式スポット型感知器	2種	個	19			
作動式スポット型感知器	天井取付パネル	枚	17			
雑材料消耗品		式	1			
計器取付費		式	1			
試験調整費		式	1			
消防手続立会経緯左飛		式	1			
	C-6 自動火災報知設備改修		小 計			

工事設計用紙

名 称	摘 要	単 位	数 量	単 価	金 額	備 考
D 機械設備工事費						
D-1 男子トイレ改修工事		式	1			
D-2 女子トイレ改修工事		式	1			
D-3 トイレ前流し台水栓取替工事		式	1			
D-4 柔道場北側更衣室手洗器撤去・閉栓工事		式	1			
D-5 男子更衣室・シャワー室水栓取替・閉栓撤去工事		式	1			
D-6 機械室撤去工事		式	1			
D-7 廃棄物処理費		式	1			
D-8 冷暖房機器設備工事		式	1			
D-9 換気設備工事		式	1			
小 計						

工事設計用紙

名 称	摘 要	単 位	数 量	単 価	金 額	備 考
D-1 男子トイレ改修工事						
<資材費>						
床排水フランジ(100塩ビ管用)	参考TOTO HP430-1	個	1			
ストレート型止水栓	参考TOTO T4BU(洋風便器給水用)	個	1			
ウォシュレットSB	参考TOTO TCF6623	個	1			
小便器用床フランジ(Φ50)	参考TOTO T64FWN	個	4			
SK流し排水金具	参考TOTO T37FS65	個	1			
手洗い自動水栓	参考TOTO 台付「自動水栓 TLE28SS1W・水栓取付脚TN154	セット	2			
ストレート型止水栓	参考TOTO T4BU(手洗い給水用)	個	2			
<衛生機器撤去・取付工事>						
既設洋風便器撤去工	再利用	組	1			
既設洋風便器取付工		組	1			
ウォシュレット取付工		組	1			
既設小便器撤去工	再利用	組	4			
既設小便器取付工		組	4			
既設SKシンク撤去工	再利用	組	1			
既設SKシンク取付工		組	1			
既設手洗い器水栓撤去工		個	2			

工事設計用紙

名 称	摘 要	単 位	数 量	単 価	金 額	備 考
自動単水栓取付工		個	2			
既設ストレート型止水栓撤去工	Φ13	個	2			
ストレート型止水栓取付工		個	2			
	D-1 男子トイレ改修工事		小 計			

工事設計用紙

名 称	摘 要	単 位	数 量	単 価	金 額	備 考
D-2 女子トイレ改修工事						
<資材費>						
床排水フランジ(100塩ビ管用)	参考TOTO HP430-1	個	1			
ストレート型止水栓	参考TOTO T4BU(洋風便器給水用)	個	1			
床置床排水大便器 ピュアレストQR	参考TOTOC232B・SH232BF	セット	2			
ウォシュレットSB	参考TOTO TCF6623	個	3			
手洗い自動水栓	参考TOTO 台付「自動水栓 TLE28SS1W・水栓取付脚TN154	セット	2			
ストレート型止水栓	参考TOTO T4BU(手洗い給水用)	個	2			
<衛生機器撤去・取付工事>						
既設洋風便器撤去工	再利用	組	1			
既設洋風便器取付工		組	1			
既設手洗い器水栓撤去工		個	2			
自動単水栓取付工		個	2			
既設ストレート型止水栓撤去工	Φ13	個	2			
ストレート型止水栓取付工		個	2			
既設和風便器撤去工	ロータンク式	個	2			
洋風便器取付工		組	2			
ウォシュレット取付工		組	1			

工事設計用紙

名 称	摘 要	単 位	数 量	単 価	金 額	備 考
<給水工事>						
既設給水管切断工	20A	箇所	2			
既設給水鋼管撤去工	20A(便所)	m	3			
水道用塩化ビニルライニング鋼管布設工	SGP-VD20A	m	3			
<排水工事>						
既設污水管切断工	VP100	箇所	2			
既設污水管撤去工	VP100(便所)	m	3			
塩化ビニル管布設工	VP100(便所)	m	3			
<土工費>						
コンクリート切断工		m	12.0			
コンクリート切断工取壊し工	H=200mm	m ³	0.8			
Con塊人力運搬工	20Km以下	m ³	0.8			
Con塊処理費	有筋	t	1.9			
人力掘削工		m ³	2.4			
土人力運搬工	20Km以下	m ³	2.4			
発生土処分費		m ³	0.8			

工事設計用紙

名 称	摘 要	単 位	数 量	単 価	金 額	備 考
人力埋め戻し工(砂)		m ³	1.6			
人力埋め戻し工(良質土)		m ³	1.0			
防湿シート	t=0.2	式	1			
差筋アンカー・配筋	D-10	式	1			
コンクリート人力打設(小運搬有り)	21-18-25N	m ³	0.8			
	D-2 女子トイレ改修工事		小 計			

工事設計用紙

名 称	摘 要	単 位	数 量	単 価	金 額	備 考
D-3 トイレ前流し台水栓取替工事						
人感センサー式単水栓	参考ミナミサワ SS3-HK	個	2			
既設水栓撤去工	Φ13	箇所	2			
単水栓取付費	Φ13	箇所	2			
	D-3 トイレ前流し台水栓取替工事		小 計			

工事設計用紙

名 称	摘 要	単 位	数 量	単 価	金 額	備 考
D-4 柔道場北側更衣室手洗器撤去・閉栓工事						
<機器撤去・閉栓作業>						
既設洗面器撤去工		組	2			
既設単水栓撤去工		個	2			
既設止水栓撤去工		個	2			
<既設給水管閉栓工事・屋外給水管閉栓工事>						
既設ビニル管切断工	Φ25	箇所	2			
水道用硬質塩化ビニル管継手	HIキャップ Φ25	個	1			
硬質塩化ビニル管継手工	Φ25	口	1			
<土工費>						
機械掘削工	BH=0.08	m ³	1.5			
機械埋め戻し工	BH=0.08良質土	m ³	1.5			

工事設計用紙

名 称	摘 要	単 位	数 量	単 価	金 額	備 考
<既設排水管閉栓工事>						
既設ビニル管切断工	Φ50	箇所	2			
硬質塩化ビニル管DV継手	キャップΦ50	個	1			
硬質塩化ビニル管継手工	Φ50	口	1			
<土工費>						
機械掘削工	BH=0.08	m ³	1.0			
機械埋め戻し工	BH=0.08良質土	m ³	1.0			
	D-4 柔道場北側更衣室手洗器撤去・閉栓工事		小 計			

工事設計用紙

名 称	摘 要	単 位	数 量	単 価	金 額	備 考
D-5 男子更衣室・シャワー室水栓取替・閉栓撤去工事						
<給水布設工事>						
人感センサー式単水栓	参考ミナミサワ SS3-HK	台	5			
単水栓取付工	Φ13	個	5			
水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管布設工	SGP-VB20A(隠蔽)	m	23			
水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管布設工	SGP-VD(埋設)	m	6			
水道用耐衝撃性硬質ポリ塩化ビニル管布設工	HIVP-20(埋設)	m	5			
不凍栓取付費	Φ20	本	2.0			
不凍栓ボックス	Φ100	本	2			
保温工(グラスウール保温筒)	Φ20	m	29			
既設配管接続工	Φ20(樹脂管類)	箇所	1			
機械掘削工	BH=0.08	m ²	3.0			
機械埋め戻し工	BH=0.08 洗砂	m ³	1.0			
機械埋め戻し工	BH=0.08 良質土	m ³	3.0			

工事設計用紙

名 称	摘 要	単 位	数 量	単 価	金 額	備 考
＜排水管閉栓工事・既設管閉栓作業＞						
既設管切断工	Φ100（樹脂管類）	箇所	4			
硬質塩化ビニル管継手 キャップ	Φ100	個	2			
硬質塩化ビニル管継手工	Φ100	口	2			
既設排水金物取外し工	再利用	箇所	2			
既設排水金物再取付費		箇所	2			
＜土工費＞						
人力掘削工		m ³	3			
人力埋め戻し工	発生土	m ³	3			
＜撤去工事＞						
既設水栓取外し工	Φ13	箇所	5			
既設鋼管切断工	Φ20	箇所	6			
既設鋼管撤去工	Φ20	m	10			
既設保温撤去工	(暗渠)	m	10			

工事設計用紙

名 称	摘 要	単 位	数 量	単 価	金 額	備 考
<シャワー室機器撤去工>						
既設洗面撤去工		組	2			
既設鏡撤去工		枚	7			
既設シャワー水栓撤去工		組	5			
既設単水栓撤去工		個	6			
既設COA撤去工	Φ100	個	1			
床排水金物撤去	T5A	個	8			
<給排水申請・竣工手続き費>						
給水申請・竣工検査手続き作成費	申請手数料含む	式	1			
排水設備申請・竣工手続き作成費	申請手数料含む	式	1			
	D-5 男子更衣室・シャワー室水栓取替・閉栓撤去工事		小 計			

工事設計用紙

名 称	摘 要	単 位	数 量	単 価	金 額	備 考
D-6 機械室撤去工事						
電気温水器撤去工	450L(再利用しない)	台	1			
既設電気温水器廻り配管撤去工		式	1			
	D-6 機械室撤去工事		小 計			

工事設計用紙

名 称	摘 要	単 位	数 量	単 価	金 額	備 考
D-7 廃棄物処理費						
解体廃材積込	混合物屑	t	4			
運搬	混合物屑	t	4			
処分費	混合物屑	t	4			
	D-7 廃棄物処理費		小 計			

工事設計用紙

名 称	摘 要	単 位	数 量	単 価	金 額	備 考
D-8 冷暖房機器設備工事						
ACM-1 ビル用マルチエアコン 室外機	グリーン購入法適合機種	基	1			
	インバーターマルチシステム 寒冷地仕様					
	冷房能力:50.0kw 暖房能力:56.0kw					
	圧縮機出力:5.36kw+7.40kw					
	送風機出力:0.35kw+0.46kw					
	消費電力:冷16.01kw 暖15.25kw					
	国土交通省仕様 18馬力相当以上					
	防雪フード(吹出側)					
	鋼製平架台 H=300 防振架台					
ACM-1-1 ビル用マルチエアコン 室内機	グリーン購入法適合機種	台	4			
	インバーターマルチシステム 天井カセット4方向吹出					
	冷房能力:14.0kw 暖房能力:16.0kw					
	送風機出力:0.12kw					
	自動昇降パネル ワイヤードリモコン					

工事設計用紙

名 称	摘 要	単 位	数 量	単 価	金 額	備 考
ACM-2 ビル用マルチエアコン室 外機	グリーン購入法適合機種	基	1			
	インバーターマルチシステム 寒冷地仕様					
	冷房能力:40.0kw 暖房能力:45.0kw					
	圧縮機出力:3.72kw+5.36kw					
	送風機出力:0.35kw+0.35kw					
	消費電力:冷12.15kw 暖11.56kw					
	国土交通省仕様 14馬力相当以上					
	防雪フード(吹出側)					
	鋼製平架台 H=300 防振架台					
ACM-2-1 ビル用マルチエアコン 室内機	グリーン購入法適合機種	台	3			
	インバーターマルチシステム 天井カセット4方向吹出					
	冷房能力:14.0kw 暖房能力:16.0kw					
	送風機出力:0.12kw					
	自動昇降パネル ワイヤードリモコン					

工事設計用紙

名 称	摘 要	単 位	数 量	単 価	金 額	備 考
機器据付費		式	1			
機器搬入費		式	1			
機器搬入費	ラフタークレーン 16t オペレータ付	式	1			
総合調整		式	1			
冷媒用被覆銅管	屋内一般(隠蔽) φ 9.52 保温厚 10mm	m	64			
冷媒用被覆銅管	屋内一般(隠蔽) φ 12.70 保温厚 10mm	m	2			
冷媒用被覆銅管	屋内一般(隠蔽) φ 15.88 保温厚 10mm	m	8			
冷媒用被覆銅管	屋内一般(隠蔽) φ 15.88 保温厚 20mm	m	50			
冷媒用被覆銅管	屋内一般(隠蔽) φ 22.20 保温厚 20mm	m	14			
冷媒用被覆銅管	屋内一般(隠蔽) φ 25.40 保温厚 20mm	m	2			
冷媒用被覆銅管	屋内一般(隠蔽) φ 28.58 保温厚 20mm	m	8			
冷媒用被覆銅管	屋外架空(露出) φ 9.52 保温厚 10mm	m	10			
冷媒用被覆銅管	屋外架空(露出) φ 15.88 保温厚 10mm	m	12			
冷媒用被覆銅管	屋外架空(露出) φ 19.05 保温厚 20mm	m	8			
冷媒用被覆銅管	屋外架空(露出) φ 22.20 保温厚 20mm	m	2			
冷媒用被覆銅管	屋外架空(露出) φ 28.58 保温厚 20mm	m	12			

工事設計用紙

名 称	摘 要	単 位	数 量	単 価	金 額	備 考
ドレン用保温付硬質塩化ビニル管	屋内一般(隠蔽) ACD25P	m	35			
ドレン用保温付硬質塩化ビニル管	屋内一般(隠蔽) ACD30P	m	34			
ドレン用保温付硬質塩化ビニル管	屋内一般(隠蔽) ACD40P	m	3			
ドレン用保温付硬質塩化ビニル管	屋内一般(隠蔽) ACD50P	m	1			
ドレン用硬質塩化ビニル管 カラーパイプ	屋外架空(露出) VP40V	m	4			
ドレン用硬質塩化ビニル管 カラーパイプ	屋外架空(露出) VP50V	m	4			
保温工事	屋外露出 冷媒ラッキングSUS	m	17			
ビル用マルチエアコン用伝送線	EM-CEES 1.25mm-2C 冷媒配管 共巻	m	127			
ビル用マルチエアコン用イモコン線	EM-CEES 1.25mm-2C 天井内ころ がし	m	92			
ビル用マルチエアコン用イモコン線	EM-CEES 1.25mm-2C 金属線ぴ	m	3			
金属線ぴ	A型	m	3			
同コンセント用ボックス		個	2			
	D-8 冷暖房機器設備工事		小 計			

工事設計用紙

名 称	摘 要	単 位	数 量	単 価	金 額	備 考
D-9 換気設備工事						
FV-1 天井埋込形換気扇	低騒音形 インテリア格子タイプ	組	7			
	24時間換気機能付					
	ダクト径:100φ					
	風 量 :97m ³ /h ハイフ長さ30m時					
	24時間風量:60m ³ /h ハイフ長さ30m時					
	1φ 100V 60Hz 14w					
	バンドキャップ					
	(ステンレス製 低圧損タイプ キャリ付)					
給(排)気グリル	ネットフィルター付	組	5			
	風量調節機構付 プラスチック製					
	ダクト径: 150φ バンドキャップ					
	(ステンレス製深型フード キャリ付)					
機器据付費		式	1			
総合調整		式	1			冷暖房設備に含む
換気ダクト						
スパイラルダクト	φ150	m	51			
保温工事	屋内隠蔽 N・(口)・XI 150	m	7			
	D-9 換気設備工事		小 計			

現場説明書

安曇野市 総務部 財産管理課 施設経営担当

1. 件名（工事名称）

令和6年度（明許繰越）豊科武道館柔道場大規模改修工事

2. 工事場所： 安曇野市 豊科武道館柔道場

3. 工事概要： ・屋根外壁塗装、サッシ断熱化、天井補強、畳入替、 照明LED化、空調設備新設 ほか

4. 工期 令和8年3月13日まで

5. 一般事項について

(1) 現場説明会

本件の内容は、現場、入札心得、入札公告、特記仕様書、設計図書、安曇野市建築工事の手引等関連する仕様書類、長野県建設工事標準請負契約約款に基づき市が定める契約書（案）及び現場説明書（以下「設計図書等」という。）によるものとし、現場説明会は実施しない。

(2) 設計図書等に対する質問及び回答について

設計図書等に関する問い合わせは、「入札公告」記載のとおりとし、入札執行が完了するまでの間、本件に関する面談又は電話（ただし、指定の問い合わせ先は除く。）等は一切認めない。

(3) 工事費内訳書の提出

入札時の工事費内訳書提出については「入札公告」による。

(4) 工事費内訳書記載数量は参考数量とする。

6. 本工事における特記事項

(1) 工事用地等

本工事に必要な用地は、以下のとおり。

使用目的	使用場所・面積
資材置場	敷地内
駐車場	同上敷地
現場事務所	同上敷地

(2) 排水への対応

本工事施工に伴う排水は、沈殿処理・Ph 管理等の各法令を守り、自然環境等へ悪影響を及ぼすことのないよう適正に処理し、特に指示のある場合を除き近傍の公共用水域又は排水路等に排水する。また、排水路等は、常に適切な維持管理を行い、従前の機能を損なわないようにすること。ただし、周辺水路についての排水は、管理者と協議のうえ、同意を得ること。

- (3) 工事着手前に事前のお知らせを関係各所へおこなうこと。また看板等を設置して、工事内容の周知を行うこと。
- (4) 夜間、早朝及び休日での施工を実施する場合は監理者・監督員と打合せを行い、監理者・監督員の承諾を得たのちに、必要な場合は近隣への事前通達の上で施工すること。
- (5) 周辺施設利用者及び周辺住民の安全に十分配慮すること。
- (6) 感染症対策は十分に講ずること。
- (7) 各官公庁手続きについて、事前に監督員・監理者が申請書類等の内容確認をしてから提出すること。

(8) 残土関係

・本工の施工において生じる発生土の処分については、下記の処分先を想定して処分費、運搬費を計上している。

なお、受注者の都合による処分先の変更については、原則として設計変更しない。

・建設発生土

受入れ場所・仮置き場所	処分方法	運搬距離	特記事項
塚原石産興業(株)	指定	4.7 Km	

距離指定の場合、残土運搬距離は設計変更の対象とする。

(9) この工事は執務並行型全館無人改修の工事である。

(10) 本工事は、「週休2日工事実施要領」発注者指定型週休2日工事の対象である。

なお、週休2日の取組実績に応じて、単価の補正を行い、設計変更を行うものとする。

(工事発注時は4週8休(通期)を想定した設計単価で積算している)

7. ~~本工事に関連する別途発注工事の予定~~

発注機関	工事名	工期	工事内容	備考

~~・本工事に近接・競合する工事の予定~~

発注機関				

~~・改修工事における工事個所の順番は図のとおり。~~

8. 安全対策関係

① 交通誘導警備員

受注者が交通誘導業務を他人に委託する場合は、受託者は警備業法第4条の規定により公安委員会から警備業の認定を受けた者であること。

② 安全施設

発注者が想定している仮設(ゲート、仮囲い等)については、仮設計画図に示したとおり。受注者は明示された条件に基づき、自主的に工法を選定し、構造設計等必要な検討を行い施工するものとする。(任意仮設)

なお、明示した条件と現場が一致しない場合や明示されていない条件について予期することができない特別な状態が生じた場合において、必要と認められるとき

は設計変更の対象とする。

9. 工所用道路関係

現場への工事関係車両の入退場の路線は事前に監督員と協議をすること。

10. その他

火災保険等への加入期間は、請負契約後から契約工期末日後 14 日までとする。

特記仕様書（共通事項）

総務部 財産管理課

1. 保険等

建物（施設）引渡しまで工事受注者は、現場説明事項・施工条件明示事項に定める保険に加入しなければならない。加入期間は原則として工事着手日とし、その終期は工事しゅん工後14日以降とする。

2. 各種調査等に対する協力について

本工事について、発注者が自ら又は、発注者が指定する第三者が行う下記調査等に対して、協力しなければならない。

(1) 公共事業労務費調査等

(2) 資材調査、建設副産物実態調査等

3. 工事検査

施工途中において総務部契約検査課職員または、発注機関の長の指定する職員による抜打ち検査を実施することがあるので、検査に協力すること。

4. 被害届等

暴力団関係者から工事妨害による被害を受けた場合は、被害届を速やかに警察に提出すること。

5. 工事实績情報サービス（CORINS）の登録について

(1) 請負金額が500万円以上（税込）の工事については、工事实績情報サービス（CORINS）の登録をすること。

(2) 登録する場合は、「登録のために確認のお願い」を作成し、監督員の確認を受け、次に示す期間内に（一財）日本建設情報総合センター（JACIC）に登録の手続きを行うこと。また、登録機関発行の「登録内容確認書」が届いた場合は、速やかに監督員に提示すること。なお、変更時と完成時の間が10日間に満たない場合は、変更時の提出を省略できるものとする。

① 工事受注時契約締結後10日以内

② 登録内容の変更時変更契約締結後10日以内

③ 工事完成時工事完成後10日以内

6. 施工体制台帳に係る書類について

(1) 工事受注者は、請負契約した全ての下請業者について、建設業法に定める「施工体制台帳」とそれに係る書類及び「施工体系図」を作成し、工事期間中工事現場に備え付けるとともに、その写しを監督員に提出すること。

(2) 「施工体系図」は工事関係者及び公衆の見やすい場所に掲示を行うこと。

(3) 次の業種についても請負契約に該当するため、(1)と同様とする。

・ 1日で完了する請負契約、少額な作業・雑工の請負契約

・ クレーン作業、コンクリートポンプ打設等の日々の単価契約で行っている場合

・ クレーン等の業種オペレーターを機械と一緒にリース会社から借上げる場合

7. 主任技術者及び監理技術者の専任について

主任技術者又は監理技術者（以下「監理技術者等」という。）が専任を求められる工事である場合、監理技術者等を専任で設置すべき期間は契約工期が基本となるが、次の期間については、専任を要しない。なお、具体的な期間については、監督員との打合せにおいて定めることとする。

- ① 請負契約の締結後、現場施工に着手するまでの期間（現場事務所の設置、資機材の搬入、または仮設工事等が開始されるまでの期間）
- ② 自然災害の発生又は埋蔵文化財調査等により、工事を全面的に一時中止している期間
- ③ エレベーター等の工場製作を含む工事であって、工場製作のみが行われている期間
- ④ 工事完成後、検査が終了し（発注者の都合により検査が遅延した場合を除く。）、事務手続、後片付け等のみが残っている期間

8. 産業廃棄物等の取扱い

- (1) 廃棄物の処理に当たっては、受注者が自ら処理（分別、保管、収集、運搬及び処分の一連の行為）するときには、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」（以下「廃棄物処理法」という。）に基づき、適正に行うこと。
- (2) 廃棄物の処理の全部又は一部を委託する場合は、廃棄物処理法に基づく処理を業として許可を取得している者に委託すること。また、施工前に産業廃棄物処理委託契約書の写し、産業廃棄物処理業の許可証の写し、許可運搬車両一覧並びに処分地の案内図等をまとめた「廃棄物処理計画書」を監督員に提出すること。
- (3) しゅん工した時は、廃棄物ごとに処理数量を集計し、積み込み状況の写真、処分状況の写真を添付した「廃棄物等処理報告書」を監督員に提出するとともに、マニフェストA票、B2票、D票並びにE票の原本（廃棄物の種類ごとに1セット）を提示すること。

9. 再生資源利用促進計画書等

「資源の有効な利用の促進に関する法律」（ラージリサイクル法）に基づき、受注者は、工事の着手前に「再生資源利用促進計画書」及び「再生資源利用計画書」を作成すること。

また、しゅん工後に「再生資源利用促進実施書」及び「再生資源利用実施書」を作成し、監督員に提出すること。

対象工事：ラージリサイクル法に規定する一定規模以上の工事

作成方法：COBRIS（建設副産物情報交換システム※）を利用すること。

※（一財）日本建設情報総合センター（JACIC）が提供する建設副産物の情報交換サービス

10. 安全対策関係

- (1) 工事現場においては、労働災害、公衆災害防止に努めるとともに、全作業員を対象に定期的に安全教育、研修及び訓練を行うこと。
- (2) 安全教育、研修及び訓練については、工事期間中に月一回以上実施し、この結果は工事日誌へ記録するほか工事写真等も整理のうえ提出すること。なお、これにより難しい場合は、監督員と協議するものとする。
- (3) 足場を設ける場合は、「手すり先行工法に関するガイドライン」について（厚生労働省基発第0424001号平成21年4月24日）の「手すり先行工法等に関するガイドライン」により、「働きや

すい安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中さん及び幅木の機能を有する足場とし、足場の組立て、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」の2の(2)手すり据置き方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行うこと。

11. 環境対策関係

- (1)現場で使用する機械は、低騒音型、低振動型、排出ガス対策型建設機械とすること。
- (2)夜間、早朝等の稼動を避けること。ただし、監督員の承諾を受けた場合はこの限りでない。なお、運搬ルートを選定に当たっては影響の少ないルートを選定すること。
- (3)汚水、汚濁、土砂の流失防止に努めること。また、表土復元等環境の回復に努めること。
- (4)熱帯材合板型枠は、極力使用しないこと。

12. 過積載の禁止

(1)工事の施工計画にあたって、施工計画書に次の事項を具体的に記載するとともに、施工時においても遵守すること。

- ①積載重量制限を超過しての建設発生土の処理及び資機材（以下「資機材等」という。）の積載重量の厳重チェックを行うこと。
- ②過積載を行っている資材等納入業者からの資機材等購入は行わないこと。
- ③過積載を防止するため、資機材等の購入にあたっては、納入業者の利益を不当に害することのないようにすること。
- ④資機材等の運搬には、さし枠装着車、物品積載装置等の不正改造した車輛及び不表示車等を使用しないこと。また、同車輛からの資機材等の引き渡しを受けないこと。
- ⑤下請業者や資機材等納入業者を選定するにあたっては、交通安全に関する配慮に欠けた者または車輛を使用した業務等において悪質かつ重大な事故を発生させた者を排除すること。
- ⑥飛散の恐れがあるものについては、飛散しないような処置を行い運搬すること。
- ⑦土砂等の運搬に関する事業者の選定に当たっては、「土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止等に関する特別措置法」の目的に鑑み、同法第12条の規定に基づき届け出た団体構成員の雇用に努めること。

(2)以上の点について、下請業者についてもこれに準じ徹底すること。

13. ~~セメント及びセメント系固化材を使用した改良土について~~

- ~~(1)セメント及びセメント系固化材を使用した地盤改良及び改良土を再利用する場合は、六価クロム溶出試験を行い、その結果について監督員に報告する。~~
- ~~(2)セメント及びセメント系固化材とは、セメントを含有成分とする固化材で、普通ポルトランドセメント、高炉セメント、セメント系固化材、石灰系固化材をいい、これに添加物を加えたものを含める。~~
- ~~(3)六価クロム溶出試験は「セメント及びセメント系固化材を使用した改良土の六価クロム溶出試験実施要領（案）」（以下「実施要領（案）」という。）により実施し、土壤環境基準を超えないことを確認する。~~

14. アスベスト建材使用箇所等の事前調査

(1)石綿等による健康障害を防止するため、とりこわし、改修工事の解体及び撤去等作業前、

図面・施工範囲目視、その他適切な方法によるアスベスト含有材料の有無について調査を行い、報告書を監督員に提出する。アスベスト含有材料が無かった場合においても書面にて報告を行う。

報告書の記載内容

- ① アスベスト材料の種別
- ② アスベスト形状、飛散可能性の有無
- ③ 製造所・製品名称、製造所の公表するアスベスト含有率

なお、上記調査において、アスベスト分析調査が必要な場合は別途監督職員と協議を行う。

- (2) 監督員の指示による「石綿（アスベスト）の事前調査結果」、「建築物等の解体・改修等作業に関するお知らせ」について、公衆の見やすい場所に掲示を行う。

15. 建設業退職金制度について

- (1) 工事受注者は、自ら雇用する建退共制度の対象労働者に係る共済証紙を購入し、当該労働者の共済手帳に共済証紙を貼付すること。
- (2) 工事受注者が下請契約を締結する際は、下請業者に対して、建退共制度の趣旨を説明し下請業者が雇用する建退共制度の対象労働者に係る共済証紙をあわせて購入し現物により交付すること、または建退共制度の掛金相当額を下請代金中に算入することにより、下請業者の建退共制度への加入並びに共済証紙の購入及び貼付を促進すべきこと。
- (3) 請負代金の額が800万円以上の建設工事の請負契約を締結した時は、工事受注者は建退共制度の発注者用掛金収納書（以下「収納書」という。）を工事締結後1ヶ月以内に発注者に提出すること。なお、工事契約締結当初は工場製作の段階であるため建退共制度の対象労働者を雇用しないこと等の理由により、期限内に当該工事に係る収納書を提出できない事情がある場合又は、建退共対象労働者を使用しない場合においては、あらかじめその理由を書面により申し出ること。

16. 資材の市内産優先使用及び市内企業の優先採用

- (1) 工事受注者は、本工事に使用する材料については、規格・品質等の条件を満足するものについては、市内産資材を優先使用するよう努めること。
- (2) 工事受注者は、工事用資材の調達に当たっては、極力市内の取扱い業者から購入すること。
- (3) 下請契約を締結する際には、市内企業の採用に努めること。

17. 再資源化及び再生資源等使用状況

工事受注者は、しゅん工時にコンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、木くずの再資源化の状況、再生資源（再生クラッシュラン、再生アスファルト・コンクリート、再生土砂）及び信州リサイクル製品の使用状況について、監督員へ報告すること。

18. レディーミクストコンクリート製造工場の選定について

受注者は、I類コンクリートの製造工場を、JISマーク表示認証工場（改正工業標準化法（平成16年6月9日公布）に基づき国に登録された民間の第三者機関（登録認証機関）により認証を受けた工場）で、かつ、コンクリート製造に係る指導及び品質管理を行う施工管理技術者（コ

ンクリート主任技士等)が置かれ、良好な品質管理が行われている工場(全国品質管理監査会議の策定した統一監査基準に基づく監査に合格した工場等)から選定する。

ただし、これにより難しい場合は、監督員と協議する。

19. 工事進捗状況報告書

監督員の指示により、毎月の工事の進捗状況を報告書にまとめて提出する。

添付書類

- ・工事記録(工事の経過に伴う主な工事内容等の事項を記載した月報)
- ・工事打合わせ記録簿(当月分)
- ・工事写真(工事の進捗状況がわかるものを数枚)

20. 施工図等の取扱い

施工図等の著作権に関わる当該建物に限る使用权は、発注者に移譲する。

21. 設計図CADデータについて

本工事の設計図CADデータを貸与する。貸与したCADデータは、本工事の履行に必要な施工図の作成及び完成図の作成においてのみ使用することとし、それ以外の目的で使用してはならない。

22. 完成写真の著作権の権利等について

工事受注者は、完成写真の撮影者との契約にあたって、以下の事項を条件とすること。

- ① 完成写真は、市が行う事務並びに市及び市が認めた公的機関の広報に、無償で使用することができる。この場合において、著作者名を表示しないことができる。
- ② 以下に掲げる行為をしてはならない。ただし、あらかじめ発注者の承諾を得た場合は、この限りではない。

イ. 完成写真を公表すること。

ロ. 完成写真を他人に閲覧させ、複写させ、又は譲渡すること。

23. 高度技術・創意工夫・社会性に関する実施状況の提出について

受注者は、工事施工において、自ら立案実施した創意工夫や技術力に関する項目、又は、地域社会への貢献として評価できる項目に関する事項について、施工に先立ち所定の様式により提出することができる。

高度技術・創意工夫・社会性等の具体的内容がある場合は、「別添様式」及び、「説明資料」を提出すること。なお、用紙サイズはA4版とする。

24. 工期又は請負代金の額に影響を及ぼす事象に関する情報の通知について

落札者(随意契約の場合にあっては、契約の相手方)は、建設業法(昭和24年法律第100号第20条の2第2項に基づき、工期又は請負代金の額に影響を及ぼす事象が発生するおそれがあると認めるときは、落札決定(随意契約の場合にあっては、契約の相手方の決定)から請負契約を締結するまでに、契約を担当する者に対して、その旨を当該事業の状況の把握のため必要な情報を合わせて通知すること。

令和7年2月12日適用版

**令和6年度（明許繰越）
豊科武道館柔道場大規模改修工事**

建築改修図				電気設備図		機械設備図	
記号	図面名称	記号	図面名称	記号	図面名称	記号	図面名称
A-00	図面リスト	A-24	既存展開図-3	E-01	表紙及び特記仕様書	M-01	表紙及び特記仕様書
A-01	設計概要書	A-25	改修展開図-3	E-02	引込分電盤図	M-02	給排水設備 機器表
A-02	改修特記仕様書(1)	A-26	既存展開図-4	E-03	冷暖房設備電源図	M-03	給排水設備 改修図
A-03	改修特記仕様書(2)	A-27	改修展開図-4	E-04	換気設備電源図	M-04	冷暖房・換気設備 機器表
A-04	改修特記仕様書(3)	A-28	既存展開図-5	E-05	コンセント等改修図	M-05	冷暖房設備平面図
A-05	改修特記仕様書(4)	A-29	改修展開図-5	E-06	既設照明器具撤去図	M-06	冷暖房設備平面図(伝送線・リモコン線)
A-06	案内図・配置図	A-30	既存・改修展開図-6	E-07	LED照明器具改修図	M-07	換気設備平面図
A-07	仕上表	A-31	既存・改修展開図-7	E-08	照明器具姿図		
A-08	既存平面図	A-32	既存・改修展開図-8	E-09	自動火災報知設備改修図		
A-09	改修平面図	A-33	改修展開図-7・8				
A-10	既存立面図-1	A-34	既存・改修展開図-9				
A-11	改修立面図-1	A-35	既存・改修展開図-10				
A-12	既存立面図-2	A-36	改修展開図-10				
A-13	改修立面図-2	A-37	建具キープラン				
A-14	既存断面図	A-38	建具表-1				
A-15	改修断面図	A-39	建具表-2				
A-16	既存矩計図	A-40	建具表-3				
A-17	改修矩計図	A-41	改修建具表-1				
A-18	既存天井伏図	A-42	改修 柔道場天井詳細図				
A-19	改修天井伏図	A-43	仮設計画図・アスベスト調査結果表				
A-20	既存展開図-1						
A-21	改修展開図-1						
A-22	既存展開図-2						
A-23	改修展開図-2						

1. 工事名称・敷地概要

工事名称	令和6年度（明許繰越）豊科武道館柔道場大規模改修工事	建築主	長野県安曇野市豊科6000		
工事場所	長野県安曇野市豊科5670	住所・氏名	安曇野市長 太田 寛		
工事種別	新築 ・ 増築 ・ 改築 ・ 改修 ・ 用途変更	工期	着工	令和7年7月 日 予定	
主要用途	体育館		竣工	令和7年12月 日 予定	
敷地面積	公簿 ・ 実測 4,000.00 m ² (105.20 坪)		全体工期	年 6 月 月	
用途地域	都市計画区域内 市街化区域 第1種住居地域				
許容	建ぺい率 60.00 %	容積率	160.00 % (道路幅員制限80%)		
防火地域	防火 ・ 準防火 法22条の指定地域 ・ 指定なし				
日影規制	指定なし				
その他	条例				

2. 構造・規模

構造	木造 ・ RC造 ・ SRC造 ・ 鉄骨造 ・ CB造 ・ 軽量鉄骨造 ・ その他 ()				
構造形式	在来工法 ・ 壁式 ・ 立体トラス ・ シェル ・ 折版 ・ その他 ()				
基礎	地盤支持 (ベタ ・ 布 ・ 独立)		杭支持 (RC杭 ・ PC杭 ・ 鋼杭)		
	その他 ()				
階数	地上 1 階		地下 0 階		
最高高さ	9,010 m		最高軒高	5,200 m	

3. 面積

	申請部分	申請以外の部分	合計	建ぺい率・容積率		
建築面積	608.89 m ²	0 m ²	608.89 m ²	15.22	% ≤	60.00 %
	(184.18) 坪	(0 坪)	(184.18) 坪			
延床面積	608.89 m ²	0 m ²	608.89 m ²	15.22	% ≤	160.00 %
	(184.18) 坪	(0 坪)	(184.18) 坪			
その他面積 ()	— m ²	— m ²	— m ²			
	(— 坪)	(— 坪)	(— 坪)			

4. 床面積

階	申請部分	申請以外の部分	階高	主要用途	階	申請部分	申請以外の部分	階高	主要用途
	m ²	m ²	m			m ²	m ²	m	
1	520.43	0		体育館					
1	88.46	0		付属棟					

5. 外部仕上表

項目	仕上・仕様	項目	仕上・仕様
金属屋根	野地板：ラワンベニヤ(7)15(+)+アスファルトルーフィング22kg (+)長尺カラー鉄板(7)0.4横葺き 改修 屋根面塗装①	外壁	既存 シーリングボード(7)12 (+)ALC版(7)50 (+)外装用弾性吹付タイル吹付 コテ押え 改修 断熱材(グラスウール程度)(7)100充填 クラック補修 ③ シール打替
破風	既存 ボンデ鋼板 t=1.6 曲加工 裏側補強アングル付 メラミン焼付塗装 改修 裏側コールタル塗 破風塗装・一部取替え・シール内替	柱型	既存 ALC版(7)50子ザインパネル50V (+)外装用弾性吹付タイル吹付 コテ押え 改修 クラック補修 ③
雪止	既存 片側1段 LS-50×50×4 (亜鉛メッキ品)OP塗装 改修 ①	ポーチ庇	既存 屋根：ラワンベニヤ(7)15(+)+長尺カラー鉄板(7)0.4瓦棒葺き 破風：アルミ曲物 t=2.0 曲加工 裏側補強アングル付 メラミン焼付塗装 隠し樋：ボンデ鋼板 t=1.6 曲加工 裏側補強アングル付 エポキシ塗装 H:150×W:250×D:200 改修 屋根：① 破風：② シール打替 隠し樋：② シール打替
棟換気	既存 ラワンベニヤ(7)15(+)+ロンブルー防水(7)2.0 立上り共 改修 長尺カラー鉄板(7)0.4加工 鉄板面塗装①	ポーチ床	既存 モルタル下地100・200角タイル貼り蹴上共 段鼻タイル付(192×92×30) 改修 靴拭きマット 600×1,200エルバーマットステンレス枠付(床排水目皿付) 補修・改修・靴拭きマット新設
軒天	既存 石綿ケイカル板 一部有穴石綿ケイカル板(7)6 目透張 アクリルリシン吹付 改修 ・アクリル樹脂系非水分散型塗装(ケンエース6II 日本ペイント同等品)	ポーチ壁	既存 Dラスモルタル下地二丁掛タイル貼(耐寒)木口曲げ 改修 欠損部同等タイル補修
建具	既存 玄関建具：ステンレス製建具 その他はアルミ製建具(ブロンズ)見込70 改修 (建具表による)建具廻りシール打替	ポーチ軒天	既存 軽天地下寒冷紗(黒)下張り(+)+ラワン小幅板12×105(有効幅)(相欠き)目透し張りOSCL 改修 既存軒天面下地調整の上、木材保護塗料塗装
基礎	既存 鉄筋コンクリート造 布基礎 外周コンクリート打放し ノロ引き仕上げ 改修 地窓：200×600 スチールOP焼付 布基礎クラック補修	出入口床	既存 モルタル下地100・200角タイル貼り蹴上共 段鼻タイル付(192×92×30) 改修 立上りコンクリート打放し(ノロ仕上げ)化粧リブ付 欠損部同等タイル補修・靴拭きマット新設
基礎水切り	既存 ボンデ鋼板 t=1.6 曲加工 メラミン焼付塗装 改修 ② シール打替		
換気フード	既存 スチールOP塗装 改修 ②		
地窓	既存 スチールOP塗装 改修 ②		

6. 外部金物

項目	材質・寸法	改修	取付場所	数量	項目	材質・寸法	改修	取付場所	数量
軒樋	長尺カラー鉄板(7)0.4 箱加工 150×100 受け金物φ600	②	立面図参照		ポーチ軒樋	ボンデ鋼板 t=1.6 曲加工 裏側補強アングル付 エポキシ塗装	② シール打替		1
壁樋	長尺カラー鉄板(7)0.4 径75φ 支持金物 亜鉛メッキφ1,200	②	立面図参照		銘板	真鍮製イプシ200角6文字(豊科町武道館)	既存撤去取付け		1

7. 工事区分

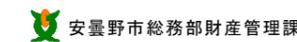
種別	区分	備考	種別	区分	備考	種別	区分	備考
敷地造成			工作物・その他			特殊施設		
整地造成	—		看板	—		映写施設	—	
整地	—		広告板	—		舞台装置	—	
擁壁	—		広告鉄塔	—		クレーン	—	
排水	—		ネオン	—		機械駐車装置	—	
道路	—		ゴンドラ	—		エアージュータ	—	
			物干	—				
			塵芥焼却炉	—				
撤去・解体工事			独立煙突			昇降機		
在来基礎撤去	—		避難器具	—		エレベータ	—	
埋設物撤去	—		物置	—		エスカレータ	—	
工作物撤去	—		ポンプ室	—		ダムウエータ	—	
解体工事	—							
			付属備品			補償		
移設工事			社名板・表札			日照影響		
在来建物移設	—		表札板文字	—		電波障害	—	
工作物移設	—		案内板	—		騒音	—	
樹木移設	—		室名板	—		風害	—	
			黒板・掲示板	—		隣家補償	—	
			郵便受	—				
外構工事			定礎板					
植樹造園	—		客室室名板	—		その他		
花壇	—							
舗装	—		可動家具	—				
駐車場	—		固定椅子	—				
門・扉	—		什器備品	—				
盛土	—		カーテン	○				
テラス	—		ブラインド	○				
遊具施設	—		敷物・マット	○				
外灯	—							

注：工事区分の欄は該当する工事種別がない場合は—印、本工事に含む場合は○印、含まない場合は×印をつける。
なお設備工事については、設備概要書による。

CHECK	DRAW	JOB NO	TITLE	SHEET NAME	SHEET NO
		202409	令和6年度（明許繰越） 豊科武道館柔道場大規模改修工事	設計概要書	A-01
				SCALE	DAY
				NON	2024.12.05

4-1	<p>外壁改修工事 共通事項</p> <p>・ポリマーセメントモルタル ポリマーセメントモルタルの種類 合成ゴム系、アクリル系、エチレン酢ビ系等</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">曲げ強さ (N/mm²)</th> <th rowspan="2">圧縮強さ (N/mm²)</th> <th colspan="3">接着強さ (N/mm²)</th> </tr> <tr> <th>標準時</th> <th>高温時</th> <th>低温時</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>6.0以上</td> <td>20.0以上</td> <td>1.0以上</td> <td>0.8以上</td> <td>0.5以上</td> </tr> </tbody> </table> <p>表面状態 だれの下がり量は5mm以内とし、ひび割れが発生していないこと。 透水性 表面の濡れ、水滴の付着がないこと。 均質で有害と認められる異物の混入がないこと。</p> <p>・ポリマーセメントスラリー</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>広がり速度 (cm/s)</th> <th>長さ変化率 (収縮)</th> <th>引張接着性 (材齢28日)</th> <th>曲げ性能 (材齢28日)</th> <th>吸水性 (72時間)</th> <th>耐久性 (劣化曲げ強さ)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3以上</td> <td>3%以下</td> <td>0.5N/mm²以上</td> <td>5.0N/mm²以上</td> <td>15%以下</td> <td>5.0N/mm²以上</td> </tr> </tbody> </table> <p>保水係数 0.35~0.55 粘着係数 0.50~1.00</p> <p>・吸水性調整材</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>全固形分 (%)</th> <th>吸水性 (g)</th> <th>接着強さ (N/mm²)</th> <th>界面破壊率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>品質・性能</td> <td>表示値±1%以内</td> <td>30分間で1g以下</td> <td>0.98以上</td> <td>50%以上</td> </tr> </tbody> </table> <p>均質で有害と認められる異物の混入がないこと。</p>	曲げ強さ (N/mm ²)	圧縮強さ (N/mm ²)	接着強さ (N/mm ²)			標準時	高温時	低温時	6.0以上	20.0以上	1.0以上	0.8以上	0.5以上	広がり速度 (cm/s)	長さ変化率 (収縮)	引張接着性 (材齢28日)	曲げ性能 (材齢28日)	吸水性 (72時間)	耐久性 (劣化曲げ強さ)	3以上	3%以下	0.5N/mm ² 以上	5.0N/mm ² 以上	15%以下	5.0N/mm ² 以上	項目	全固形分 (%)	吸水性 (g)	接着強さ (N/mm ²)	界面破壊率 (%)	品質・性能	表示値±1%以内	30分間で1g以下	0.98以上	50%以上	<p>4. 浮き部改修工法</p> <p>4.1.4) (4.4.10~4.4.15) (表4.4.3) (表4.4.4)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">改修工法の種類 (モルタルを撤去しない場合)</th> <th colspan="2">フカビンの本数(本/m²)</th> <th colspan="2">注入口の箇所数(箇所/m²)</th> <th rowspan="2">充填量 注入量</th> </tr> <tr> <th>一般部</th> <th>指定部</th> <th>一般部</th> <th>指定部</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・アンカーピンニング部分 エポキシ樹脂注入工法</td> <td>※1 6</td> <td>※2 5</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>※2 5ml</td> </tr> <tr> <td>・アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法</td> <td>※1 3</td> <td>※2 0</td> <td>※1 2</td> <td>※2 0</td> <td>※2 5ml</td> </tr> <tr> <td>・アンカーピンニング全面 ポリマーセメントスラリー注入工法</td> <td>※1 3</td> <td>※2 0</td> <td>※1 2</td> <td>※2 0</td> <td>※5 0ml</td> </tr> <tr> <td>・注入口付アンカーピンニング部分 エポキシ樹脂注入工法</td> <td>※9</td> <td>※1 6</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>※2 5ml</td> </tr> <tr> <td>・注入口付アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法</td> <td>※9</td> <td>※1 6</td> <td>※9</td> <td>※1 6</td> <td>※2 5ml</td> </tr> <tr> <td>・注入口付アンカーピンニング全面 ポリマーセメントスラリー注入工法</td> <td>※9</td> <td>※1 6</td> <td>※9</td> <td>※1 6</td> <td>※5 0ml</td> </tr> </tbody> </table> <p>アンカーピン 材質 ※ステンレス SUS 304、呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工したもの</p> <p>注入口付アンカーピン 材質 ※ステンレス SUS 304、呼び径6mm</p>	改修工法の種類 (モルタルを撤去しない場合)	フカビンの本数(本/m ²)		注入口の箇所数(箇所/m ²)		充填量 注入量	一般部	指定部	一般部	指定部	・アンカーピンニング部分 エポキシ樹脂注入工法	※1 6	※2 5	-	-	※2 5ml	・アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法	※1 3	※2 0	※1 2	※2 0	※2 5ml	・アンカーピンニング全面 ポリマーセメントスラリー注入工法	※1 3	※2 0	※1 2	※2 0	※5 0ml	・注入口付アンカーピンニング部分 エポキシ樹脂注入工法	※9	※1 6	-	-	※2 5ml	・注入口付アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法	※9	※1 6	※9	※1 6	※2 5ml	・注入口付アンカーピンニング全面 ポリマーセメントスラリー注入工法	※9	※1 6	※9	※1 6	※5 0ml	<p>4-5</p> <p>外壁改修工事 塗り仕上げ外壁</p> <p>①既存塗膜等の除去 及び下地処理</p> <p>②下地調整材</p> <p>③仕上げ塗材仕上げ</p> <p>④既存塗膜劣化部の除去、下地処理の工法 (表4.6.1~表4.6.4)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>工法</th> <th>処理範囲</th> <th>下地の補修</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※サンダー工法</td> <td>※既存仕上面全体</td> <td>・ひび割れ部改修工法 ・浮き部改修工法 ・欠損部改修工法</td> </tr> <tr> <td>・高圧水洗工法 加圧力 ※30MPa 程度以上</td> <td>※既存仕上面全体</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>・塗膜はく離剤工法</td> <td>※既存仕上面全体</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>・水洗い工法</td> <td>※上記処理範囲以外の既存仕上面全体</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> <p>※下地調整材 (表4.2.2) (表4.6.3)</p> <p>・ポリマーセメントモルタル ・防水仕上げ塗材主材を使用</p> <p>種類、仕上げの形状、工法 (表4.1.4) (表4.2.2) (表4.2.3) (表4.2.4)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>呼び名</th> <th>仕上げの形状</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○準付け仕上げ塗材</td> <td>・外装薄塗材 S i</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">○準仕上げ塗材</td> <td>○可とう形外装薄塗材 S i</td> <td>・砂壁状 ・着色骨材砂壁状</td> </tr> <tr> <td>・外装薄塗材 E</td> <td>・砂壁状 ・砂ず肌状 ・さざ波状</td> </tr> <tr> <td>・可とう形外装薄塗材 E</td> <td>・砂壁状 ・砂ず肌状 ・さざ波状</td> </tr> <tr> <td>・防水形外装薄塗材 E</td> <td>・砂ず肌状 ・さざ波状 ・凹凸状</td> </tr> <tr> <td>・外装薄塗材 S</td> <td>・砂壁状</td> </tr> <tr> <td rowspan="7">・複層仕上げ塗材</td> <td>・複層塗材 C E</td> <td>・砂ず肌状 ・凸部処理 ・凹凸模様</td> </tr> <tr> <td>・可とう形複層塗材 C E</td> <td>耐水性 ※耐候形 3種</td> </tr> <tr> <td>・複層塗材 S i</td> <td>上塗材</td> </tr> <tr> <td>・複層塗材 E</td> <td>溶媒 ※水系 ・溶剤系</td> </tr> <tr> <td>・複層塗材 R E</td> <td>樹脂 ※アクリル系</td> </tr> <tr> <td>・複層塗材 R S</td> <td>外観 ※つやあり ・つやなし</td> </tr> <tr> <td>・防水形複層塗材 C E</td> <td>・メタリック</td> </tr> <tr> <td>・防水形複層塗材 R E</td> <td>防水部の増設材 ※行方</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">・可とう系改修用 仕上げ塗材</td> <td>・可とう形改修塗材 E</td> <td>・平坦状</td> </tr> <tr> <td>・可とう形改修塗材 R E</td> <td>・さざ波状</td> </tr> <tr> <td>・可とう形改修塗材 C E</td> <td>・砂ず肌状</td> </tr> </tbody> </table> <p>防火材料の指定が必要な場合 (表4.2.2) (表5.2)</p> <p>※建築基準法に基づき認定を受けた材料とする。</p>	工法	処理範囲	下地の補修	※サンダー工法	※既存仕上面全体	・ひび割れ部改修工法 ・浮き部改修工法 ・欠損部改修工法	・高圧水洗工法 加圧力 ※30MPa 程度以上	※既存仕上面全体	-	・塗膜はく離剤工法	※既存仕上面全体	-	・水洗い工法	※上記処理範囲以外の既存仕上面全体	-	種類	呼び名	仕上げの形状	○準付け仕上げ塗材	・外装薄塗材 S i	-	○準仕上げ塗材	○可とう形外装薄塗材 S i	・砂壁状 ・着色骨材砂壁状	・外装薄塗材 E	・砂壁状 ・砂ず肌状 ・さざ波状	・可とう形外装薄塗材 E	・砂壁状 ・砂ず肌状 ・さざ波状	・防水形外装薄塗材 E	・砂ず肌状 ・さざ波状 ・凹凸状	・外装薄塗材 S	・砂壁状	・複層仕上げ塗材	・複層塗材 C E	・砂ず肌状 ・凸部処理 ・凹凸模様	・可とう形複層塗材 C E	耐水性 ※耐候形 3種	・複層塗材 S i	上塗材	・複層塗材 E	溶媒 ※水系 ・溶剤系	・複層塗材 R E	樹脂 ※アクリル系	・複層塗材 R S	外観 ※つやあり ・つやなし	・防水形複層塗材 C E	・メタリック	・防水形複層塗材 R E	防水部の増設材 ※行方	・可とう系改修用 仕上げ塗材	・可とう形改修塗材 E	・平坦状	・可とう形改修塗材 R E	・さざ波状	・可とう形改修塗材 C E	・砂ず肌状	<p>15. ガラス用フィルム</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>種類</th> <th>張り面</th> <th>性能値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※ガラス飛散防止フィルム</td> <td>第2種</td> <td>※内張り ・外張り</td> <td>飛散防止率 D1</td> </tr> </tbody> </table> <p>品質JIS A5759による</p> <p>16. 重量シャッター</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>シャッターの種類</th> <th>性能値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・一般重量シャッター</td> <td>耐風圧性能 () N/m²</td> </tr> <tr> <td>・外壁用防火シャッター</td> <td>耐風圧性能 () N/m²</td> </tr> <tr> <td>・屋内用防火シャッター</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>・屋内用防塵シャッター</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> <p>閉形式 ※上部電動式(手動併用) ・上部手動式 危険防止機構 ※障害物感知装置(自動閉鎖型) ・シャッターの二段降下方式 (表5.9.2) 一般重量シャッターのシャッターケース ※設ける ・設けない</p> <p>17. 軽量シャッター</p> <p>開閉形式 ※手動式 ・上部電動式(手動併用) (表5.10.1) (表5.10.2) スラット 材質 ※塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び銅帯 (表5.10.3) 形状 ※インターロック形状 ・オーバーラッピング形 (表5.10.4) ガイドレール等 ※鋼板製 ・ステンレス製 SUS304(厚さ1.5mm) (表5.10.2) 耐風圧性能 () N/m²</p> <p>18. オーバーヘッドドア</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>セクション材</th> <th>開閉方式</th> <th>収納形式</th> <th>ガイドレールの材質</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※スチールタイプ</td> <td>※バランスタイプ</td> <td>・スタンダード形</td> <td>・溶融亜鉛めっき鋼板</td> </tr> <tr> <td>・アルミニウムタイプ</td> <td>・チェーン式</td> <td>・ローヘッド形</td> <td>※ステンレス鋼板</td> </tr> <tr> <td>・ファイバーグラスタイプ</td> <td>・電動式</td> <td>・ハイリフト形</td> <td>(SUS304)</td> </tr> <tr> <td>・バーチカル形</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> <p>耐風圧性能 () N/m²</p> <p>19. かざ箱</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>市販品</th> <th>形式</th> <th>・30組用</th> <th>・60組用</th> <th>・120組用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>	名称	種類	張り面	性能値	※ガラス飛散防止フィルム	第2種	※内張り ・外張り	飛散防止率 D1	シャッターの種類	性能値	・一般重量シャッター	耐風圧性能 () N/m ²	・外壁用防火シャッター	耐風圧性能 () N/m ²	・屋内用防火シャッター	-	・屋内用防塵シャッター	-	セクション材	開閉方式	収納形式	ガイドレールの材質	※スチールタイプ	※バランスタイプ	・スタンダード形	・溶融亜鉛めっき鋼板	・アルミニウムタイプ	・チェーン式	・ローヘッド形	※ステンレス鋼板	・ファイバーグラスタイプ	・電動式	・ハイリフト形	(SUS304)	・バーチカル形	-	-	-	市販品	形式	・30組用	・60組用	・120組用	-	-	-	-	-	<p>② 建具用金物 (表5.6.4) (表5.6.5) (表5.6.6) (表5.6.7)</p> <p>マスターキー ※製作する ○製作しない</p> <p>建具金物の種類 (表5.6.2) (表5.6.3) (表5.6.4) (表5.6.5) (表5.6.6) (表5.6.7)</p> <p>錠前類は、シリンドラー錠錠(レバーハンドル)とする。 なお、錠前類は建具製作所の指定のものとし、監督職員の承諾を受ける。</p> <p>吊金物 ・丁番(内部建具については、軸を嵌めとしてもよい) ・ピボットヒンジ</p> <p>③ ガラス (表5.12.2)</p> <p>※建具表による (表5.12.2)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>ガラスブロック</th> <th>品質JIS A5212によるもの</th> <th>防火認定</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>寸法(mm)</td> <td>色調</td> <td>パターン</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>※クリア ・熱線反射 ・乳白 ・カラー()</td> <td>※無し ・有り</td> </tr> </tbody> </table> <p>④ ガラス留め材及び溝 (表5.12.2) (表5.12.1)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>留め材の種類</th> <th>材</th> <th>質</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>アルミニウム製</td> <td>※シーリング材 ・ガスケット(F 1 X部はシーリング材)</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>鋼製及び軽量鋼製</td> <td>※シーリング材</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>ステンレス製</td> <td>※シーリング材</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> <p>防火戸のガラス留め材は建築基準法に基づく防火性能認定品とする。</p> <p>板ガラスをはめ込む大きき 改修仕様5.12.3以外のアルミニウム製建具及び板ガラスの場合は、(社)日本建築学会JASS17ガラス工事「3.1納まり寸法標準」によるほか、性能値が確認できる資料を監督職員に提出し、承諾を受ける。</p>	ガラスブロック	品質JIS A5212によるもの	防火認定	寸法(mm)	色調	パターン	-	※クリア ・熱線反射 ・乳白 ・カラー()	※無し ・有り	留め材の種類	材	質	アルミニウム製	※シーリング材 ・ガスケット(F 1 X部はシーリング材)	-	鋼製及び軽量鋼製	※シーリング材	-	ステンレス製	※シーリング材	-
曲げ強さ (N/mm ²)	圧縮強さ (N/mm ²)			接着強さ (N/mm ²)																																																																																																																																																																																																															
		標準時	高温時	低温時																																																																																																																																																																																																															
6.0以上	20.0以上	1.0以上	0.8以上	0.5以上																																																																																																																																																																																																															
広がり速度 (cm/s)	長さ変化率 (収縮)	引張接着性 (材齢28日)	曲げ性能 (材齢28日)	吸水性 (72時間)	耐久性 (劣化曲げ強さ)																																																																																																																																																																																																														
3以上	3%以下	0.5N/mm ² 以上	5.0N/mm ² 以上	15%以下	5.0N/mm ² 以上																																																																																																																																																																																																														
項目	全固形分 (%)	吸水性 (g)	接着強さ (N/mm ²)	界面破壊率 (%)																																																																																																																																																																																																															
品質・性能	表示値±1%以内	30分間で1g以下	0.98以上	50%以上																																																																																																																																																																																																															
改修工法の種類 (モルタルを撤去しない場合)	フカビンの本数(本/m ²)		注入口の箇所数(箇所/m ²)		充填量 注入量																																																																																																																																																																																																														
	一般部	指定部	一般部	指定部																																																																																																																																																																																																															
・アンカーピンニング部分 エポキシ樹脂注入工法	※1 6	※2 5	-	-	※2 5ml																																																																																																																																																																																																														
・アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法	※1 3	※2 0	※1 2	※2 0	※2 5ml																																																																																																																																																																																																														
・アンカーピンニング全面 ポリマーセメントスラリー注入工法	※1 3	※2 0	※1 2	※2 0	※5 0ml																																																																																																																																																																																																														
・注入口付アンカーピンニング部分 エポキシ樹脂注入工法	※9	※1 6	-	-	※2 5ml																																																																																																																																																																																																														
・注入口付アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法	※9	※1 6	※9	※1 6	※2 5ml																																																																																																																																																																																																														
・注入口付アンカーピンニング全面 ポリマーセメントスラリー注入工法	※9	※1 6	※9	※1 6	※5 0ml																																																																																																																																																																																																														
工法	処理範囲	下地の補修																																																																																																																																																																																																																	
※サンダー工法	※既存仕上面全体	・ひび割れ部改修工法 ・浮き部改修工法 ・欠損部改修工法																																																																																																																																																																																																																	
・高圧水洗工法 加圧力 ※30MPa 程度以上	※既存仕上面全体	-																																																																																																																																																																																																																	
・塗膜はく離剤工法	※既存仕上面全体	-																																																																																																																																																																																																																	
・水洗い工法	※上記処理範囲以外の既存仕上面全体	-																																																																																																																																																																																																																	
種類	呼び名	仕上げの形状																																																																																																																																																																																																																	
○準付け仕上げ塗材	・外装薄塗材 S i	-																																																																																																																																																																																																																	
○準仕上げ塗材	○可とう形外装薄塗材 S i	・砂壁状 ・着色骨材砂壁状																																																																																																																																																																																																																	
	・外装薄塗材 E	・砂壁状 ・砂ず肌状 ・さざ波状																																																																																																																																																																																																																	
	・可とう形外装薄塗材 E	・砂壁状 ・砂ず肌状 ・さざ波状																																																																																																																																																																																																																	
	・防水形外装薄塗材 E	・砂ず肌状 ・さざ波状 ・凹凸状																																																																																																																																																																																																																	
	・外装薄塗材 S	・砂壁状																																																																																																																																																																																																																	
・複層仕上げ塗材	・複層塗材 C E	・砂ず肌状 ・凸部処理 ・凹凸模様																																																																																																																																																																																																																	
	・可とう形複層塗材 C E	耐水性 ※耐候形 3種																																																																																																																																																																																																																	
	・複層塗材 S i	上塗材																																																																																																																																																																																																																	
	・複層塗材 E	溶媒 ※水系 ・溶剤系																																																																																																																																																																																																																	
	・複層塗材 R E	樹脂 ※アクリル系																																																																																																																																																																																																																	
	・複層塗材 R S	外観 ※つやあり ・つやなし																																																																																																																																																																																																																	
	・防水形複層塗材 C E	・メタリック																																																																																																																																																																																																																	
・防水形複層塗材 R E	防水部の増設材 ※行方																																																																																																																																																																																																																		
・可とう系改修用 仕上げ塗材	・可とう形改修塗材 E	・平坦状																																																																																																																																																																																																																	
	・可とう形改修塗材 R E	・さざ波状																																																																																																																																																																																																																	
	・可とう形改修塗材 C E	・砂ず肌状																																																																																																																																																																																																																	
名称	種類	張り面	性能値																																																																																																																																																																																																																
※ガラス飛散防止フィルム	第2種	※内張り ・外張り	飛散防止率 D1																																																																																																																																																																																																																
シャッターの種類	性能値																																																																																																																																																																																																																		
・一般重量シャッター	耐風圧性能 () N/m ²																																																																																																																																																																																																																		
・外壁用防火シャッター	耐風圧性能 () N/m ²																																																																																																																																																																																																																		
・屋内用防火シャッター	-																																																																																																																																																																																																																		
・屋内用防塵シャッター	-																																																																																																																																																																																																																		
セクション材	開閉方式	収納形式	ガイドレールの材質																																																																																																																																																																																																																
※スチールタイプ	※バランスタイプ	・スタンダード形	・溶融亜鉛めっき鋼板																																																																																																																																																																																																																
・アルミニウムタイプ	・チェーン式	・ローヘッド形	※ステンレス鋼板																																																																																																																																																																																																																
・ファイバーグラスタイプ	・電動式	・ハイリフト形	(SUS304)																																																																																																																																																																																																																
・バーチカル形	-	-	-																																																																																																																																																																																																																
市販品	形式	・30組用	・60組用	・120組用																																																																																																																																																																																																															
-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																															
ガラスブロック	品質JIS A5212によるもの	防火認定																																																																																																																																																																																																																	
寸法(mm)	色調	パターン																																																																																																																																																																																																																	
-	※クリア ・熱線反射 ・乳白 ・カラー()	※無し ・有り																																																																																																																																																																																																																	
留め材の種類	材	質																																																																																																																																																																																																																	
アルミニウム製	※シーリング材 ・ガスケット(F 1 X部はシーリング材)	-																																																																																																																																																																																																																	
鋼製及び軽量鋼製	※シーリング材	-																																																																																																																																																																																																																	
ステンレス製	※シーリング材	-																																																																																																																																																																																																																	
4-2	<p>外壁改修工事 コンクリート打放し仕上げ外壁</p> <p>1. ひび割れ部改修工法</p> <p>※樹脂注入工法 (表4.1.4) (表4.3.4~表4.3.6)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>注入工法の種類</th> <th>ひび割れ幅 (mm)</th> <th>注入口間隔 (mm)</th> <th>注入量 (ml/m)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.2以上~1.0未満</td> <td>※200~300</td> <td>※</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>・手動式エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.2以上~0.3未満</td> <td>※50~100</td> <td>※40</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>・機械式エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.5以上~1.0未満</td> <td>※150~250</td> <td>※130</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> <p>注入材料 ※建築補修用注入エポキシ樹脂 (JIS A6024低粘度型又は中粘度型)</p> <p>検査(コア採取) ※行わない ・行う(採取部の補修方法:)</p> <p>・リカットシール材充填工法 (表4.1.4) (表4.2.2) (表4.3.5)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>充填材料</th> <th>品質・規格等</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・シーリング用材料</td> <td>※1成分形又は2成分形 ポリウレタン系シーリング材</td> <td>ポリマーセメントモルタルの充填 ※行わない ・行う</td> </tr> <tr> <td>・可とう性エポキシ樹脂</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> <p>・シール工法 (表4.1.4) (表4.2.2) (表4.3.6)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>シール材料</th> <th>品質・規格等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・パテ状エポキシ樹脂</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>・可とう性エポキシ樹脂</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> <p>2. 欠損部改修工法 (表4.1.4) (表4.2.2) (表4.3.7)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>シール材料</th> <th>品質・規格等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・エポキシ樹脂モルタル</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>・ポリマーセメントモルタル</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>	注入工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	注入口間隔 (mm)	注入量 (ml/m)	備考	※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~1.0未満	※200~300	※	-	・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~0.3未満	※50~100	※40	-	・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上~1.0未満	※150~250	※130	-	充填材料	品質・規格等	備考	・シーリング用材料	※1成分形又は2成分形 ポリウレタン系シーリング材	ポリマーセメントモルタルの充填 ※行わない ・行う	・可とう性エポキシ樹脂	-	-	シール材料	品質・規格等	・パテ状エポキシ樹脂	-	・可とう性エポキシ樹脂	-	シール材料	品質・規格等	・エポキシ樹脂モルタル	-	・ポリマーセメントモルタル	-	<p>4-4</p> <p>外壁改修工事 タイル張り仕上げ外壁</p> <p>1. 既存タイル張りの撤去</p> <p>② ひび割れ部改修工法</p> <p>改修箇所 ※既存タイル張り面 ・既存タイル撤去面(・コンクリート面 ・モルタル面)</p> <p>※樹脂注入工法 (表4.1.4) (表4.3.4) (表4.5.5)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>注入工法の種類</th> <th>ひび割れ幅 (mm)</th> <th>注入口間隔 (mm)</th> <th>注入量 (cc/m)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.2以上~1.0未満</td> <td>※200~300</td> <td>※</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>・手動式エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.2以上~0.3未満</td> <td>※50~100</td> <td>※40</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>・機械式エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.5以上~1.0未満</td> <td>※150~250</td> <td>※130</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> <p>注入材料 ※建築補修用注入エポキシ樹脂 (JIS A 6024低粘度型又は中粘度型)</p> <p>検査(コア採取) ※行わない ・行う(採取部の補修方法:) (表4.3.4)</p> <p>・リカットシール材充填工法(既存タイル張り撤去面) (表4.1.4) (表4.2.2) (表4.3.5) (表4.3.6)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>充填材料</th> <th>品質・規格等</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・シーリング用材料</td> <td>※1成分形又は2成分形 ポリウレタン系シーリング材</td> <td>ポリマーセメントモルタルの充填 ※行わない ・行う</td> </tr> <tr> <td>・可とう性エポキシ樹脂</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> <p>③ 欠損部改修工法 (表4.1.4) (表4.2.2) (表4.5.7)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>接着剤の種類</th> <th>品質・規格等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※ポリマーセメントモルタル</td> <td>「建設省官民連携共同研究報告書『有機系接着剤を利用した外装タイル・石張りシステムの開発』(建設大臣官庁技術調査室監修平成9年2月)」における「外装タイル・石張り用接着剤の品質基準(案)」に基づく品質性能試験に適合するタイプIであって監督職員の承諾するもの又は特記による。</td> </tr> </tbody> </table> <p>・タイル張替え工法 (表4.1.4) (表4.5.8) (表4.5.9)</p> <p>伸縮目地調整及びひび割れ誘発目地 位置 ※改修仕様表4.5.11による ・図示</p>	注入工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	注入口間隔 (mm)	注入量 (cc/m)	備考	※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~1.0未満	※200~300	※	-	・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~0.3未満	※50~100	※40	-	・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上~1.0未満	※150~250	※130	-	充填材料	品質・規格等	備考	・シーリング用材料	※1成分形又は2成分形 ポリウレタン系シーリング材	ポリマーセメントモルタルの充填 ※行わない ・行う	・可とう性エポキシ樹脂	-	-	接着剤の種類	品質・規格等	※ポリマーセメントモルタル	「建設省官民連携共同研究報告書『有機系接着剤を利用した外装タイル・石張りシステムの開発』(建設大臣官庁技術調査室監修平成9年2月)」における「外装タイル・石張り用接着剤の品質基準(案)」に基づく品質性能試験に適合するタイプIであって監督職員の承諾するもの又は特記による。	<p>5 建具改修工事</p> <p>1. 改修工法の適用 (表5.1.3)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>建具の種類</th> <th>排煙オペレーター交換</th> <th>適用箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○アルミニウム製建具</td> <td>-</td> <td>※すべて</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">○鋼製建具</td> <td>○外部</td> <td>※建具表による ・図示</td> </tr> <tr> <td>○内部</td> <td>※建具表による ・図示</td> </tr> <tr> <td>○鋼製軽量建具</td> <td>-</td> <td>※建具表による ・図示</td> </tr> <tr> <td>・ステンレス製建具</td> <td>-</td> <td>※建具表による ・図示</td> </tr> </tbody> </table> <p>・特殊な建具の仮組(建具番号:) (表5.1.5)</p> <p>2. 見本の製作等 (表5.1.7)</p> <p>3. 防犯建物部品 (表5.2.1)</p> <p>④ アルミニウム製建具 (表5.2.2) (表5.2.1)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>耐風圧性</th> <th>気密性</th> <th>水密性</th> <th>特見込み(mm)</th> <th>施工箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・A種</td> <td>S-4</td> <td>※A-3</td> <td>※W-4</td> <td>※7 0</td> <td>※図示</td> </tr> <tr> <td>・B種</td> <td>S-5</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>・C種</td> <td>S-6</td> <td>A-4</td> <td>W-5</td> <td>1 0 0</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> <p>外部に面する建具 (表5.2.2) (表5.2.1)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>耐風圧性</th> <th>気密性</th> <th>水密性</th> <th>特見込み(mm)</th> <th>施工箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・A種</td> <td>S-4</td> <td>※A-3</td> <td>※W-4</td> <td>※7 0</td> <td>※図示</td> </tr> <tr> <td>・B種</td> <td>S-5</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>・C種</td> <td>S-6</td> <td>A-4</td> <td>W-5</td> <td>1 0 0</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> <p>防音ドアセット ・防音サッシ ・適用する 遮音性の等級 () 耐震ドアセット ・適用する 面内変形追随性の等級 () 断熱ドアセット ・断熱サッシ ・適用する 断熱性の等級 () 表面処理 ※B-1 ・B-2 (※7 ヲカ系 ・ブ ラク ・ｽﾌﾟﾙﾀ)</p> <p>屋内建具 表面処理 ※C-1 又は B-1 ・C-2 又は B-2 (※7 ヲカ系 ・ブ ラク ・ｽﾌﾟﾙﾀ)</p> <p>防虫網 網の種類 ・合成樹脂製 ・ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ステンレス製 (SUS316) 形式 ・外部可動式 ・固定式 ・開き網戸</p> <p>簡易気密型ドアセットの適用は特記による (表5.3.1) (表5.3.2) (表5.3.3)</p> <p>特定防火設備の戸 ・適用する (表5.3.4)</p> <p>簡易気密型ドアセットの適用は特記による (表5.4.2)</p> <p>簡易気密型ドアセットの適用は特記による (表5.5.2)</p> <p>耐風圧性の適用は建具表による (表5.4) (表5.5)</p> <p>表面仕上げ ※H L仕上げ ・鏡面仕上げ 曲げ加工 ※普通曲げ ・角出し曲げ(補強有り) (表5.5.1)</p> <p>特定防火設備の戸 ・適用する (表5.5.1)</p> <p>※製造所標準製作規定寸法許容差による (表5.7.2) (表5.7.3) (表5.7.1~表5.7.3)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>開閉方法</th> <th>センサの種類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※スライディングドア</td> <td>・マットスイッチ</td> </tr> <tr> <td>・スイングドア</td> <td>・電子マットスイッチ</td> </tr> <tr> <td>性能</td> <td>※光線スイッチ ・音波スイッチ ・熱線スイッチ ・光電スイッチ ・多機能併用スイッチ</td> </tr> <tr> <td>・凍結防止措置(適用箇所は建具表による)</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> <p>品質規格 ※改修仕様5.8.3による ・製造所標準仕様による (表5.8.1) (表5.8.2)</p> <p>10. 自動ドア開閉装置 (表5.8.3) (表5.8.1)</p> <p>ふまち戸の種類 かまち () 鏡板 () (表16.6.2) ふまちの上張り ※新鳥の子又はビニル経度(押入等の裏面を除く) (表16.6.3) ・鳥の子</p> <p>建物内部の未製建具に使用する表面材及び接着剤の44797' b' 放射量の等級 ※規制対象外 ・第三種 (表16.6.2)</p>	建具の種類	排煙オペレーター交換	適用箇所	○アルミニウム製建具	-	※すべて	○鋼製建具	○外部	※建具表による ・図示	○内部	※建具表による ・図示	○鋼製軽量建具	-	※建具表による ・図示	・ステンレス製建具	-	※建具表による ・図示	種別	耐風圧性	気密性	水密性	特見込み(mm)	施工箇所	・A種	S-4	※A-3	※W-4	※7 0	※図示	・B種	S-5	-	-	-	-	・C種	S-6	A-4	W-5	1 0 0	-	種別	耐風圧性	気密性	水密性	特見込み(mm)	施工箇所	・A種	S-4	※A-3	※W-4	※7 0	※図示	・B種	S-5	-	-	-	-	・C種	S-6	A-4	W-5	1 0 0	-	開閉方法	センサの種類	※スライディングドア	・マットスイッチ	・スイングドア	・電子マットスイッチ	性能	※光線スイッチ ・音波スイッチ ・熱線スイッチ ・光電スイッチ ・多機能併用スイッチ	・凍結防止措置(適用箇所は建具表による)	-	<p>6 内装改修工事</p> <p>① 改修範囲 (表6.1.3)</p> <p>既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井、壁、床の改修範囲 ※壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ・図示の範囲</p> <p>天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井の改修範囲 ※壁面より両側600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ・図示の範囲</p> <p>天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修 ※既存のまま ・図示の範囲</p> <p>② 既存床の撤去並びに 下地補修 (表6.2.2)</p> <p>ビニル床シート等の撤去 ※仕上げ材のみ(接着剤とも) ・下地モルタルとも(※図示の範囲) ・除去範囲全て)</p> <p>合成樹脂塗床材の除去工法 ・機械的除去工法 ・目取工法 改修後の床の清掃範囲 ※改修箇所の室内</p> <p>③ 既存壁の撤去並びに 下地補修 (表6.3.2) (表6.3.1)</p> <p>開仕切壁撤去に伴う地の構造体の補修 ※図示 ・モルタル塗り(塗り厚25mmを超える場合の補強 ※行方 ・行わない)</p> <p>④ 木下地等 (表6.5.2) (表6.5.3) (表6.5.4)</p> <p>木材の品質 ※改修仕様6.5.2による ・市販品 (表6.5.2) (表6.5.3) 樹種 ※改修仕様6.5.4による (表6.5.4) (表6.5.5) ・代用樹種を適用しない箇所 () 保存処理木材を使用する箇所 ()</p> <p>⑤ 集材等 (表6.5.2)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>品名</th> <th>規格・品質</th> <th>芯材の樹種</th> <th>化粧単板の樹種</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※集成材</td> <td>※一般材</td> <td>・たも ・なら ・しおじ</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>・構造用集成材</td> <td>※1級 ・2級</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>・造作用集成材</td> <td>※1級 ・2級</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>・化粧張り造作用集成材</td> <td>※1級 ・2級</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> <p>ホルムアルデヒド放射量の等級 ※規制対象外 ・第三種</p> <p>⑥ 接着剤 (表6.5.2)</p> <p>接着剤に含まれる可塑剤は、難揮発性のものとする。(表6.5.2)</p> <p>※木工事に使用する接着剤 1) 7樹種、737樹種、737樹種、737樹種又は44797' b' 放射量(以下「177樹種等」という。)を用いた接着剤の44797' b' 放射量の等級 ※規制対象外 ・第三種</p> <p>※壁紙、ビニル床タイル、ビニル床シート、幅木に使用する接着剤 壁紙施工用でん粉系接着剤、177樹種等を用いた接着剤の44797' b' 放射量の等級 ※規制対象外 ・第三種 (表6.8.2) (表6.14.2)</p>	品名	規格・品質	芯材の樹種	化粧単板の樹種	※集成材	※一般材	・たも ・なら ・しおじ	-	・構造用集成材	※1級 ・2級	-	-	・造作用集成材	※1級 ・2級	-	-	・化粧張り造作用集成材	※1級 ・2級	-	-	<p>7. 軽量シャッター</p> <p>閉形式 ※上部電動式(手動併用) ・上部手動式 危険防止機構 ※障害物感知装置(自動閉鎖型) ・シャッターの二段降下方式 (表5.9.2) 一般重量シャッターのシャッターケース ※設ける ・設けない</p> <p>18. オーバーヘッドドア</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>セクション材</th> <th>開閉方式</th> <th>収納形式</th> <th>ガイドレールの材質</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※スチールタイプ</td> <td>※バランスタイプ</td> <td>・スタンダード形</td> <td>・溶融亜鉛めっき鋼板</td> </tr> <tr> <td>・アルミニウムタイプ</td> <td>・チェーン式</td> <td>・ローヘッド形</td> <td>※ステンレス鋼板</td> </tr> <tr> <td>・ファイバーグラスタイプ</td> <td>・電動式</td> <td>・ハイリフト形</td> <td>(SUS304)</td> </tr> <tr> <td>・バーチカル形</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> <p>耐風圧性能 () N/m²</p> <p>19. かざ箱</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>市販品</th> <th>形式</th> <th>・30組用</th> <th>・60組用</th> <th>・120組用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>	セクション材	開閉方式	収納形式	ガイドレールの材質	※スチールタイプ	※バランスタイプ	・スタンダード形	・溶融亜鉛めっき鋼板	・アルミニウムタイプ	・チェーン式	・ローヘッド形	※ステンレス鋼板	・ファイバーグラスタイプ	・電動式	・ハイリフト形	(SUS304)	・バーチカル形	-	-	-	市販品	形式	・30組用	・60組用	・120組用	-	-	-	-	-							
注入工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	注入口間隔 (mm)	注入量 (ml/m)	備考																																																																																																																																																																																																															
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~1.0未満	※200~300	※	-																																																																																																																																																																																																															
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~0.3未満	※50~100	※40	-																																																																																																																																																																																																															
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上~1.0未満	※150~250	※130	-																																																																																																																																																																																																															
充填材料	品質・規格等	備考																																																																																																																																																																																																																	
・シーリング用材料	※1成分形又は2成分形 ポリウレタン系シーリング材	ポリマーセメントモルタルの充填 ※行わない ・行う																																																																																																																																																																																																																	
・可とう性エポキシ樹脂	-	-																																																																																																																																																																																																																	
シール材料	品質・規格等																																																																																																																																																																																																																		
・パテ状エポキシ樹脂	-																																																																																																																																																																																																																		
・可とう性エポキシ樹脂	-																																																																																																																																																																																																																		
シール材料	品質・規格等																																																																																																																																																																																																																		
・エポキシ樹脂モルタル	-																																																																																																																																																																																																																		
・ポリマーセメントモルタル	-																																																																																																																																																																																																																		
注入工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	注入口間隔 (mm)	注入量 (cc/m)	備考																																																																																																																																																																																																															
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~1.0未満	※200~300	※	-																																																																																																																																																																																																															
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~0.3未満	※50~100	※40	-																																																																																																																																																																																																															
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上~1.0未満	※150~250	※130	-																																																																																																																																																																																																															
充填材料	品質・規格等	備考																																																																																																																																																																																																																	
・シーリング用材料	※1成分形又は2成分形 ポリウレタン系シーリング材	ポリマーセメントモルタルの充填 ※行わない ・行う																																																																																																																																																																																																																	
・可とう性エポキシ樹脂	-	-																																																																																																																																																																																																																	
接着剤の種類	品質・規格等																																																																																																																																																																																																																		
※ポリマーセメントモルタル	「建設省官民連携共同研究報告書『有機系接着剤を利用した外装タイル・石張りシステムの開発』(建設大臣官庁技術調査室監修平成9年2月)」における「外装タイル・石張り用接着剤の品質基準(案)」に基づく品質性能試験に適合するタイプIであって監督職員の承諾するもの又は特記による。																																																																																																																																																																																																																		
建具の種類	排煙オペレーター交換	適用箇所																																																																																																																																																																																																																	
○アルミニウム製建具	-	※すべて																																																																																																																																																																																																																	
○鋼製建具	○外部	※建具表による ・図示																																																																																																																																																																																																																	
	○内部	※建具表による ・図示																																																																																																																																																																																																																	
○鋼製軽量建具	-	※建具表による ・図示																																																																																																																																																																																																																	
・ステンレス製建具	-	※建具表による ・図示																																																																																																																																																																																																																	
種別	耐風圧性	気密性	水密性	特見込み(mm)	施工箇所																																																																																																																																																																																																														
・A種	S-4	※A-3	※W-4	※7 0	※図示																																																																																																																																																																																																														
・B種	S-5	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																														
・C種	S-6	A-4	W-5	1 0 0	-																																																																																																																																																																																																														
種別	耐風圧性	気密性	水密性	特見込み(mm)	施工箇所																																																																																																																																																																																																														
・A種	S-4	※A-3	※W-4	※7 0	※図示																																																																																																																																																																																																														
・B種	S-5	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																														
・C種	S-6	A-4	W-5	1 0 0	-																																																																																																																																																																																																														
開閉方法	センサの種類																																																																																																																																																																																																																		
※スライディングドア	・マットスイッチ																																																																																																																																																																																																																		
・スイングドア	・電子マットスイッチ																																																																																																																																																																																																																		
性能	※光線スイッチ ・音波スイッチ ・熱線スイッチ ・光電スイッチ ・多機能併用スイッチ																																																																																																																																																																																																																		
・凍結防止措置(適用箇所は建具表による)	-																																																																																																																																																																																																																		
品名	規格・品質	芯材の樹種	化粧単板の樹種																																																																																																																																																																																																																
※集成材	※一般材	・たも ・なら ・しおじ	-																																																																																																																																																																																																																
・構造用集成材	※1級 ・2級	-	-																																																																																																																																																																																																																
・造作用集成材	※1級 ・2級	-	-																																																																																																																																																																																																																
・化粧張り造作用集成材	※1級 ・2級	-	-																																																																																																																																																																																																																
セクション材	開閉方式	収納形式	ガイドレールの材質																																																																																																																																																																																																																
※スチールタイプ	※バランスタイプ	・スタンダード形	・溶融亜鉛めっき鋼板																																																																																																																																																																																																																
・アルミニウムタイプ	・チェーン式	・ローヘッド形	※ステンレス鋼板																																																																																																																																																																																																																
・ファイバーグラスタイプ	・電動式	・ハイリフト形	(SUS304)																																																																																																																																																																																																																
・バーチカル形	-	-	-																																																																																																																																																																																																																
市販品	形式	・30組用	・60組用	・120組用																																																																																																																																																																																																															
-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																															
4-3	<p>外壁改修工事 モルタル塗り仕上げ外壁</p> <p>1. 既存モルタル塗りの撤去</p> <p>・行う(※全面 ・図示の範囲)</p> <p>2. ひび割れ部改修工法</p> <p>※樹脂注入工法 (表4.1.4) (表4.3.4~表4.3.6)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>注入工法の種類</th> <th>ひび割れ幅 (mm)</th> <th>注入口間隔 (mm)</th> <th>注入量 (cc/m)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.2以上~1.0未満</td> <td>※200~300</td> <td>※</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>・手動式エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.2以上~0.3未満</td> <td>※50~100</td> <td>※40</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>・機械式エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.5以上~1.0未満</td> <td>※150~250</td> <td>※130</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> <p>注入材料 ※建築補修用注入エポキシ樹脂 (JIS A6024低粘度型又は中粘度型)</p> <p>検査(コア採取) ※行わない ・行う(採取部の補修方法:)</p> <p>・リカットシール材充填工法 (表4.1.4) (表4.2.2) (表4.3.5)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>充填材料</th> <th>品質・規格等</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・シーリング用材料</td> <td>※1成分形又は2成分形 ポリウレタン系シーリング材</td> <td>ポリマーセメントモルタルの充填 ※行わない ・行う</td> </tr> <tr> <td>・可とう性エポキシ樹脂</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> <p>・シール工法(※既存モルタル面 ・既存躯体コンクリート面) (表4.1.4) (表4.2.2) (表4.4.7)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>シール材料</th> <th>品質・規格等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・パテ状エポキシ樹脂</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>・可とう性エポキシ樹脂</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> <p>3. 欠損部改修工法 (表4.1.4) (表4.8) (表4.4.9)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>改修工法の種類</th> <th>材</th> <th>品質・規格等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・充填工法</td> <td>ポリマーセメントモルタル</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>・モルタル塗替え工法</td> <td>改修仕様4.2.2(イ)による</td> <td>塗り厚25mmを超える場合の補強 ※行方 ・行わない ・図示</td> </tr> </tbody> </table> <p>既設目地材 ・適用する(形状 ※図示) (表4.2.2)</p>	注入工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	注入口間隔 (mm)	注入量 (cc/m)	備考	※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~1.0未満	※200~300	※	-	・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~0.3未満	※50~100	※40	-	・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上~1.0未満	※150~250	※130	-	充填材料	品質・規格等	備考	・シーリング用材料	※1成分形又は2成分形 ポリウレタン系シーリング材	ポリマーセメントモルタルの充填 ※行わない ・行う	・可とう性エポキシ樹脂	-	-	シール材料	品質・規格等	・パテ状エポキシ樹脂	-	・可とう性エポキシ樹脂	-	改修工法の種類	材	品質・規格等	・充填工法	ポリマーセメントモルタル	-	・モルタル塗替え工法	改修仕様4.2.2(イ)による	塗り厚25mmを超える場合の補強 ※行方 ・行わない ・図示	<p>① 浮き部改修工法 (表4.1.4) (表4.5.10~表4.5.15) (表4.4.3) (表4.4.4)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">改修工法の種類 (タイルを撤去しない場合)</th> <th colspan="2">フカビンの本数(本/m²)</th> <th colspan="2">注入口の箇所数(箇所/m²)</th> <th rowspan="2">充填量 注入量</th> </tr> <tr> <th>一般部</th> <th>指定部</th> <th>一般部</th> <th>指定部</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・アンカーピンニング部分 エポキシ樹脂注入工法</td> <td>※1 6</td> <td>※2 5</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>※2 5ml</td> </tr> <tr> <td>・アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法</td> <td>※1 3</td> <td>※2 0</td> <td>※1 2</td> <td>※2 0</td> <td>※2 5ml</td> </tr> <tr> <td>・アンカーピンニング全面 ポリマーセメントスラリー注入工法</td> <td>※1 3</td> <td>※2 0</td> <td>※1 2</td> <td>※2 0</td> <td>※5 0ml</td> </tr> <tr> <td>・注入口付アンカーピンニング部分 エポキシ樹脂注入工法</td> <td>※9</td> <td>※1 6</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>※2 5ml</td> </tr> <tr> <td>・注入口付アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法</td> <td>※9</td> <td>※1 6</td> <td>※9</td> <td>※1 6</td> <td>※2 5ml</td> </tr> <tr> <td>・注入口付アンカーピンニング全面 ポリマーセメントスラリー注入工法</td> <td>※9</td> <td>※1 6</td> <td>※9</td> <td>※1 6</td> <td>※5 0ml</td> </tr> <tr> <td>・注入口付アンカーピンニング エポキシ樹脂注入工法</td> <td>※9</td> <td>※1 6</td> <td>※9</td> <td>※1 6</td> <td>※5 0ml</td> </tr> </tbody> </table> <p>アンカーピン 材質 ※ステンレス SUS 304、呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工したもの</p> <p>注入口付アンカーピン 材質 ※ステンレス SUS 304、呼び径6mm</p> <p>② 陶磁器質タイル張り (表4.2.2) (表4.5.7) (表4.5.8) (表4.5.9)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>タイルの種類</th> <th>形状寸法 (mm)</th> <th>磁器</th> <th>せつ器</th> <th>釉薬</th> <th>役物</th> <th>色</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>施工箇所</td> <td>形状寸法 (mm)</td> <td>磁器</td> <td>せつ器</td> <td>釉薬</td> <td>役物</td> <td>色</td> <td>備考</td> </tr> <tr> <td>玄関床</td> <td>200*75</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>玄関壁</td> <td>120*60</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>既存品合わせ</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>既存品合わせ</td> </tr> </tbody> </table> <p>役物: 標準的な曲がり(小口、標準、二丁、屏風)の役物は一体成形とする。 タイルの見本機 ※行わない ・行う</p> <p>壁タイル張りの工法 (表4.5.7) (表4.5.8) (表4.5.9)</p> <p>③ 目地改修工法 (表4.1.4) (表4.5.16) (表3.7.2) (表3.7.1)</p> <p>・伸縮目地改修工法 (表4.1.4) (表4.5.16) シーリング用材料 種類 ※改修仕様表3.7.11による</p>	改修工法の種類 (タイルを撤去しない場合)	フカビンの本数(本/m ²)		注入口の箇所数(箇所/m ²)		充填量 注入量	一般部	指定部	一般部	指定部	・アンカーピンニング部分 エポキシ樹脂注入工法	※1 6	※2 5	-	-	※2 5ml	・アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法	※1 3	※2 0	※1 2	※2 0	※2 5ml	・アンカーピンニング全面 ポリマーセメントスラリー注入工法	※1 3	※2 0	※1 2	※2 0	※5 0ml	・注入口付アンカーピンニング部分 エポキシ樹脂注入工法	※9	※1 6	-	-	※2 5ml	・注入口付アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法	※9	※1 6	※9	※1 6	※2 5ml	・注入口付アンカーピンニング全面 ポリマーセメントスラリー注入工法	※9	※1 6	※9	※1 6	※5 0ml	・注入口付アンカーピンニング エポキシ樹脂注入工法	※9	※1 6	※9	※1 6	※5 0ml	タイルの種類	形状寸法 (mm)	磁器	せつ器	釉薬	役物	色	備考	施工箇所	形状寸法 (mm)	磁器	せつ器	釉薬	役物	色	備考	玄関床	200*75	○	-	-	-	-	-	玄関壁	120*60	-	○	-	○	○	既存品合わせ	-	-	-	-	-	-	-	既存品合わせ	<p>① 網戸 (表5.2.3)</p> <p>防虫網 網の種類 ・合成樹脂製 ・ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ステンレス製 (SUS316) 形式 ・外部可動式 ・固定式 ・開き網戸</p> <p>簡易気密型ドアセットの適用は特記による (表5.3.1) (表5.3.2) (表5.3</p>																																																																								
注入工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	注入口間隔 (mm)	注入量 (cc/m)	備考																																																																																																																																																																																																															
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~1.0未満	※200~300	※	-																																																																																																																																																																																																															
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~0.3未満	※50~100	※40	-																																																																																																																																																																																																															
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上~1.0未満	※150~250	※130	-																																																																																																																																																																																																															
充填材料	品質・規格等	備考																																																																																																																																																																																																																	
・シーリング用材料	※1成分形又は2成分形 ポリウレタン系シーリング材	ポリマーセメントモルタルの充填 ※行わない ・行う																																																																																																																																																																																																																	
・可とう性エポキシ樹脂	-	-																																																																																																																																																																																																																	
シール材料	品質・規格等																																																																																																																																																																																																																		
・パテ状エポキシ樹脂	-																																																																																																																																																																																																																		
・可とう性エポキシ樹脂	-																																																																																																																																																																																																																		
改修工法の種類	材	品質・規格等																																																																																																																																																																																																																	
・充填工法	ポリマーセメントモルタル	-																																																																																																																																																																																																																	
・モルタル塗替え工法	改修仕様4.2.2(イ)による	塗り厚25mmを超える場合の補強 ※行方 ・行わない ・図示																																																																																																																																																																																																																	
改修工法の種類 (タイルを撤去しない場合)	フカビンの本数(本/m ²)		注入口の箇所数(箇所/m ²)		充填量 注入量																																																																																																																																																																																																														
	一般部	指定部	一般部	指定部																																																																																																																																																																																																															
・アンカーピンニング部分 エポキシ樹脂注入工法	※1 6	※2 5	-	-	※2 5ml																																																																																																																																																																																																														
・アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法	※1 3	※2 0	※1 2	※2 0	※2 5ml																																																																																																																																																																																																														
・アンカーピンニング全面 ポリマーセメントスラリー注入工法	※1 3	※2 0	※1 2	※2 0	※5 0ml																																																																																																																																																																																																														
・注入口付アンカーピンニング部分 エポキシ樹脂注入工法	※9	※1 6	-	-	※2 5ml																																																																																																																																																																																																														
・注入口付アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法	※9	※1 6	※9	※1 6	※2 5ml																																																																																																																																																																																																														
・注入口付アンカーピンニング全面 ポリマーセメントスラリー注入工法	※9	※1 6	※9	※1 6	※5 0ml																																																																																																																																																																																																														
・注入口付アンカーピンニング エポキシ樹脂注入工法	※9	※1 6	※9	※1 6	※5 0ml																																																																																																																																																																																																														
タイルの種類	形状寸法 (mm)	磁器	せつ器	釉薬	役物	色	備考																																																																																																																																																																																																												
施工箇所	形状寸法 (mm)	磁器	せつ器	釉薬	役物	色	備考																																																																																																																																																																																																												
玄関床	200*75	○	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																												
玄関壁	120*60	-	○	-	○	○	既存品合わせ																																																																																																																																																																																																												
-	-	-	-	-	-	-	既存品合わせ																																																																																																																																																																																																												

8-1	耐震改修工事及び耐震改修範囲以外の躯体改修工事	1. 鉄筋の種類	(8.2.1)(表8.2.1)	種類の種類 呼び名(mm) ・SD295A ※D16以下 ・SD345 ※D19以上	22. 耐火被覆材	(8.17.2~8.17.7)	種別 所要性及び適用構造区分 ・ラス張りモルタル塗り ・耐火材 ・耐火被覆材 ・耐火被覆材	4. 連続繊維シート巻き	(8.2.11)	材料・形状 採用した工法の規定を満足するもの 材質 引張り強度(含浸硬化後) ・2500N/mm ² 以上 ・3000N/mm ² 以上 ヤング係数(含浸硬化後) ・2.35×10 ⁴ N/mm ² 程度 ・2.00×10 ⁴ N/mm ² 程度	10	①工事現場の環境改善について ②産業廃棄物の取扱いについて ③再生資源利用促進計画等について ④ISO14001関係 ⑤過積載の禁止	工事現場のイメージアップ ・仮囲い周辺美化 地域住民への情報提供 ・完成予定図の設置 ・情報掲示板の設置 ・パンフレットの作成 地域住民とのコミュニケーション ・現場見学会の開催 住民に対する災害防止関係 ・現場出入口周辺への誘導員の配備 (1)解体工事を行う場合は、別添の解体工事仕様書によること。 (2)廃棄物の処理に当たっては、請負者が自ら処理(分別、保管、収集、運搬及び処分の一連の行為)するときは、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」(以下「廃棄物処理法」という。)に基づき、適正に行うこと。 (3)廃棄物の処理の全部又は一部を委託する場合は、廃棄物処理法に基づき処理を業として許可を取得している者に委託すること。また、施行前に産業廃棄物処理委託契約書の写し、産業廃棄物処理業の許可証の写し、許可運搬車両一両及び処分地の案内図を監督員に提出すること。 (4)しゅん工したときは、積込み状況の写真、処分状況の写真、マシナリ票、B2票、D票並びにE票の写しを監督員に提出すること。 (E票及びD票はマシナリ交付日(特別管理産業廃棄物は60日)、E票は180日以内に提出するものとし、工期限内に提出できない場合は、監督員と協議すること。) 「再生資源の利用の促進に関する法律」(以下「リサイクル法」という。)に基づき、請負者は、工事の着手前に「再生資源利用促進計画書」及び「再生資源利用計画書」を提出し、監督員の承諾を受けること。また、しゅん工後に「再生資源利用促進実施書」及び「再生資源利用実施書」を提出すること。 対象工事：リサイクル法に規定する一定規模以上の工事又は工事規模が1千万円以上の工事 (1)現場で使用する機械は、低騒音、低振動、低排ガス型施工機械とする。 (2)夜間、早朝等の稼働を避けること。ただし、監督職員の承諾を受けた場合はこの限りでない。なお、運搬ルート(の選定に当たっては影響の少ないルートを選定すること。 (3)汚水、汚濁、土砂の流失防止に努めること。また、表土復元等環境の回復に努めること。 (4)地盤改良によって、周辺への水質、土壌など地下水に影響を及ぼすおそれがある場合は監督職員と協議を行うこと。 「参考資料」：平成12年3月24日付、建設省技発第49号、同発第10号(改正平成13年4月20日) 「セメント及びセメント系固化工材の地盤改良への使用及び改良土の再利用に関する当否の措置について」 (5)熱帯材合板型枠は、極力使用しないこと。 資機材の運搬にあたっては、運搬車両の最大積載量を把握し過積載を行わないよう計画すること。また、飛散の恐れがあるものについては、飛散しないよう処置を行い運搬すること。
		2. 溶接金網	(8.2.2)	網目の形状、寸法及び鉄線の径 網目の形状、寸法(たて×よこ) 鉄線の径または呼び(mm) 規格 ※100×100 ※6.0 JIS G3551による	23. 既存コンクリートの目直し	(8.9.3)(8.20.3)	適用範囲 ※既存コンクリートとの打継ぎ面 ※既存コンクリートとモルタル又はコンクリートの充填部の接合面 目直し範囲 ※柱・梁面 打継ぎ面又は接合面全面の3/4以上 ※壁面 打継ぎ面又は接合面全面の1/3程度 目直しの程度 ※平均深さ5~10mm(最大深さ10~15mm)程度の凹部を施す	5. スリットの施工	(8.22.2)	スリット部の配管等の探査 ※探査機により探査し、配管等の位置の墨出を行う ・はつり出し	14001関係		
		3. 鉄筋の継手	(8.3.4)(表8.3.3)	継手方法 呼び名(mm) 適用箇所 ・ガス圧接 ・重ね継手	24. モルタル及びコンクリート	(7.10.3)(表7.10.2)(8.2.10)	柱底等の均しモルタル ※無収縮モルタル 標準仕7.10.2によるB種 コンクリート ※無収縮コンクリート 無収縮モルタル及び無収縮コンクリートの仕様は以下による 無収縮グラウト材 アイワケ及び現場調合形 無収縮グラウト材 アイワケ及び現場調合形 セメント系(酸化カルシウム及びカルシウムサルファミンネート等によって膨張する性質を利用するもの)とする。 JIS R 5210(ポルトランドセメント)による普通又は早強ポルトランドセメントとする。 土木学会コンクリート標準示方書に定められた品質を有するもので、特に精選されたものを絶対乾燥状態で使用する。 ただし、現場調合形に使用させる砂の乾燥状態については規定しない。	9	①アスベスト含有分析調査 分析による確認 ・下表による ○図示 材料名 調査方法 分析を行う箇所 備考 ※定性分析(※3) ※図示 ・定量分析(※3) ※上表による ※定性分析(※3) ※図示 ・定量分析(※3) ※上表による	11	①保険等 ②その他	(1)本建築引渡しまで請負者は工事事務、工事材料等について火災保険を掛ければならない。 (2) 工事期間中請負者の責任において労災保険に加入し、その負担は請負者とする。 (1)暴力団関係者から工事妨害による被害を受けた場合は、被害届を速やかに警察に提出すること。 (2) 工事請負額が500万円以上の工事については、工事実績情報(工事カルテ)の登録をすること。(ただし工事請負代金額500万円以上2,500万円未満の工事については、受注時・訂正時のみ登録するものとする。) 登録する場合は、あらかじめ監督職員の確認を受け、次に示す期間内に(財)日本建設情報総合センター(JACIC)に登録の手続きを行うとともに、登録されたことを証明する資料を監督職員に提出する。 なお、変更時と完成時の間が10日間に満たない場合は、変更時の提出を省略できるものとする。 ① 工事受注時 契約締結後10日以内 ② 登録内容の変更時 変更契約締結後10日以内 ③ 工事完成時 工事完成後10日以内 (連絡先：(財)日本建設情報総合センター TEL03-3505-2973) (3)下請負契約締結後、速やかに下請人通知書を提出すること。 (4)現場施行体制において、請負者は施工体制台帳を作成し、工事期間中工事現場に備え付けるとともに、監督職員に写しを提出すること。 また、工事現場における施工の分担関係を明示した「施工体系図」を作成し、これを工事関係者及び公衆の見やすい場所に掲示を行うこと。 ※施工体制台帳に記載すべき内容 ・建設業法施行規則 第14条の2第1項に掲げる事項 ・安全衛生責任者名、安全衛生推進者名、雇管理責任者名 (5)下記業種等については、建設工事に関連性をもち、元請負者の指揮、調整のもと行われるものであるため施工体制台帳、施工体系図、契約書及び下請負人通知書等整備すること。また、下記業種等と考えられるものについても、同様に整備すること。 ・交通整理員、ガードマン ・産業廃棄物処理業者 ・ダンプ運転(1人乗りダンプ運転手) ・1日完了する請負契約、小規模な作業・施工・労務のみ単価契約の請負契約 ・クレーン作業、コンクリートポンプ打設等日々の単価契約で行っているもの ・クレーン等の重機オペレーターを機械と一緒にリース会社から借上げる場合 ・他の会社から応援者を借上げ、請負契約を締結した場合(臨時雇用関係である依頼を除く)	
		4. 鉄筋及び溶接金網の最小かつり厚さ	(8.3.5)(表8.3.6)	最小かつり厚さは目地底から算定する。 ・耐久性上不利な箇所の鉄筋の最小かつり厚さは下表による。 施工箇所 改修標準表8.3.6の欄に加える寸法(mm) 柱、梁、壁及び応力の外気に接する打放し面 ※10	25. あと施工アンカーの材料	(8.2.4)	あと施工アンカーの材料 ・金属系アンカー(耐震補強用) ※接着系アンカー 接着剤の品質 ※有機系 アンカー筋の種類 ※鉄筋コンクリート用棒鋼 金ネジボルト カプセル型の施工による分類 ※回転・打撃式 打込み式	②ガラス改修工事	(9.4.2)	復層ガラスの厚さ 建具表による 断熱性・日射遮蔽性による区分 ※U3-1 U3-2	11	③その他	(6)本工事について、公共工事労務費調査、資材調査、建設副産物実態調査等の調査依頼を受けた場合は、これに協力すること。 (7)施行途中において、検査担当職員及び発注機関の長が指定する職員による、抜打ち検査を実施する場合には、これに協力すること。
		5. 各部の配筋	(8.3.4)	柱の配筋 帯筋の組立ての形の種別 ・H形 ・W-I形 ※W-II形	26. あと施工アンカーの穿孔	(8.11.2)	穿孔前の埋込み配管等の探査 範囲 ※あと施工アンカー-施工部分全て 方法 ※探査機により探査し、配管等の位置の墨出を行う ・はつり出しによる	8. 屋上緑化改修工事	(9.6.1)	植栽基盤及び材料 ・屋上緑化軽量システム 芝及び地被類の樹種並びに種類等 ※図示			
		6. ガス圧接	(8.3.9)	圧接部の確認試験 ※超音波探傷試験 引張試験	27. あと施工アンカーの施工確認試験	(8.11.5)	アンカー筋 ※行う(確認強度は図示による) ・行わない	9. 透水性アスファルト舗装改修工事	(9.7.4)(表9.7.5)	舗装材料 ※再生クラッシュラン(RC-40) ・クラッシュラン(C-40)又はクラッシュランスラグ(CS-40) 透水性の高いものを使用する 遮断層及び凍上抑制層の材料 ・遮断層 ※川砂、海砂及び良質な山砂 厚さは図示 ・凍上抑制層 ※再生クラッシュラン クラッシュラン 切り込み砂利 砂 厚さは図示 盛土に用いる材料 ・A種 ※B種 C種 D種 路床安定処理 ※追加材料による安定処理 種類 ・普通ポルトランドセメント フライアッシュセメントB種 高炉セメントB種 生石灰() 清石灰() 添加量 kg/m ³ (目標CBR ※5以上) 路床土の支持力比試験 ※行う(※乱した土・乱されない土) 路床締固め度の試験 ※行う アスファルト混合物 車道部 ※改良アスファルト1型 歩道部 ※ストレートアスファルト 透水性アスファルト混合物等の抽出試験 ※行わない 行う			
		7. コンクリートの種類及び強度	(8.1.3)(表8.1.1)	コンクリートの種類 ※I類 II類 普通コンクリートの設計基準強度 設計基準強度Fc(N/mm ²) 適用箇所 ※21	28. 断熱材用型枠	(8.21.5)	種別 施工箇所 厚さ(mm) 品質等 ・断熱材用型枠 ・木質系 ※壁(図示の範囲) ※40以下 断熱抵抗 =厚さ/熱伝導率 =0.676(m ² ・k/w)以上 製造所 建設技術評価「建築物の断熱材用型枠工法の開発」 において、評価を取ったもの						
		8. コンクリートの品質	(8.1.4)	スランブ スランブ(cm) 適用箇所 ※18	29. 耐震改修工事		1. 打増し壁に用いるシアコネクタ 種類 ※「F23 あと施工アンカーの材料」による 間隔(mm) ※500×500 図示						
		9. 普通コンクリート	(8.2.5)(表8.2.3)	モルタルの種類 ※普通モルタルモルタル又は混合モルタルのA種 ・高炉モルタルB種 普通モルタルモルタルは、JIS R5210に示された規定のほか、次の規定全てに適合するものとする。ただし、無筋コンクリートに用いる場合を除く。 水和熱 7d 352J/g以下 28d 402J/g以下 混和材料の種類 ※混和剤 混和材			2. 増設・補強工事のコンクリートの打込み	(8.19.8)(8.21.5)					
		10. 無筋コンクリート	[6.14.3]	種類 設計基準強度(N/mm ²) スランブ(cm) 粗骨材の最大寸法 適用箇所 ※普通コンクリート ※18 ※15又は18 ※25mm ・軽量コンクリート 20mm			3. 柱補強	(8.21.5)					
		11. 高い強度のコンクリート	(8.9.1)(8.9.2)(8.9.4)	設計基準強度(N/mm ²) ・27 ・30 ・33 ・36 適用箇所() 混和材料 ※混和剤(※高性能AE減水剤標準形又は遅延形)									
		13. 鉄骨製作工場	(8.1.5)	製作工場の加工能力 ・監督職員の承諾する製作者 ※建築基準法第77条の4第1項に基づき国土交通大臣から性能評価機関として認可を受けた(株)日本鉄骨評価センター又は(社)全国建築工業協会の「鉄骨製作工場の性能評価基準」に定める「グレード」として国土交通大臣から認定を受けた工場又は同等以上の能力のある工場。									
		14. 入熱、バス間温度の溶接条件		適用箇所 ※柱、梁、ブレースのフランジ端部の完全溶け込み溶接部 図示 鋼材と溶接材料の組み合わせと溶接条件 ※図示									
		15. 施工管理技術者	[7.1.4]	※適用する 適用しない									
		16. 鋼材	(8.2.7)(表8.2.5)	鋼材の材質 種類の種類 使用箇所 規格等 ※JIS規格品 ※JIS規格品 ※JIS規格品									
		17. スカラップ		※改良型スカラップ									
		18. 高力ボルト	(8.2.8)	高力ボルトの適用 ※トルシア形高力ボルト JIS形高力ボルト 溶融亜鉛めっき高力ボルト									
		19. 鉄骨工作仮組	(8.12.9)	・行う ※行わない									
		20. 溶接部の試験	(8.14.11)(8.14.12)	完全溶込み溶接部の超音波探傷試験 ※行う									
		21. 錆止め塗装	(8.16.3)	耐火被覆材の接着する面の塗装 ・行う(※JIS K5662) ※行わない									
8-2	耐震改修工事	1. 打増し壁に用いるシアコネクタ	(8.2.4)	種類 ※「F23 あと施工アンカーの材料」による 間隔(mm) ※500×500 図示									
		2. 増設・補強工事のコンクリートの打込み	(8.19.8)(8.21.5)	工法の種類 流し込み工法または圧入工法									
		3. 柱補強	(8.21.5)	溶接亜鉛めっき工法及び溶接閉鎖フープ巻き工法 柱頭柱脚の断端部間の型枠 ※ポリスチレンフォーム保温材等を埋込む 図示									

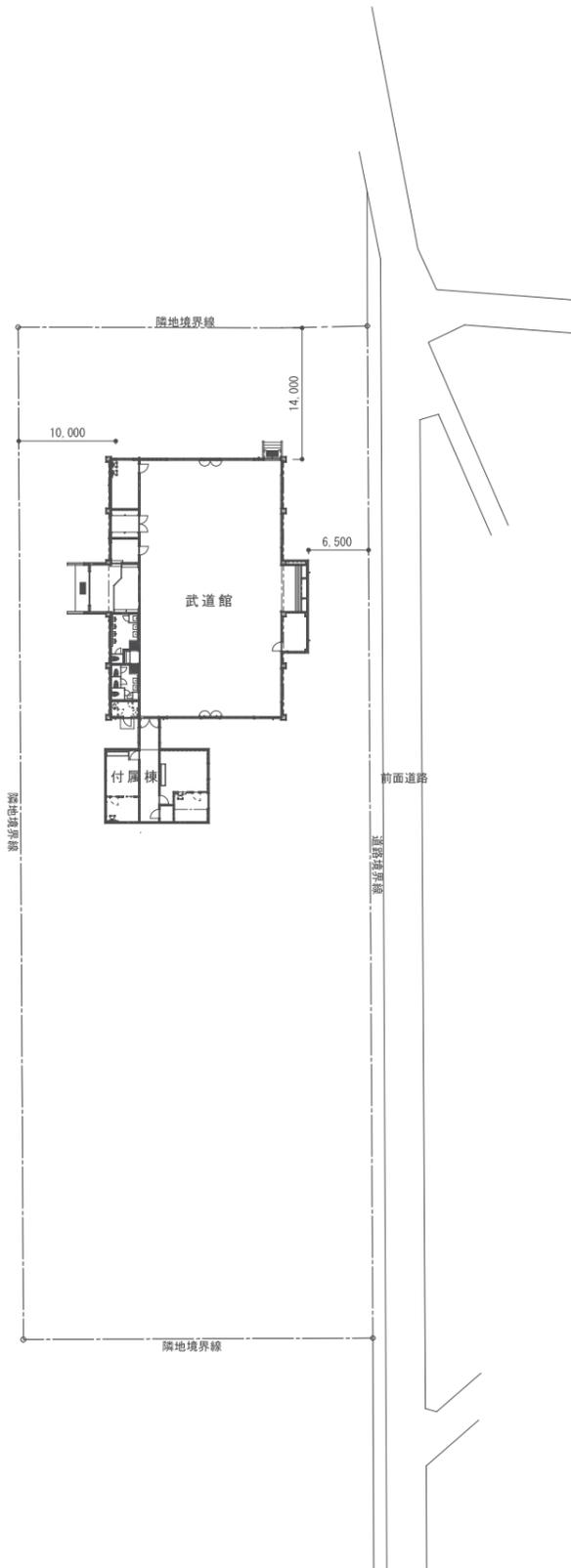


安曇野市総務部財産管理課

改修特記仕様書(その4)

令和6年度(明許繰越)豊科武道館柔道場大規模改修工事

検印欄	
図面名称	改修特記仕様書(その4)
年月日	2024.12.5
工事名	令和6年度(明許繰越)豊科武道館柔道場大規模改修工事
図面番号	A-5



配置図 S=1/500



案内図

面積表

	武道館	付属棟	合計 (㎡)
敷地面積			4000.00
建築面積	520.43	88.46	608.89
延べ面積	520.43	88.46	608.89

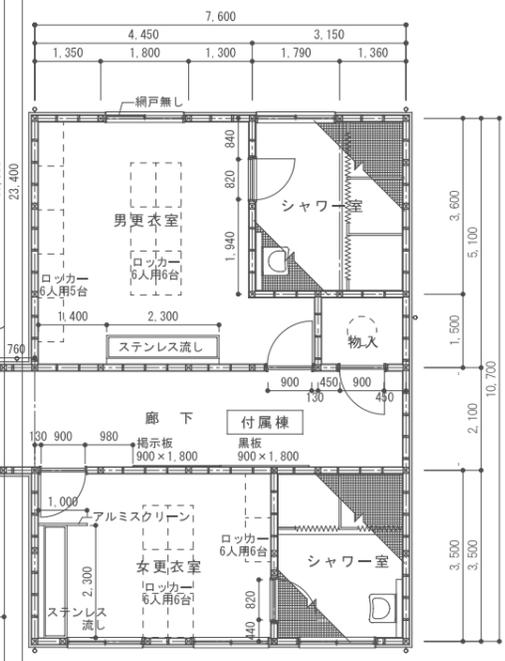
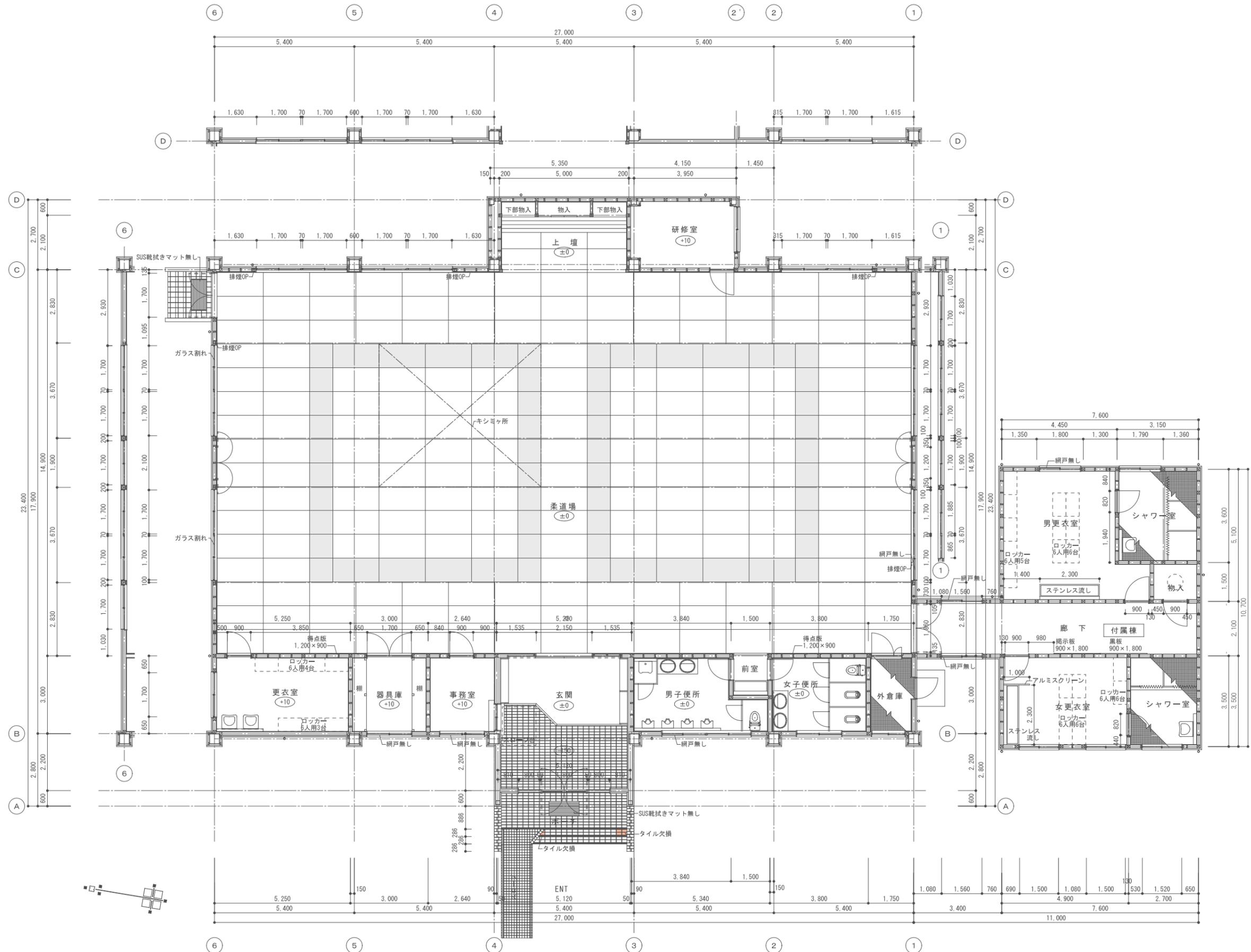
			CHECK	DRAW	JOB NO	TITLE	SHEET NAME	SHEET NO
					202409	令和6年度(明許繰越) 豊科武道館柔道場大規模改修工事	案内図・配置図	A-06
							SCALE	DAY
							1:500	2024.12.05

■ 内部仕上表 ■

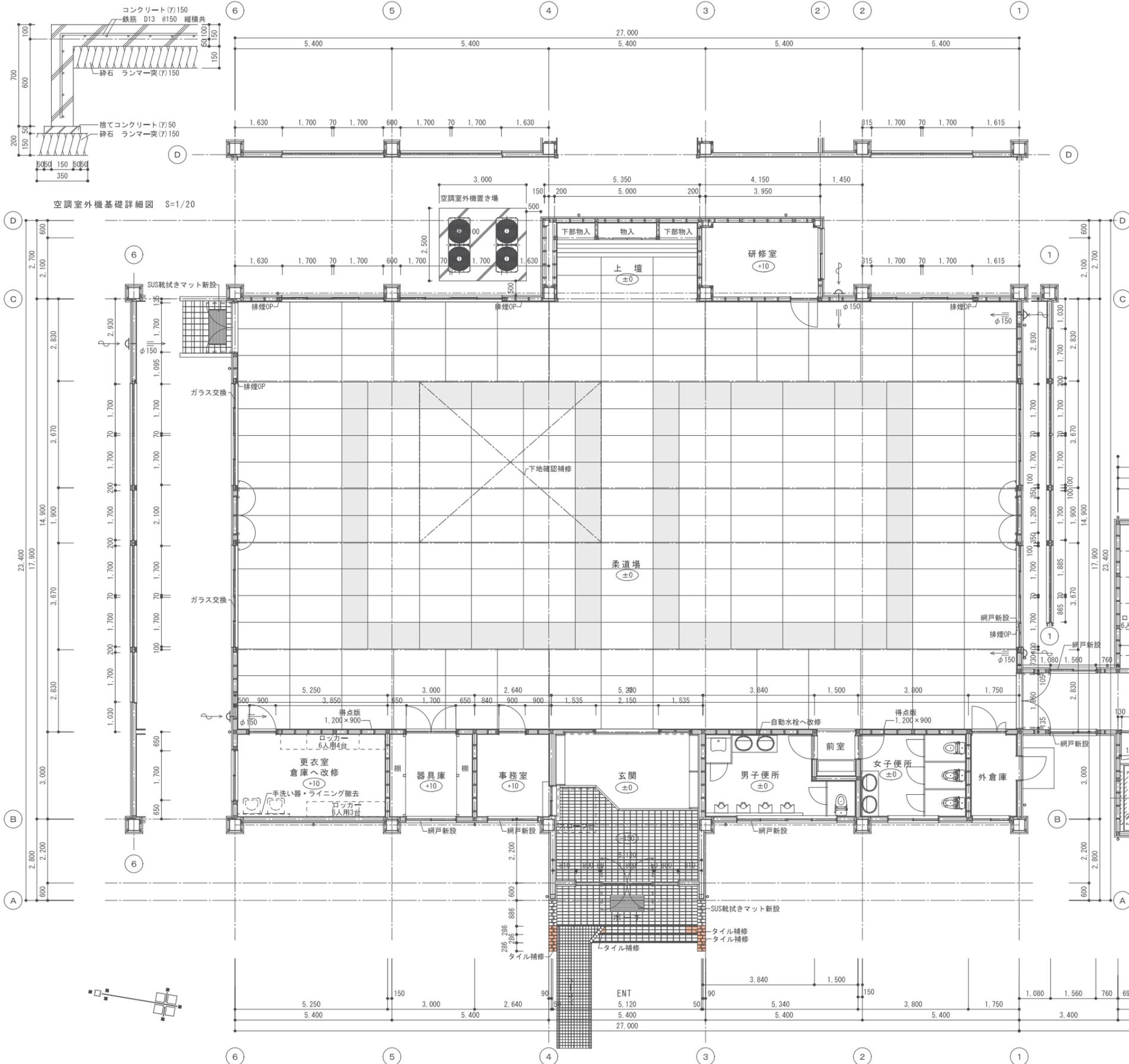
室名		床	巾木	腰壁	壁	天井	備考 (カウンターの寸法は仕上り寸法)
玄関	既存	モルタル 下地 100×200角タイル貼り(セッキ質・施釉)	テラゾーブロック H=150	(木部)ラスモルタル金鍍下地 弾性吹付タイル吹付コテ押さえ (鉄部)Dラスモルタル金鍍下地 弾性吹付タイル吹付コテ押さえ 既存壁表面調整の上、吹付タイル吹付鍍押え 下地調整材+EP塗装	(木部)ラスモルタル金鍍下地 弾性吹付タイル吹付コテ押さえ (鉄部)Dラスモルタル金鍍下地 弾性吹付タイル吹付コテ押さえ 既存壁表面調整の上、吹付タイル吹付鍍押え 下地調整材+EP塗装	石膏ボード(7)9捨張 岩綿吸音板(7)9張り	下足入 W:2,535H:1,650×D:300 W:1,770H:1,650×D:300・OSCL塗装 カウンター
	改修	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存天井表面調整の上、EP塗装	
柔道場	既存	柔道用鋼製床組+ラワンベニヤ(7)15下地 柔道用タタミ(クッション材入)一部赤タタミ	ラワン OSCL塗装 H=40	カラ松集成材(7)15 OSCL塗装 目透かし縦張り	シナ有穴合板(7)9 OP 寒冷紗裏打	石膏ボード(7)9捨張 岩綿吸音板(7)9張り 斜め天井:シナ有穴合板(7)6 OP 寒冷紗裏打 石膏ボード(7)9捨張 岩綿吸音板(7)19張り(格子模様) 天井-1:イアルマグフォン 化粧ガラス不織布平貼り(木目調)892×892×(7)25 天井-2:イアルマグフォン 化粧ガラス不織布平貼り(木目調)892×892×(7)25 天井-3:軒天下地 石膏ボード(7)9.5張り AEP塗装	姿見(2)W:1,200×H:1,800 得点板(2)W:1,200×H:900 カーテンボックス:CL塗装。カーテンレール、暗幕:取替え
	改修	柔道用鋼製下地既存利用 柔道用タタミ(クッション材入)一部赤タタミ取替え (マトロンXE程度) カバ桜フローリング 既存のまま	既存巾木表面調整の上、CL塗装	既存壁表面調整の上、CL塗装	既存壁表面調整の上、OP塗装	既存天井表面調整の上、EP塗装	天井断熱材:既存グラスウール(7)100撤去。グラスウール24kg(7)200敷き込み 新設天井見切り縁:OSCL塗装 天井点検口600角目地枠 7ヶ所
上壇	既存	柔道用鋼製床組+ラワンベニヤ(7)15下地 柔道用タタミ(クッション材入)一部赤タタミ		檜集成材(7)15(相欠き) CL 目透し横張り	檜集成材(7)15(相欠き) CL 目透し横張り	檜集成材(7)12(相欠き) CL 目透し張り	棚:CL塗装 物入:CL塗装
	改修	カバ桜フローリング(7)15(サンダー3回掛) ポリウレタン3回塗 柔道用鋼製下地既存利用 柔道用タタミ(クッション材入)一部赤タタミ取替え (マトロンXE程度) カバ桜フローリング 既存のまま		既存壁表面調整の上、CL塗装	既存壁表面調整の上、CL塗装	既存天井表面調整の上、CL塗装	
研修室	既存	モルタル金鍍下地 カバ桜フローリング(7)18(サンダー3回掛) 接着貼り ポリウレタン3回塗 既存のまま	ラワン OSCL H=85	シナ合板(7)9目透し張り OP塗装	シナ合板(7)9目透し張り OP塗装	化粧石膏ボード(7)9張(ジブトーン)	カーテンボックス:CL塗装。カーテンレール、暗幕:取替え
	改修	既存のまま	既存のまま	既存壁表面調整の上、OP塗装	既存壁表面調整の上、OP塗装	既存天井表面調整の上、EP塗装	
事務室	既存	モルタル金鍍下地 カバ桜フローリング(7)18(サンダー3回掛) 接着貼り ポリウレタン3回塗 既存のまま	ラワン OSCL H=85	シナ合板(7)9目透し張り OP塗装	シナ合板(7)9目透し張り OP塗装	化粧石膏ボード(7)9張(ジブトーン)	カーテンボックス:CL塗装。カーテンレール、暗幕:取替え
	改修	既存のまま	既存のまま	既存壁表面調整の上、OP塗装	既存壁表面調整の上、OP塗装	既存天井表面調整の上、EP塗装	
器具庫	既存	モルタル金鍍下地 カバ桜フローリング(7)18(サンダー3回掛) 接着貼り ポリウレタン3回塗 既存のまま	ラワン OSCL H=85	シナ合板(7)9目透し張り OP塗装	シナ合板(7)9目透し張り OP塗装	化粧石膏ボード(7)9張(ジブトーン)	棚W:2,880×H:1,900×D:300 2台
	改修	既存のまま	既存のまま	既存壁表面調整の上、OP塗装	既存壁表面調整の上、OP塗装	既存天井撤去の上化粧石膏ボード(7)9.5張り替え EP塗装	
更衣室 「倉庫へ改修」	既存	モルタル金鍍下地 カバ桜フローリング(7)18(サンダー3回掛) 接着貼り ポリウレタン3回塗 既存のまま	ラワン OSCL H=85	シナ合板(7)9目透し張り OP塗装 流し前ライニング:ラワンベニヤ(T1)(7)12下地 メラミン化粧板(7)1.2貼り 既存壁表面調整の上、OP塗装 流し前ライニング:撤去の上 シナ合板(7)9目透し張り OP塗装	シナ合板(7)9目透し張り OP塗装	化粧石膏ボード(7)9張(ジブトーン)	洗面器(2) ロッカー(6人用)(7) カーテンボックス、カーテンレール、カーテン カガミ(2)(設備)
	改修	既存のまま	既存のまま	既存壁表面調整の上、OP塗装	既存壁表面調整の上、OP塗装	既存天井撤去の上化粧石膏ボード(7)9.5張り替え EP塗装	
便所前室	既存	モルタル金鍍下地 カバ桜フローリング(7)18(サンダー3回掛) 接着貼り ポリウレタン3回塗 既存のまま	ラワン OSCL H=40	カラ松集成材(7)15 OSCL塗装 目透かし縦張り	カラ松集成材(7)15 OSCL塗装 目透かし縦張り	石膏ボード(7)9捨張 岩綿吸音板(7)9張り	ステンレス流し
	改修	既存のまま	既存のまま	既存壁表面調整の上、CL塗装	既存壁表面調整の上、CL塗装	既存天井表面調整の上、EP塗装	
女子便所	既存	ビニル床シート張り	ソフト巾木 H=60	石膏ボード下地 OP塗装	石膏ボード下地 OP塗装	化粧石膏ボード(7)9張	(現状)腰便器(1)和便器(2)洗面器(2)カガミ(2)(設備)床排水なし (設備)床排水なし 「改修」和便器を腰掛便器へ取替え 「改修」手洗い器:自動水栓へ取替え
	改修	下地調整の上、ビニル床シート張替え	ソフト巾木 H=60 張替え	既存壁表面調整の上、OP塗装	既存壁表面調整の上、OP塗装	既存天井表面調整の上、EP塗装	
男子便所	既存	ビニル床シート張り	ソフト巾木 H=60	石膏ボード下地 OP塗装 ライニング壁:メラミン化粧板(7)1.2貼り 既存壁表面調整の上、OP塗装 ライニング壁:既存のまま	石膏ボード下地 OP塗装	化粧石膏ボード(7)9張	(現状)腰掛便器(1)小便器(ストール)(4)洗面器(2)カガミ(2)掃除用流し(1) (設備)床排水なし 「改修」手洗い器:自動水栓へ取替え 腰(両用)掛便器(1)洗面器(1)カガミ(2)(設備)床排水
	改修	下地調整の上、ビニル床シート張替え	ソフト巾木 H=60 張替え	既存壁表面調整の上、OP塗装	既存壁表面調整の上、OP塗装	既存天井表面調整の上、EP塗装	
外部便所	既存	モルタル 下地 モザイクタイル貼り	ラスモルタル下地 100角タイル貼り	ラスモルタル下地 100角タイル貼り 石膏ボード(7)12.5下地OP塗装 石膏ボード(7)12.5下地OP塗装 100角タイル貼部分 既存壁の上木軸石膏ボード(7)12.5下地OP塗装 既存壁表面調整の上、OP塗装	ラスモルタル下地 100角タイル貼り 石膏ボード(7)12.5下地OP塗装 石膏ボード(7)12.5下地OP塗装 100角タイル貼部分 既存壁の上木軸石膏ボード(7)12.5下地OP塗装 既存壁表面調整の上、OP塗装	石綿ケイカル(7)6目透し張 VPステブル塗装	塩ビ廻縁
	改修	既存床の上、モルタル金ゴテビニル床シート張り	ソフト巾木	既存壁表面調整の上、OP塗装	既存壁表面調整の上、OP塗装	既存天井表面調整の上、EP塗装	
男更衣室	既存	ラワンベニヤ(7)15下地 コードカーベツト敷込み 下地調整の上、ビニル床シート張替え	ラワン OSCL塗装 H=90	シナベニヤ(7)目透し張りOSCL塗装	シナベニヤ(7)目透し張りOSCL塗装	化粧石膏ボード(7)9張(ジブトーン) 塩ビ製廻り縁	スチールロッカー、ステンレス流し カーテンボックス:CL塗装。カーテンレール、暗幕:取替え
	改修	下地調整の上、ビニル床シート張替え	既存巾木表面調整の上、CL塗装	既存壁表面調整の上、CL塗装	既存壁表面調整の上、CL塗装	既存天井表面調整の上、EP塗装	
女更衣室	既存	ラワンベニヤ(7)15下地 コードカーベツト敷込み 下地調整の上、ビニル床シート張替え	ラワン OSCL塗装 H=90	石膏ボード(7)12.5下地処理ビニールクロス貼り 一部シナベニヤ目透し張り OSCL塗装 既存壁表面調整の上、ビニールクロス張替え 既存壁表面調整の上、CL塗装	石膏ボード(7)12.5下地処理ビニールクロス貼り 一部シナベニヤ目透し張り OSCL塗装 既存壁表面調整の上、ビニールクロス張替え 既存壁表面調整の上、CL塗装	化粧石膏ボード(7)9張(ジブトーン) 塩ビ製廻り縁	スチールロッカー、ステンレス流し カーテンボックス:CL塗装。カーテンレール、暗幕:取替え
	改修	下地調整の上、ビニル床シート張替え	既存巾木表面調整の上、CL塗装	既存壁表面調整の上、CL塗装	既存壁表面調整の上、CL塗装	既存天井表面調整の上、EP塗装	
男女シャワー室 「倉庫へ改修」	既存	モルタル 下地 モザイクタイル貼り 木床組の上ラワンベニヤ(7)15下地 ビニル床シート張り	ソフト巾木	ラスモルタル下地 100角タイル貼り 既存壁の上木軸石膏ボード(7)12.5下地 ビニールクロス貼り	ラスモルタル下地 100角タイル貼り 既存壁の上木軸石膏ボード(7)12.5下地 ビニールクロス貼り	石綿ケイカル(7)6目透し張 VP塗装 塩ビ製廻り縁	(男子)洗面器、ビニールカーテン、床排水(4) 撤去 (女子)洗面器、ビニールカーテン、床排水(3) 撤去 塩ビ廻縁
	改修	カバ桜フローリング(7)18(サンダー3回掛) ポリウレタン3回塗 既存のまま	ラワン OSCL H=90	シナベニヤ(7)6目透し張り VP塗装	シナベニヤ(7)6目透し張り VP塗装	化粧石膏ボード(7)9張(ジブトーン) 塩ビ製廻り縁	木製枠 黒板:W=900 H=1,800 補修 塗装 木製枠 掲示板:W=900 H=1,800 補修 塗装
廊下	既存	カバ桜フローリング(7)18(サンダー3回掛) ポリウレタン3回塗 既存のまま	ラワン OSCL H=90	シナベニヤ(7)6目透し張り VP塗装	シナベニヤ(7)6目透し張り VP塗装	化粧石膏ボード(7)9張(ジブトーン) 塩ビ製廻り縁	木製枠 黒板:W=900 H=1,800 補修 塗装 木製枠 掲示板:W=900 H=1,800 補修 塗装
	改修	既存のまま	既存のまま	既存壁表面調整の上、NAD塗装	既存壁表面調整の上、NAD塗装	既存天井表面調整の上、EP塗装	
物入	既存	モルタル金ゴテ仕上げ	モルタル金ゴテ仕上げ	ラスモルタル金ゴテ仕上げ	ラスモルタル金ゴテ仕上げ	石綿ケイカル(7)6目透し張	ポイラー撤去
	改修	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	

備考 特記 1:コンロ廻りは、防火構造とする 2:外回り 気密テープ止め(土台・天井・壁) 3:外壁部通気層+タイベックシート貼り+ネオマフォーム(7)40(外断熱)+ダイライト(7)9.5 4:床下部外部廻り:ウレタンフォーム吹付け(7)100 5:外壁部通気層+タイベックシート貼り+ネオマフォーム(7)40(外断熱)+ダイライト(7)9.5 6:外部天井部:ネオマフォーム(7)90+硬質ウレタン吹付(7)40 7:ラスターボード (7)9.5、12.5 8:合板 全てF☆☆☆☆とする 9:既製品家具・集成材は全てF☆☆☆☆ 10:カウンター類塗装 ウレタン塗装は全てF☆☆☆☆とする 11:無垢床材 12:内部左官仕上げはシルタツチ

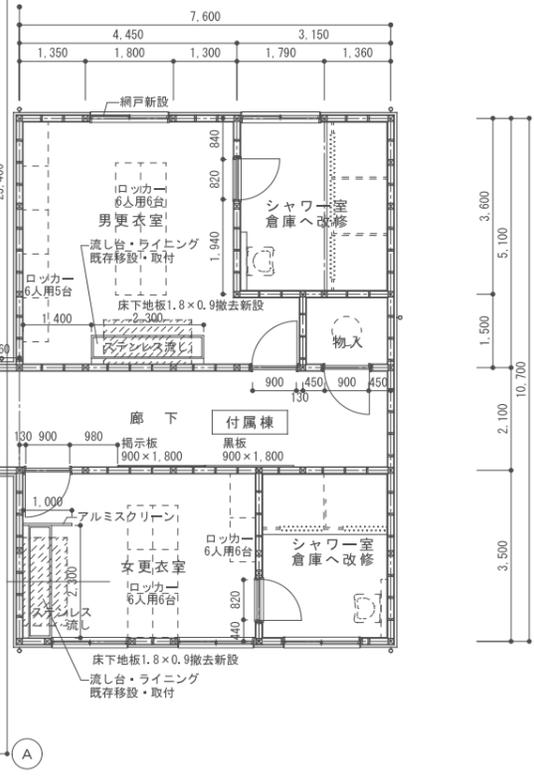
CHECK	DRAW	JOB NO	TITLE	SHEET NAME	SHEET NO
		202409	令和6年度(明許繰越)豊科武道館柔道場大規模改修工事	仕上表	A-07
				SCALE	DAY
				NON	2024.12.05

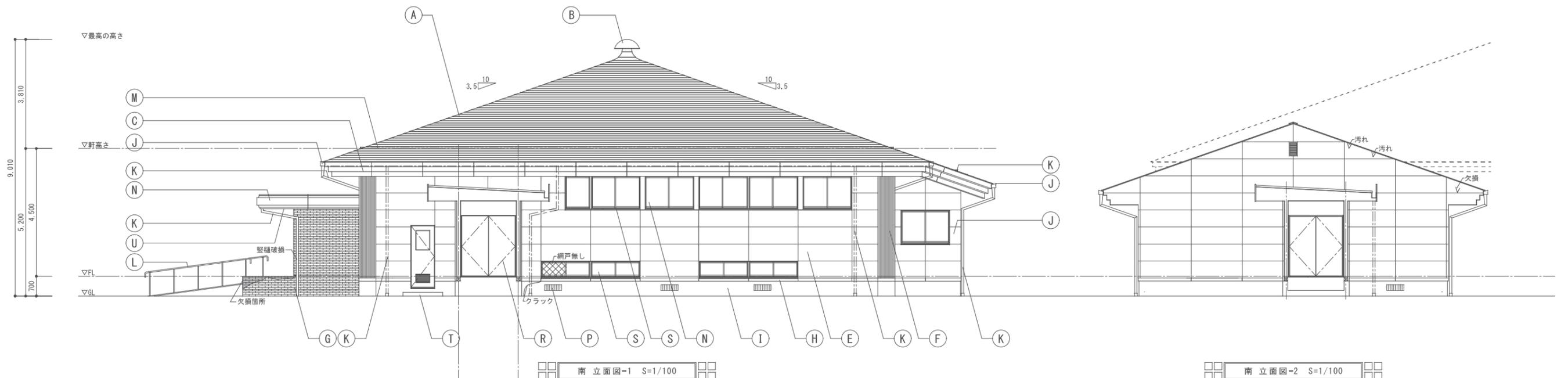
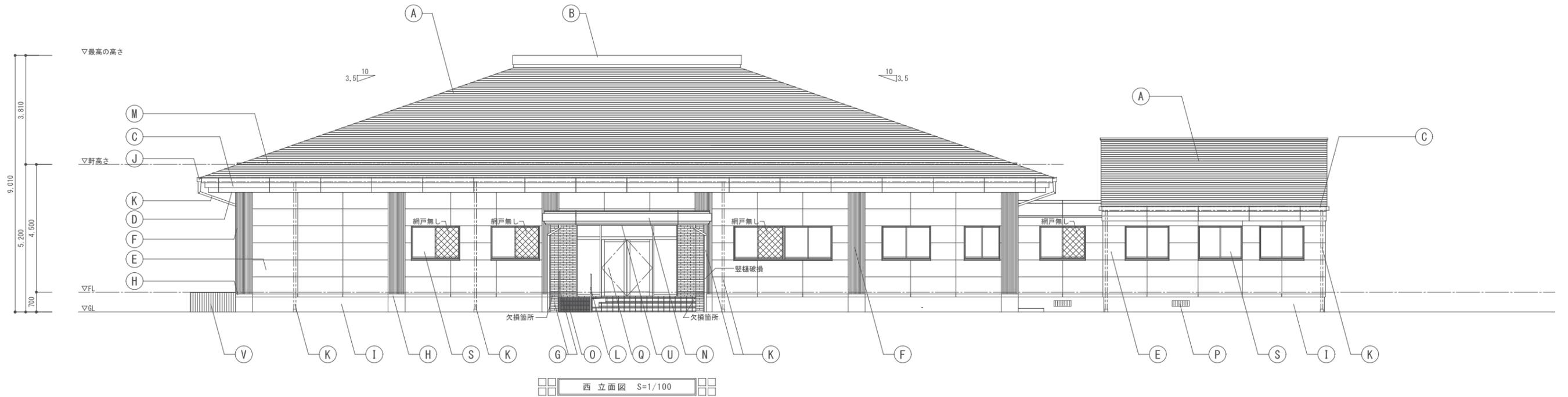


		CHECK	DRAW	JOB NO 202409	TITLE 令和6年度(明許繰越) 豊科武道館柔道場大規模改修工事	SHEET NAME	SHEET NO
						既存平面図	A-08
						SCALE	DAY
						1:100	2024.12.05



改修内容		
部位	改修内容	
外部	屋根	遮熱塗装 ①
	縦樋	塗装 ②
	軒樋	塗装 ②
	外壁	クラック補修 塗装 ③ シール打替
	基礎	クラック補修
	床タイル	補修
内部	外部建具	一部改修
	更衣室	倉庫へ改修
	外部便所	物置へ改修
	柔道場 タタミ	取替え
	内部建具(共通)	調整・塗装
	柔道場 天井改修	落下防止対策
	暗幕	取替え
	各部屋床・壁(共通)	補修程度
	男女便所	和式便器を腰掛便器へ取替え
	男女便所	自動水栓へ取替え
別棟	別棟男女シャワー室	倉庫へ改修
	別棟男女更衣室	補修程度
	照明器具	LED照明器具へ取替え
新設空調機(柔道場)	エアコン設置	



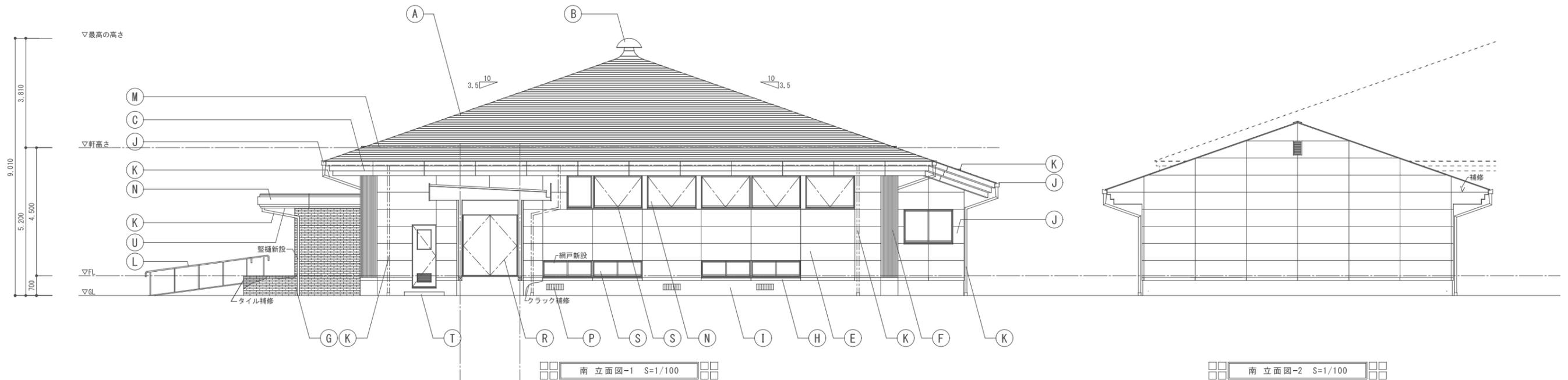
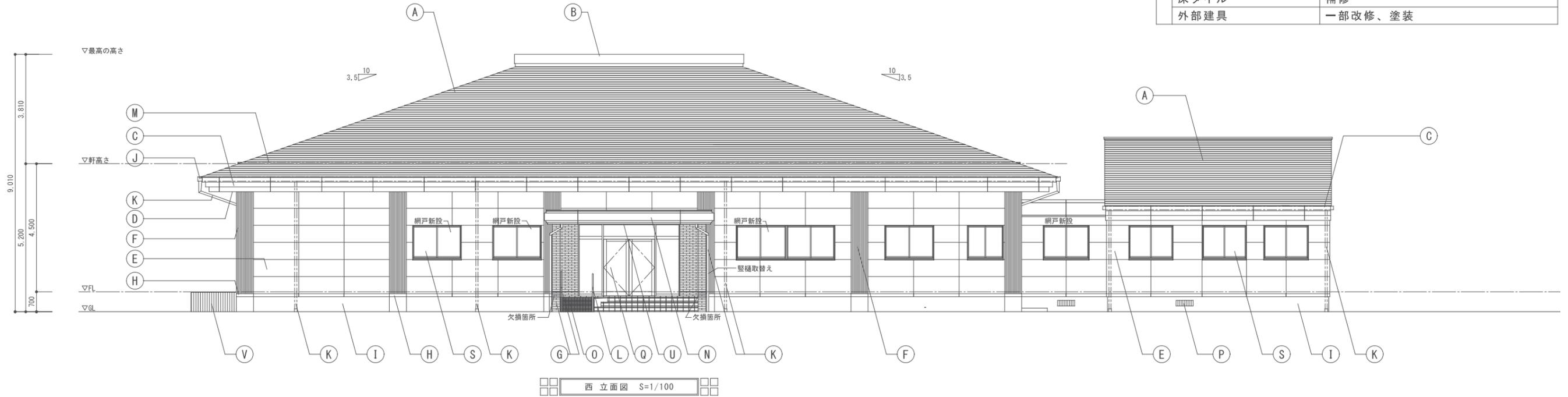


A 屋根：アスファルトルーフィング22kg下地長尺カラー鉄板(7)0.4横葺き	F 外壁-2：(柱型)：ALC版(7)50デザインパネル50V 外装用弾性吹付タイル吹付コテ押え	K 縦樋：長尺カラー鉄板(7)0.4径75φ支持金物 垂鉛メッキ@1.200	P 床下換気口(地窓)：200×600 スチール0P焼付	U ポーチ上裏：軽天下地寒冷紗(黒)下張り ラワン小幅板12×105(有効幅)(相欠き)目透し張りOSCL
B 棟換気：ロンブルーフ防水(7)2.0(立上り共)下地長尺カラー鉄板(7)0.4加工	G 外壁-3：Dラスモルタル下地二丁掛タイル貼(耐寒)木口曲げ	L ポーチ手摺	Q ステンレス框ドア	V コンクリート打放し ノロ引き仕上げ化粧リブ付
C 破風：ボンデ鋼板t=1.6 曲加工メラミン焼付塗装 裏側補強アングル付	H 基礎水切：ボンデ鋼板t=1.6 曲加工メラミン焼付塗装	M 雪止め：LS-50×50×4(垂鉛メッキ品)0P 片側1段	R スチールドア	
D 軒天：石綿ケイカル板(一部有穴)(7)6目透張アクリルリシン吹付	I 基礎見掛：コンクリート打放し ノロ引き仕上げ	N ポーチ庇：アルミ曲物t=2.0曲加工メラミン焼付塗装	S アルミサッシ	
E 外壁-1：シーリングボード(7)12下地 ALC版(7)50外装用弾性吹付タイル吹付コテ押え	J 軒樋：長尺カラー鉄板(7)0.4箱加工150×100受け金物@600	O ポーチ床：100・200角タイル貼り蹴上共 段鼻タイル付(192×92×30)	T 土間床：モルタル金銀仕上げ	

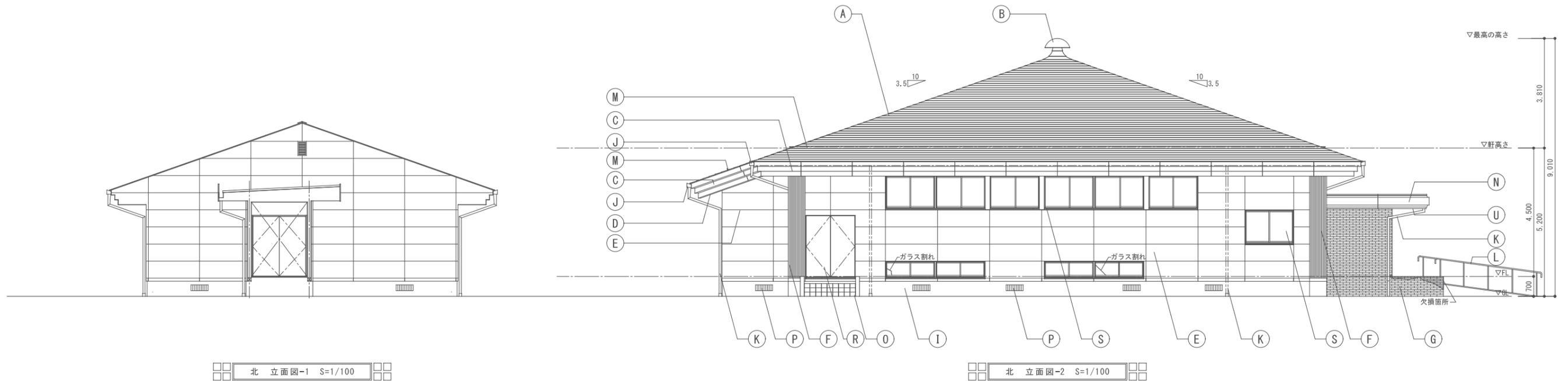
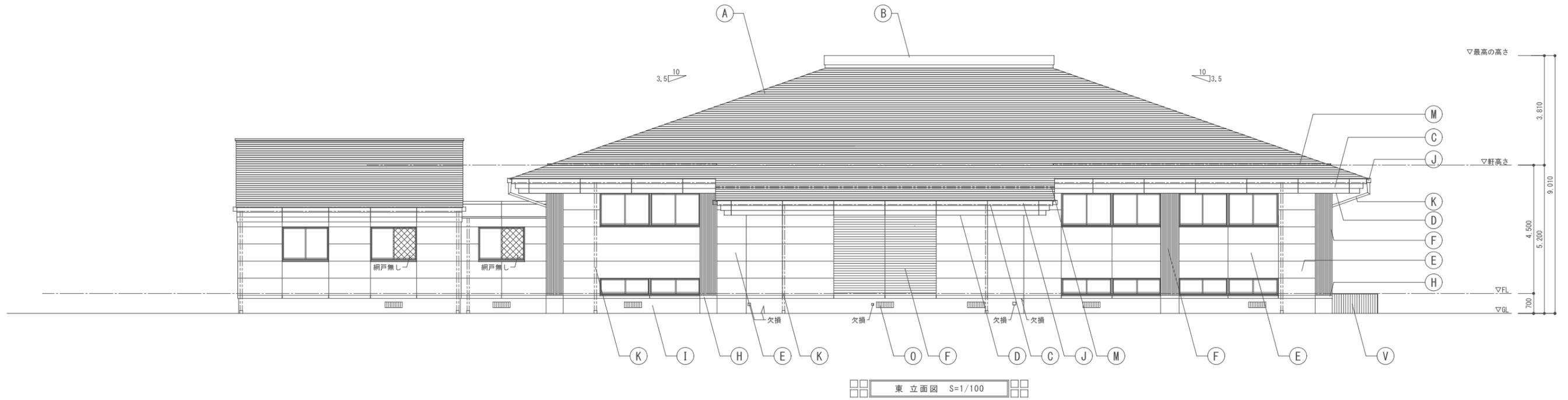
CHECK	DRAW	JOB NO 202409	TITLE 令和6年度(明許繰越) 豊科武道館柔道場大規模改修工事	SHEET NAME 既存立面図-1	SHEET NO A-10
				SCALE 1:100	DAY 2024.12.05

改修内容

部位	改修内容
屋根	塗装① 遮熱塗装
縦樋	塗装②
軒樋	塗装②
外壁	クラック補修 塗装③ シール打替
基礎	クラック補修
床タイル	補修
外部建具	一部改修、塗装



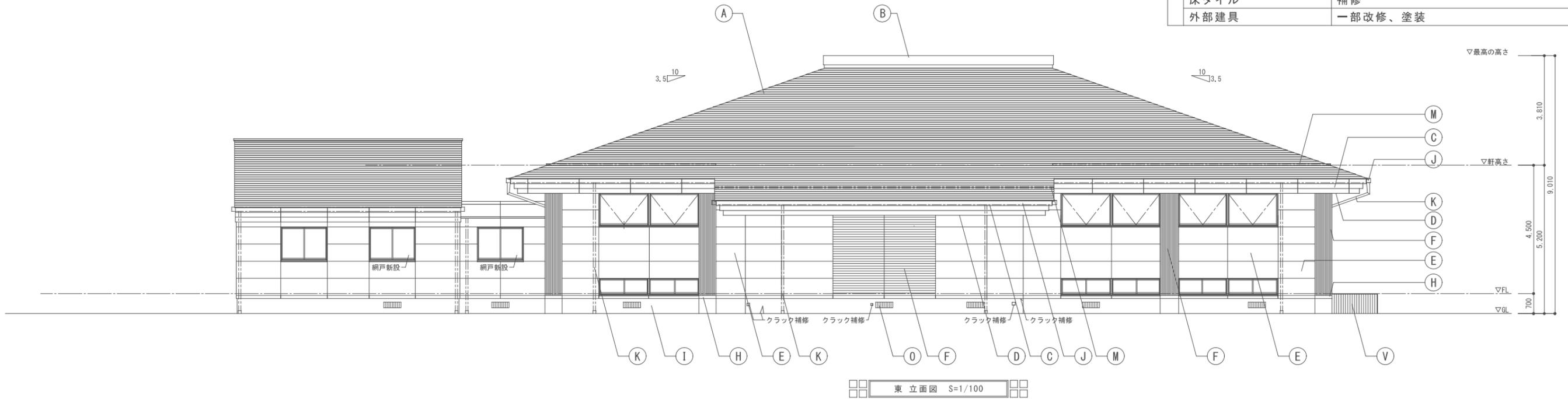
A 屋根：アスファルトルーフィング22kg下地長尺カラー鉄板(7)0.4横葺き	F 外壁-2：(柱型)：ALC版(7)50デザインパネル50V 外装用弾性吹付タイル吹付コテ押え	K 縦樋：長尺カラー鉄板(7)0.4径75φ支持金物 垂鉛メッキ@1,200	P 床下換気口(地窓)：200×600 スチール0P焼付	U ポーチ上裏：軽天下地寒冷紗(黒)下張り ラワン小幅板12×105(有効幅)(相欠き)目透し張りOSCL
B 棟換気：ロンブルーフ防水(7)2.0(立上り共)下地長尺カラー鉄板(7)0.4加工	G 外壁-3：Dラスモルタル下地二丁掛タイル貼(耐寒)木口曲げ	L ポーチ手摺	Q ステンレス框ドア	V コンクリート打放し ノロ引き仕上げ化粧リブ付
C 破風：ボンデ鋼板 t=1.6 曲加工メラミン焼付塗装 裏側補強アングル付	H 基礎水切：ボンデ鋼板 t=1.6 曲加工メラミン焼付塗装	M 雪止め：LS-50×50×4 (垂鉛メッキ品)0P 片側1段	R スチールドア	
D 軒天：石綿ケイカル板(一部有穴)(7)6目透張アクリルリシン吹付	I 基礎見掛：コンクリート打放し ノロ引き仕上げ	N ポーチ庇：アルミ曲物 t=2.0曲加工メラミン焼付塗装	S アルミサッシ	
E 外壁-1：シーリングボード(7)12下地 ALC版(7)50外装用弾性吹付タイル吹付コテ押え	J 軒樋：長尺カラー鉄板(7)0.4箱加工150×100受け金物@600	O ポーチ床：100・200角タイル貼り蹴上共 段鼻タイル付(192×92×30)	T 土間床：モルタル金銀仕上げ	
CHECK DRAW JOB NO TITLE SHEET NAME SHEET NO				
202409 令和6年度(明許繰越) 豊科武道館柔道場大規模改修工事				
SCALE 1:100 DAY 2024.12.05				



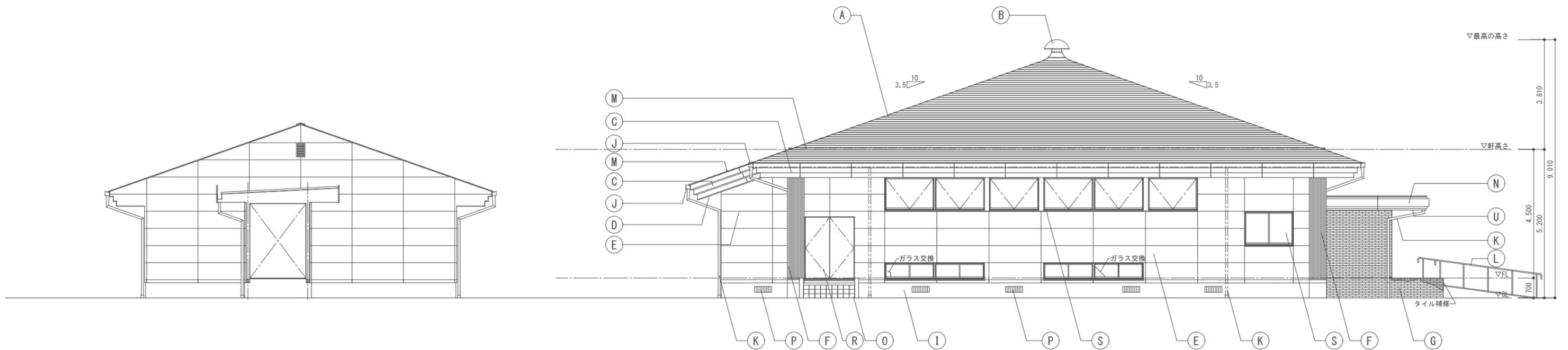
A 屋根：アスファルトルーフィング22kg下地長尺カラー鉄板(7)0.4横葺き	F 外壁-2：ALC版(7)50デザインパネル50V 外装用弾性吹付タイル吹付コテ押え	K 縦樋：長尺カラー鉄板(7)0.4径75φ支持金物 垂鉛メッキ@1,200	P 床下換気口(地窓)：200×600 スチール0P焼付	U ポーチ上裏：軽天下地寒冷紗(黒)下張り ラワン小幅板12×105(有効幅)(相欠き)目透し張りOSCL
B 棟換気：ロンブルーフ防水(7)2.0(立上り共)下地長尺カラー鉄板(7)0.4加工	G 外壁-3：Dラスモルタル下地二丁掛タイル貼(耐寒)木口曲げ	L ポーチ手摺	Q ステンレス框ドア	V コンクリート打放し ノロ引き仕上げ化粧リブ付
C 破風：ボンデ鋼板 t=1.6 曲加工メラミン焼付塗装 裏側補強アングル付	H 基礎水切：ボンデ鋼板 t=1.6 曲加工メラミン焼付塗装	M 雪止め：LS-50×50×4 (垂鉛メッキ品)0P 片側1段	R スチールドア	
D 軒天：石綿ケイカル板(一部有穴)(7)6目透張アクリルリシン吹付	I 基礎見掛：コンクリート打放し ノロ引き仕上げ	N ポーチ庇：アルミ曲物 t=2.0曲加工メラミン焼付塗装	S アルミサッシ	
E 外壁-1：シーリングボード(7)12下地 ALC版(7)50外装用弾性吹付タイル吹付コテ押え	J 軒樋：長尺カラー鉄板(7)0.4箱加工150×100受け金物@600	O ポーチ床：100・200角タイル貼り蹴上共 段鼻タイル付(192×92×30)	T 土間床：モルタル金銀仕上げ	
		CHECK	DRAW	JOB NO
				202409
		TITLE		
		令和6年度(明許繰越) 豊科武道館柔道場大規模改修工事		
SHEET NAME				SHEET NO
既存立面図-2				A-12
SCALE				DAY
1:100				2024.12.05

改修内容

部 位	改修内容	
屋根	塗装① 遮熱塗装	
外 軒	縦樋	塗装②
	軒樋	塗装②
外 壁	クラック補修 塗装③ シール打替	
基礎	クラック補修	
床タイル	補修	
外部建具	一部改修、塗装	



東立面図 S=1/100

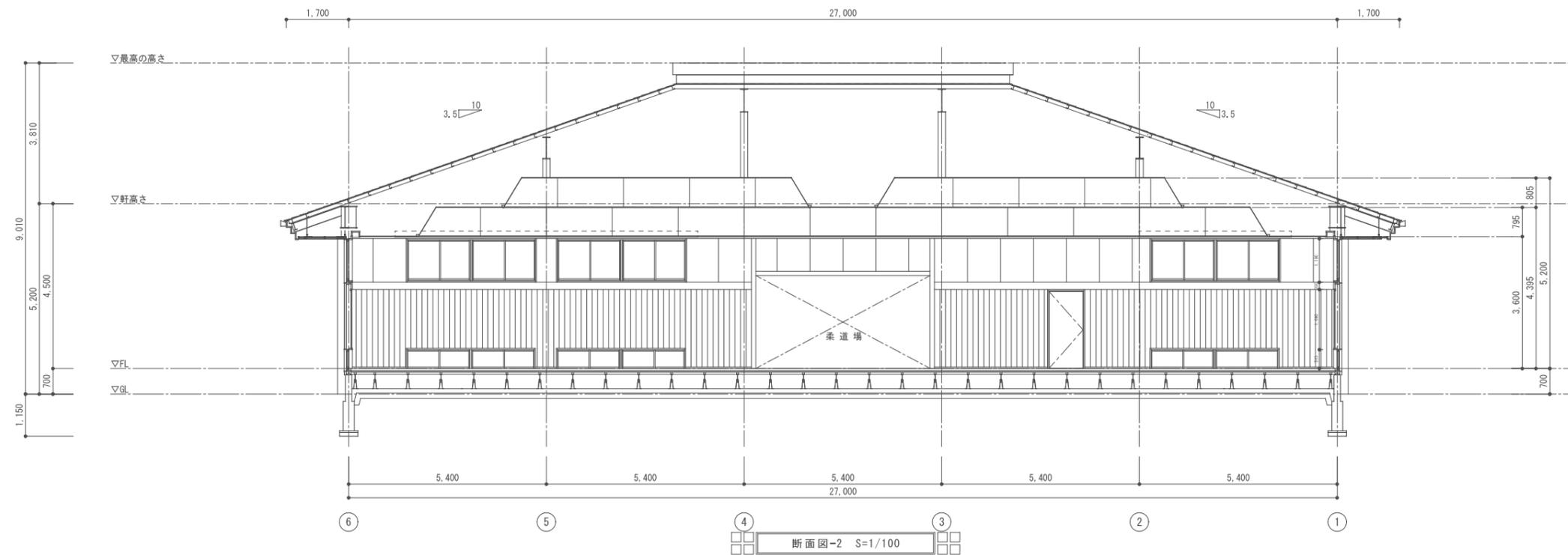
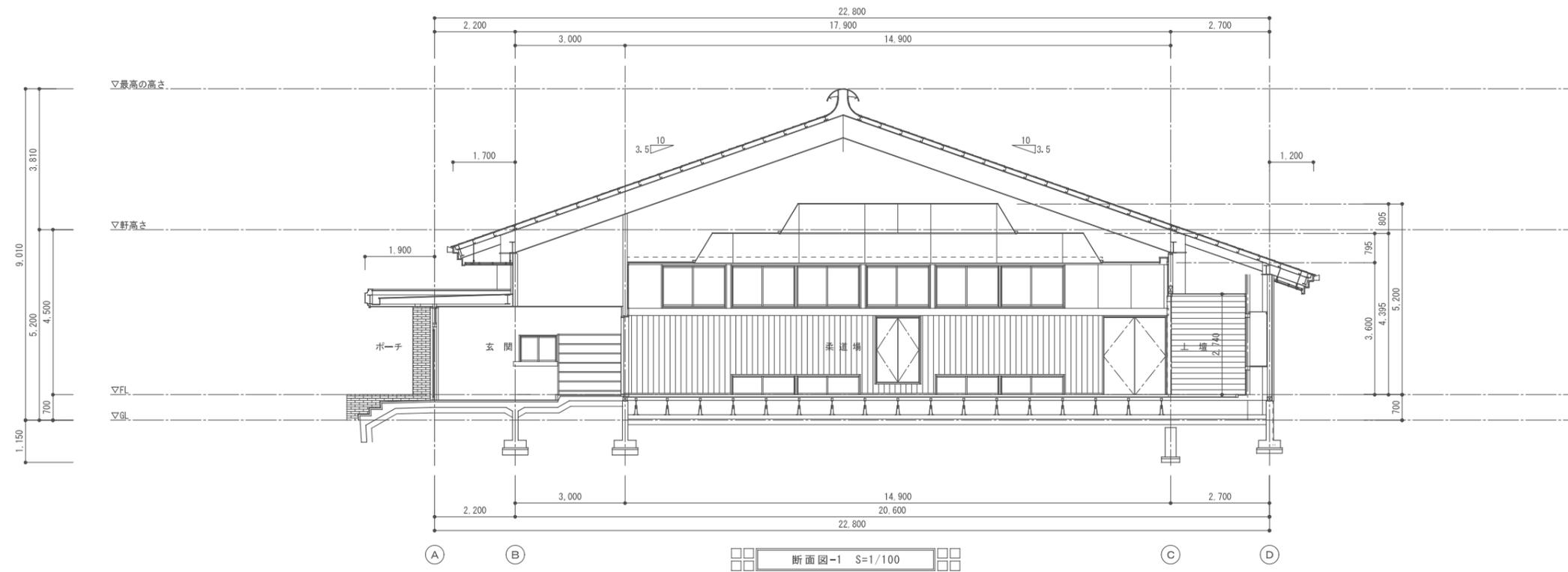


北立面図-1 S=1/100

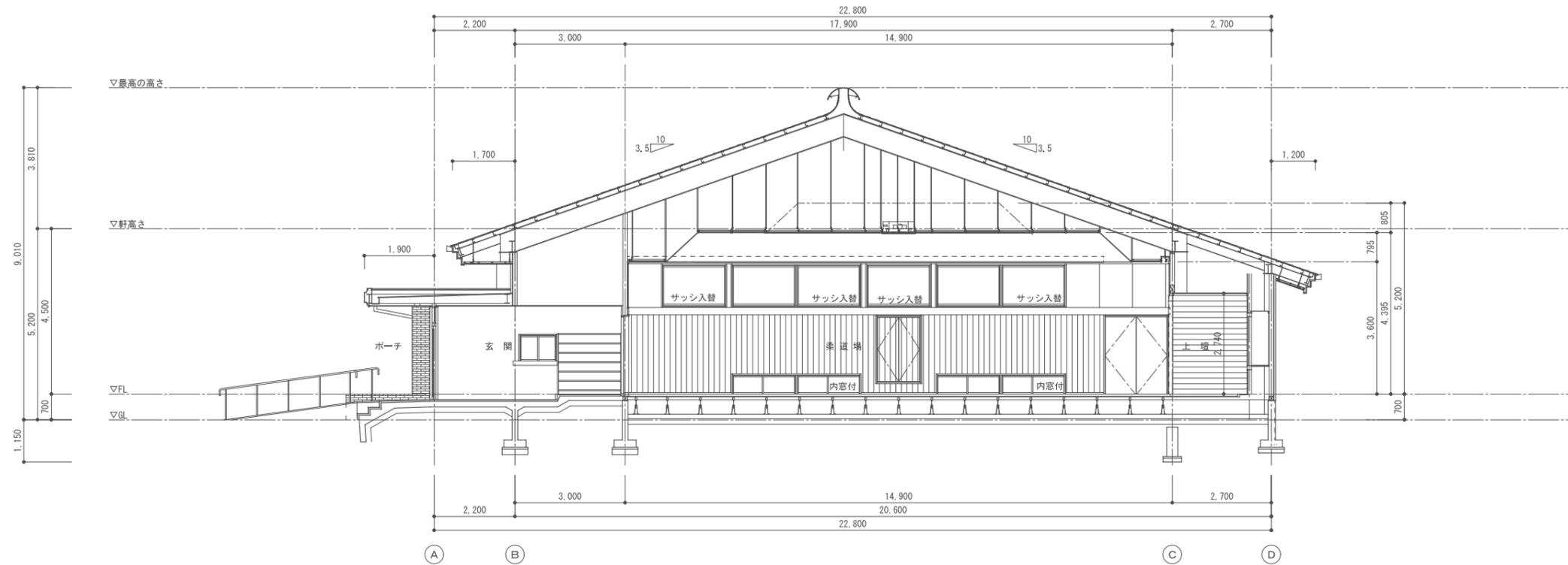
北立面図-2 S=1/100

<p>A 屋根：アスファルトルーフィング22kg下地長尺カラー鉄板(7)0.4横葺き</p> <p>B 棟換気：ロンブルーフ防水(7)2.0(立上り共)下地長尺カラー鉄板(7)0.4加工</p> <p>C 破風：ボンデ鋼板 t=1.6 曲加工メラミン焼付塗装 裏側補強アングル付</p> <p>D 軒天：石綿ケイカル板(一部有穴)(7)6目透張アクリルリシン吹付</p> <p>E 外壁-1：シーリングボード(7)12下地 A.L.C版(7)50外装用弾性吹付タイル吹付コテ押え</p>	<p>F 外壁-2：A.L.C版(7)50デザインパネル50V 外装用弾性吹付タイル吹付コテ押え</p> <p>G 外壁-3：Dラスモルタル下地二丁掛タイル貼(耐寒)木口曲げ</p> <p>H 基礎水切：ボンデ鋼板 t=1.6 曲加工メラミン焼付塗装</p> <p>I 基礎見掛：コンクリート打放し ノロ引き仕上げ</p> <p>J 軒樋：長尺カラー鉄板(7)0.4箱加工150×100受け金物@600</p>	<p>K 縦樋：長尺カラー鉄板(7)0.4径75φ支持金物 垂鉛メッキ@1,200</p> <p>L ポーチ手摺</p> <p>M 雪止め：LS-50×50×4(垂鉛メッキ品)0P 片側1段</p> <p>N ポーチ庇：アルミ曲物 t=2.0曲加工メラミン焼付塗装</p> <p>O ポーチ床：100・200角タイル貼り蹴上共 段鼻タイル付(192×92×30)</p>	<p>P 床下換気口(地窓)：200×600 スチール0P焼付</p> <p>Q ステンレス框ドア</p> <p>R スチールドア</p> <p>S アルミサッシ</p> <p>T 土間床：モルタル金銀仕上げ</p>	<p>U ポーチ上裏：軽天下地寒冷紗(黒)下張り ラワン小幅板12×105(有効幅)(相欠き)目透し張りOSCL</p> <p>V コンクリート打放し ノロ引き仕上げ化粧リブ付</p>
--	--	--	---	--

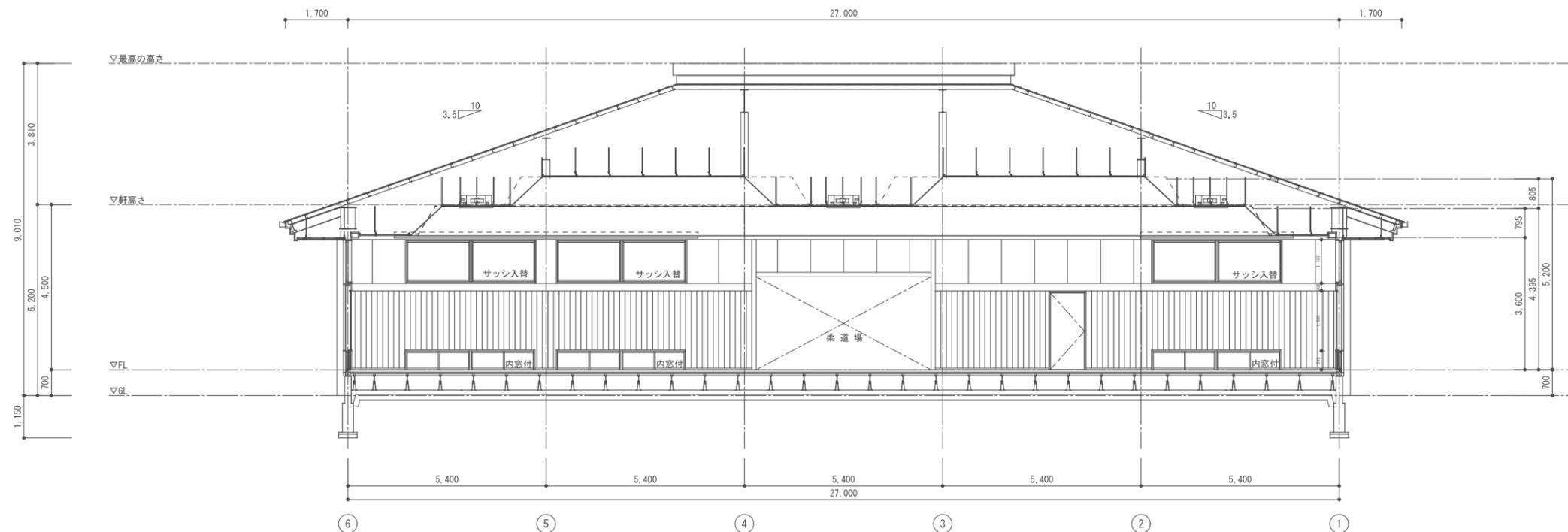
CHECK	DRAW	JOB NO	TITLE	SHEET NAME	SHEET NO
		202409	令和6年度(明許繰越) 豊科武道館柔道場大規模改修工事	改修立面図-2	A-13
				SCALE 1:100	DAY 2024.12.05



			CHECK	DRAW	JOB NO	TITLE	SHEET NAME	SHEET NO
					202409	令和6年度(明許繰越) 豊科武道館柔道場大規模改修工事	既存断面図	A-14
							SCALE	DAY
							1:100	2024.12.05

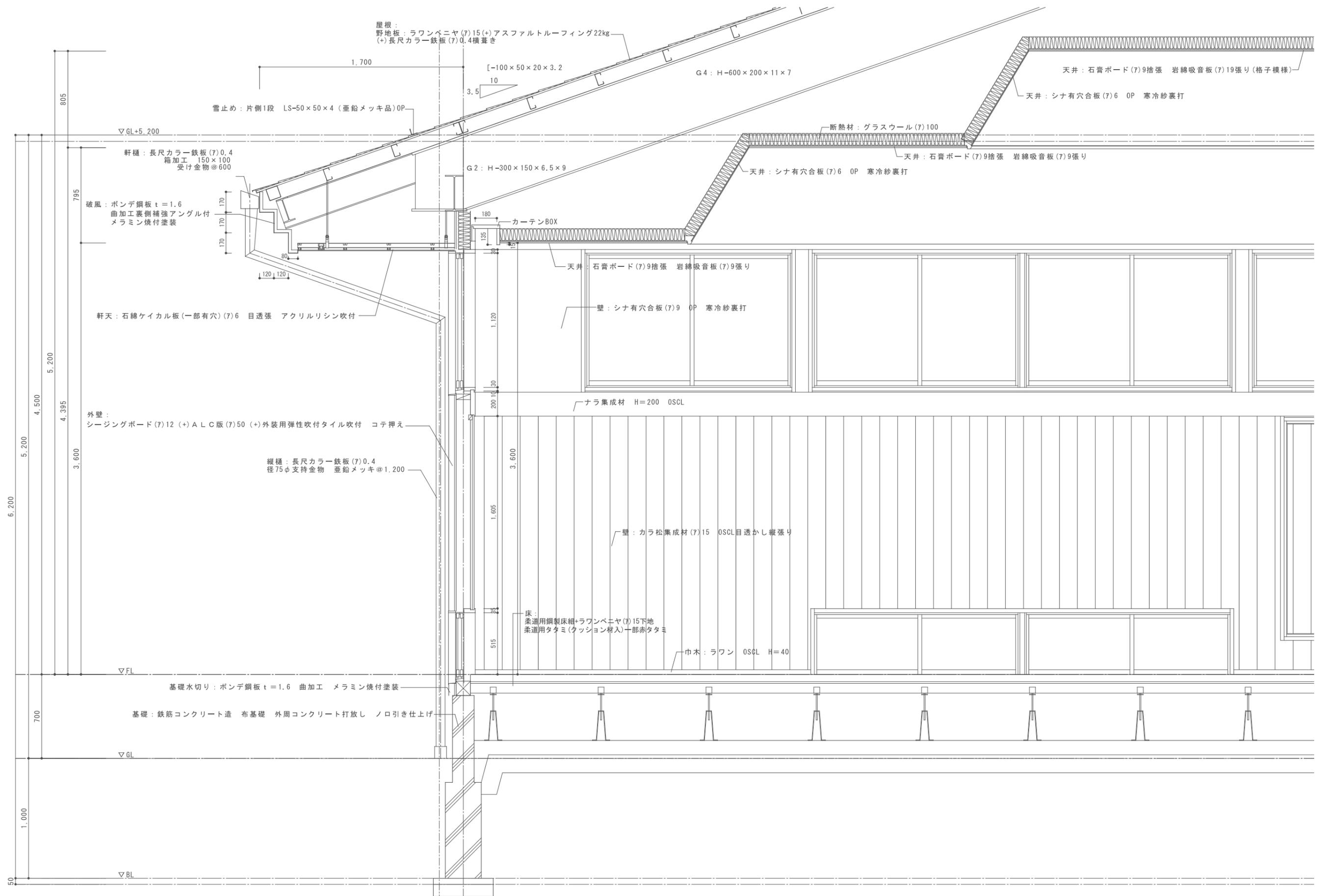


断面図-1 S=1/100

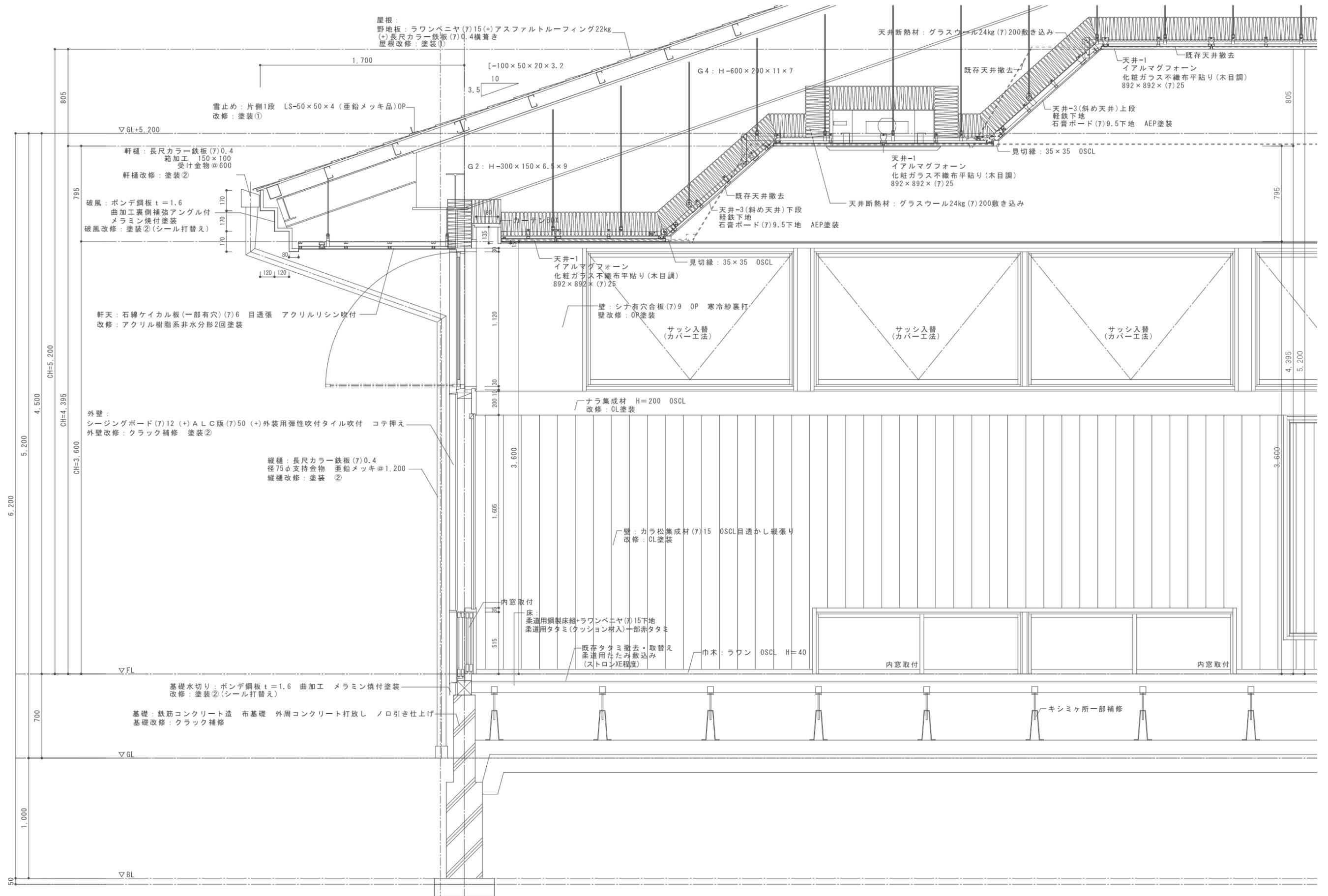


断面図-2 S=1/100

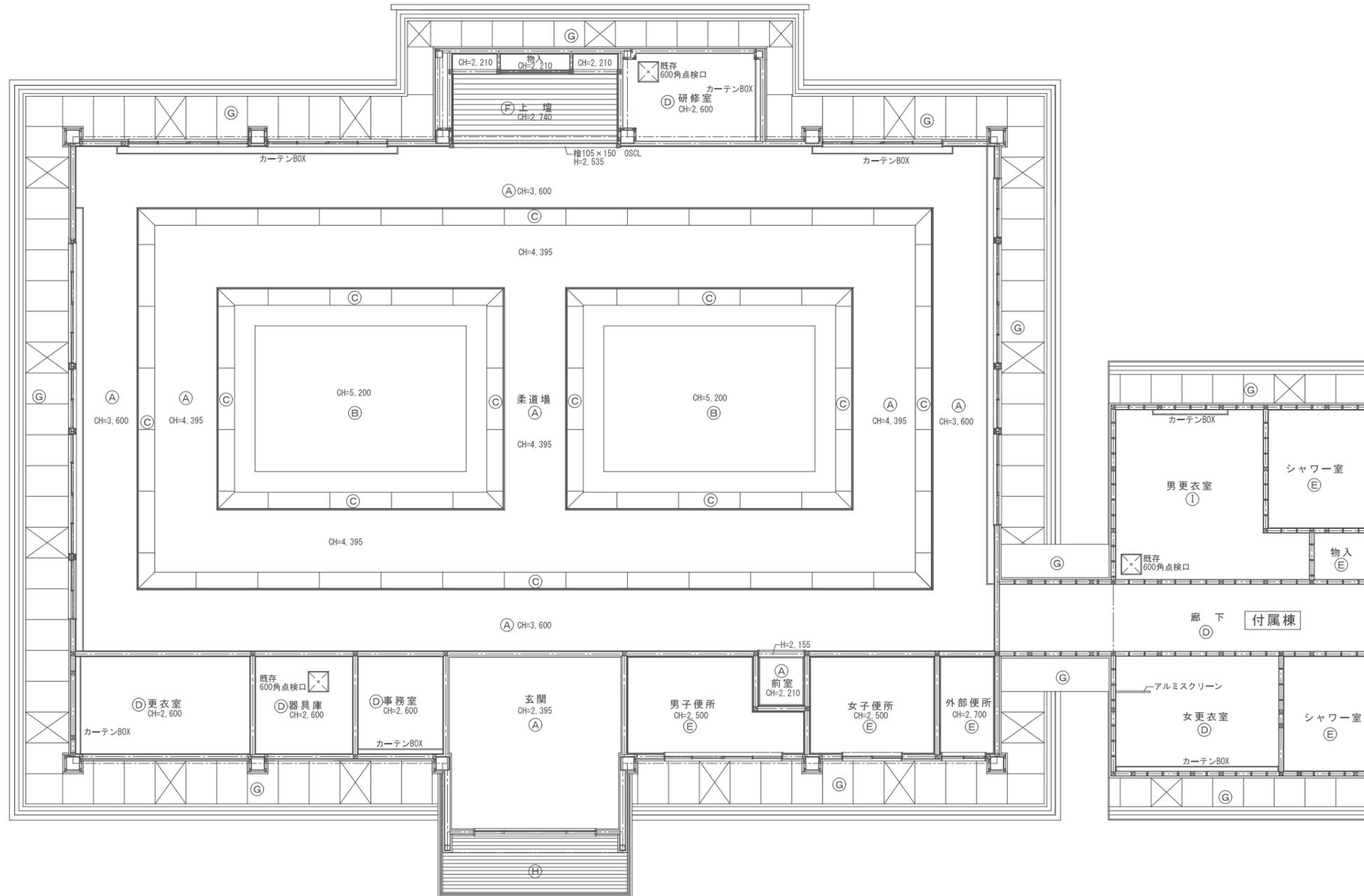
			CHECK	DRAW	JOB NO.	TITLE	SHEET NAME	SHEET NO.
					202409	令和6年度(明許繰越) 豊科武道館柔道場大規模改修工事	改修断面図	A-15
							SCALE	DAY
							1:100	2024.12.05



			CHECK	DRAW	JOB NO. 202409	TITLE 令和6年度(明許繰越) 豊科武道館柔道場大規模改修工事	SHEET NAME	SHEET NO.
							既存矩計図	A-16
							SCALE	DAY
							1:20	2024.12.05

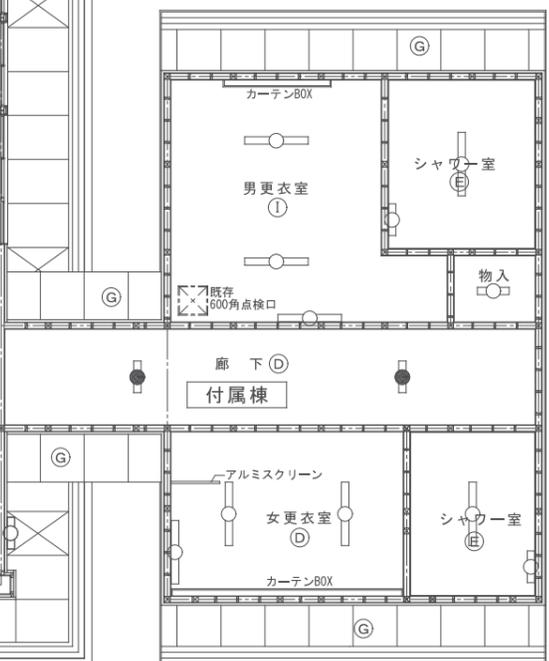
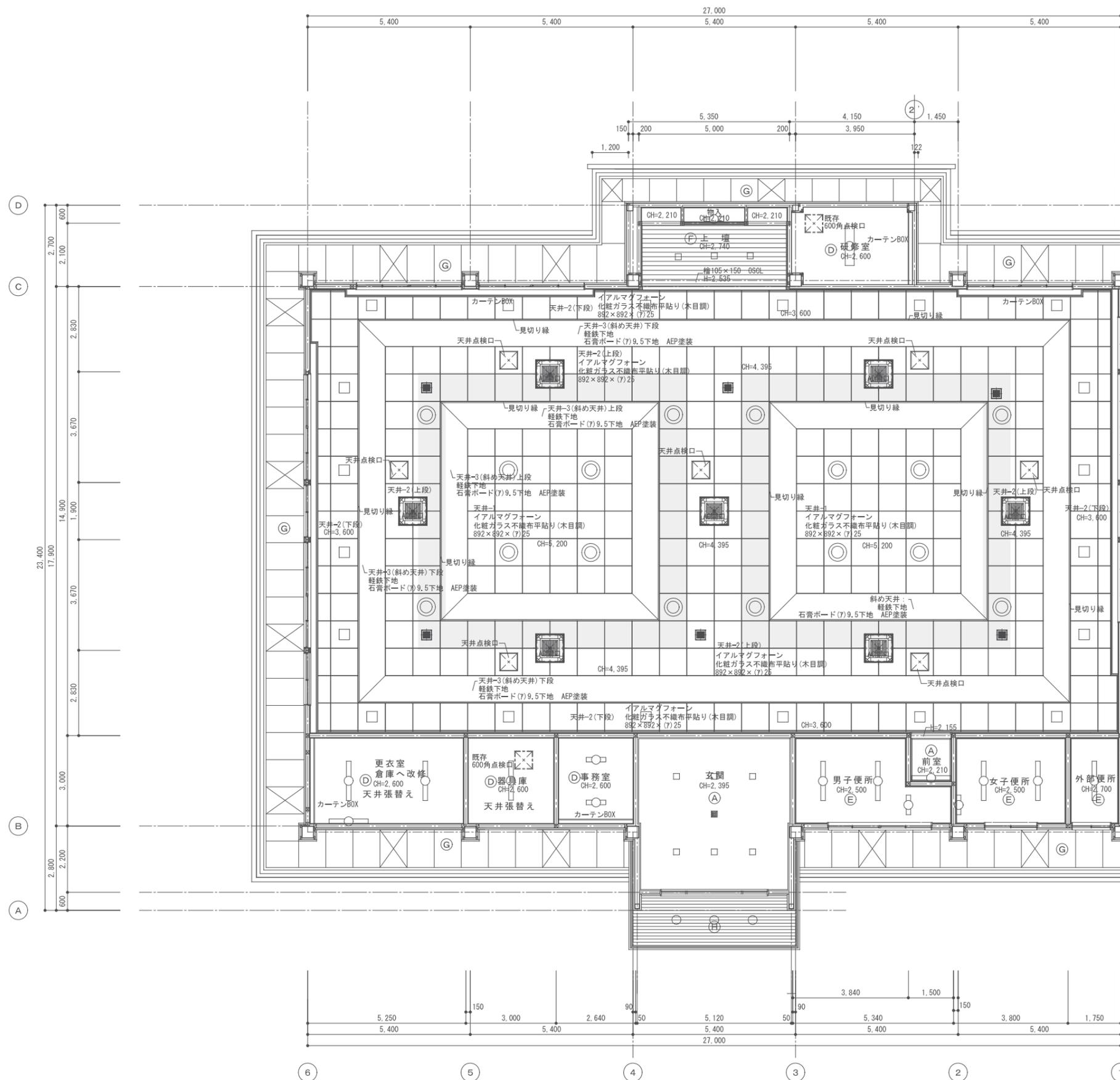


CHECK	DRAW	JOB NO	TITLE	SHEET NAME	SHEET NO
		202409	令和6年度(明許繰越) 豊科武道館柔道場大規模改修工事	改修矩計図	A-17
				SCALE	DAY
				1:20	2024.12.05



記号	既存仕上げ
(A)	石膏ボード (7) 9下地石綿吸音板 (7) 9張り
(B)	石膏ボード (7) 9下地石綿吸音板 (7) 19張り (格子模様) 一部 (7) 12張り
(C)	シナ有効板 (7) 6張り OP塗装 寒冷紗裏打ち
(D)	化粧石膏ボード (7) 9張り
(E)	石綿珪カル板 (7) 6目透かし張り VP スチブル塩ビ製廻縁
(F)	樺集成材 (7) 12目透かし張り (相欠き) CL
(G)	石綿珪カル板 一部有効石綿珪カル板 (7) 6目透かし張り アクリルリシン吹付
(H)	寒冷紗 (黒) 下張 + ラワン小幅板 12×105 (相欠き) 目透かし張り OSCL
(I)	シナベニヤ 目透かし張り

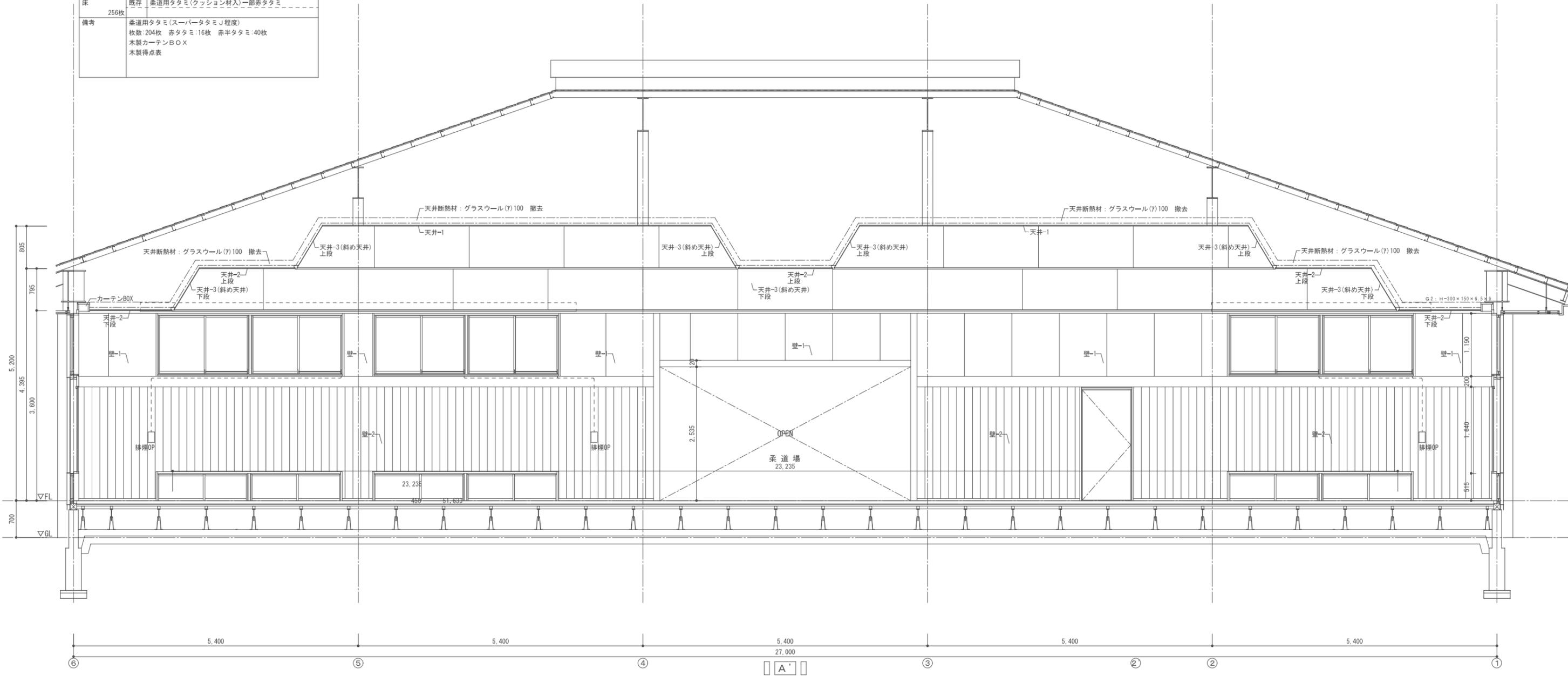
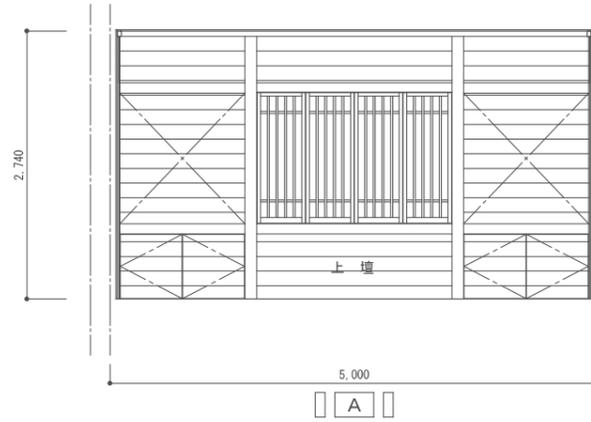
			CHECK	DRAW	JOB NO	TITLE	SHEET NAME	SHEET NO
					202409	令和6年度(明許繰越) 豊科武道館柔道場大規模改修工事	既存天井伏図	A-18
							SCALE	DAY
							1:100	2024.12.05



記号	既存仕上げ	改修仕上げ
(A)	石膏ボード(7)9下地石綿吸音板(7)9張り	EP塗装
(B)	石膏ボード(7)9下地石綿吸音板(7)19張り(格子模様)一部(7)12張り	—
(C)	シナ有効板(7)6張りOP塗装 寒冷紗裏打ち	—
(D)	化粧石膏ボード(7)9張り(ジブトーン)	EP塗装
(E)	石綿珪カル板(7)6目透かし張り VP スチブル塩ビ製廻縁	EP塗装
(F)	檜集成材(7)12目透かし張り(相欠き) CL	CL塗装
(G)	石綿珪カル板 一部有効石綿珪カル(7)6目透かし張り アクリルリシン収付	アクリル樹脂系塗装
(H)	寒冷紗(黒)下張 + ラワン小幅板 12×105(相欠き)目透張り OSCL	CL塗装
(I)	シナベニヤ 目透かし張り	CL塗装
	新規点検口 600角 目地枠	

室名		柔道場	
天井-1(下段)	既存	石膏ボード(7)9捨張	岩綿吸音板(7)9張り
面積	142.48㎡		
天井-1(上段)	既存	石膏ボード(7)9捨張	岩綿吸音板(7)9張り
面積	146.00㎡		
天井-2(下段)	既存	斜天井: シナ有穴合板(7)6 OP	寒冷紗裏打
面積	62.66㎡		
天井-2(上段)	既存	斜天井: シナ有穴合板(7)6 OP	寒冷紗裏打
面積	64.24㎡		
天井廻り縁	既存	ラワン O S C L	H=55
長さ	83.80m		
天井-3	既存	石膏ボード(7)9捨張	岩綿吸音板(7)19張り(格子模様)
面積	80.48㎡		
壁-1	既存	シナ有穴合板(7)9 OP	寒冷紗裏打
面積	60.00㎡		
壁見切縁	既存	ラワン O S C L	H=200
長さ	78.80m		
壁-2	既存	隠壁: カラ松集成材(7)15	目透かし縦張り O S C L
面積	119.67㎡		
巾木	既存	ラワン O S C L	H=40
長さ	40.50m		
床	既存	柔道用タタミ(クッション材入)一部赤タタミ	
枚数	256枚		
備考	柔道用タタミ(スーパータタミJ程度) 枚数: 204枚 赤タタミ: 16枚 赤半タタミ: 40枚 木製カーテンBOX 木製得点表		

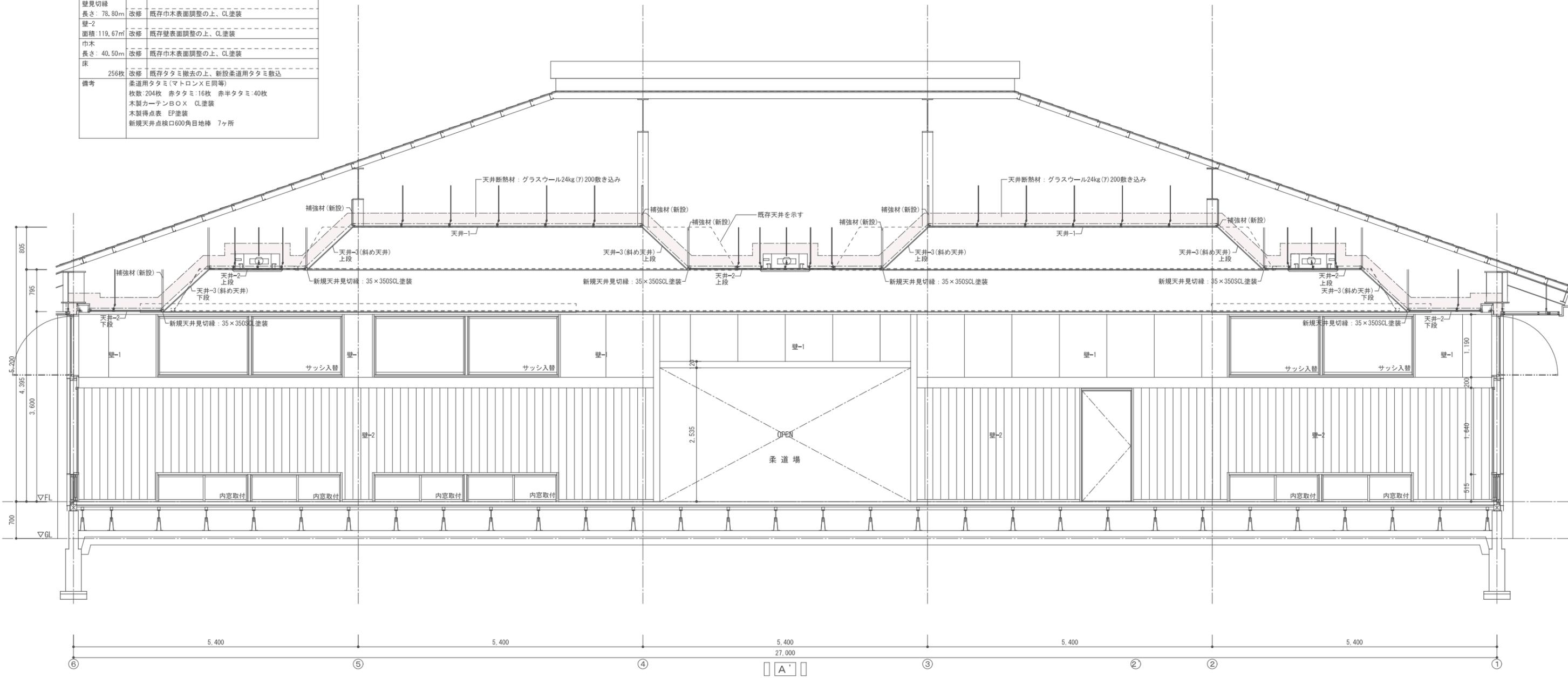
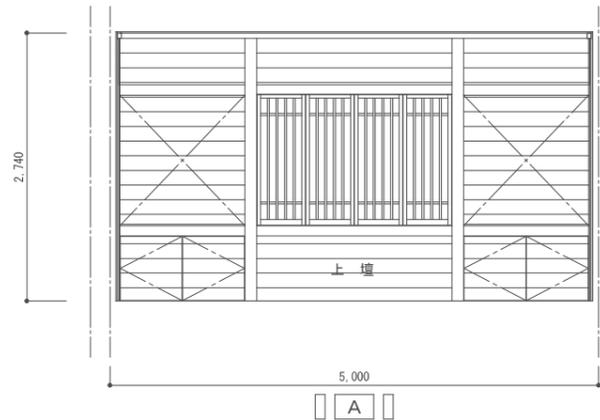
室名		上 壇	
天井	既存	檜集成材(7)12(相欠き)目透し張り	C L塗装
面積	10.50㎡		
天井廻縁	既存	檜 O S C L	H=55
長さ	8.80m		
壁	既存	檜集成材(7)15(相欠き)目透し横張り	O L
面積	20.80㎡		
床-1	既存	柔道用タタミ(クッション材入)一部赤タタミ	
床-2	既存	カバ桜フローリング(7)18	ポリウレタン3回塗
備考	柔道用タタミ(スーパータタミJ程度) 枚数: 6枚		



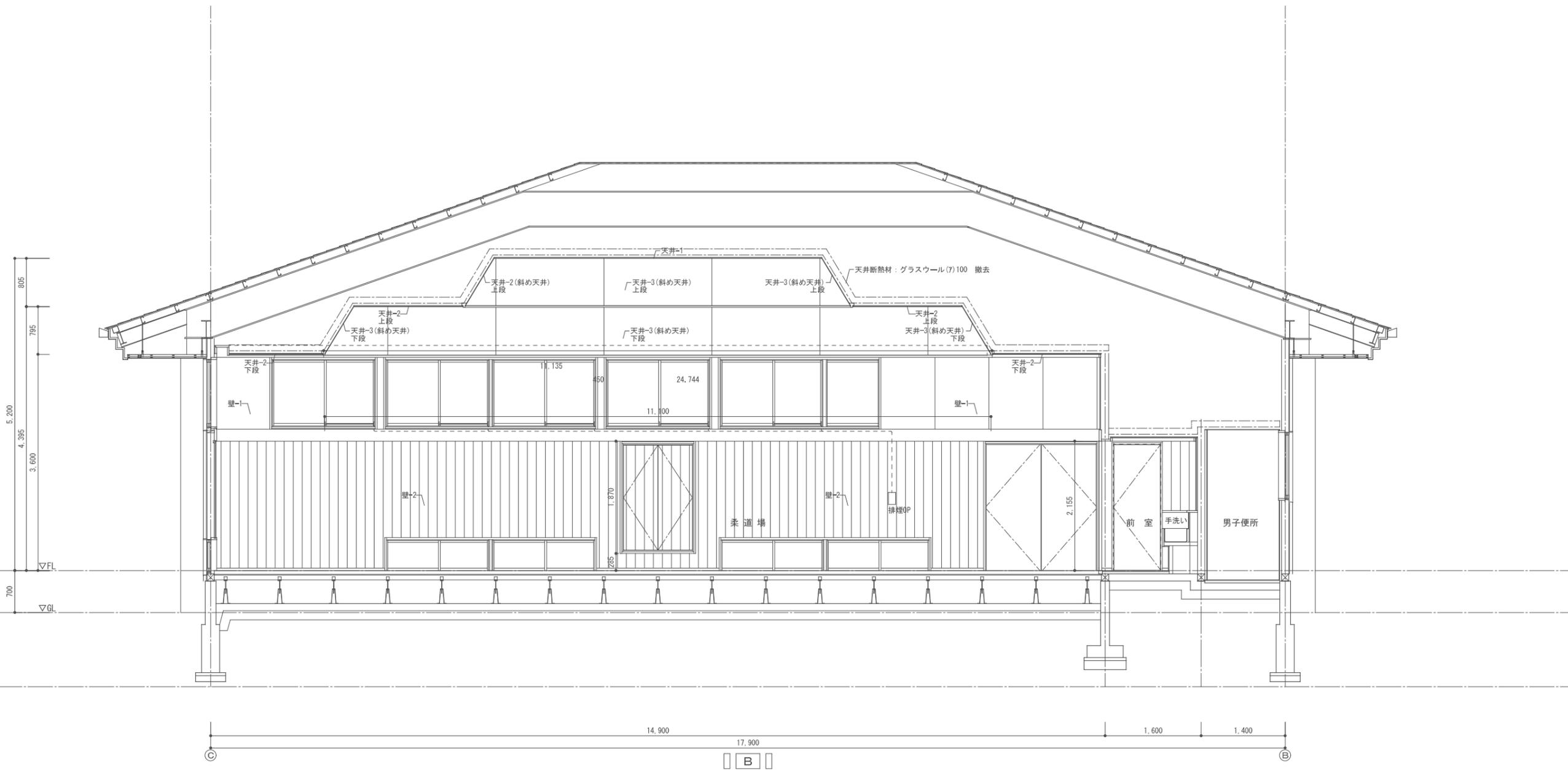
CHECK	DRAW	JOB NO	TITLE	SHEET NAME	SHEET NO
		202409	令和6年度(明許繰越) 豊科武道館柔道場大規模改修工事	既存展開図-1	A-20
SCALE				1:50	DAY
				2024.12.05	

室名		柔道場	
天井-1	改修	既存天井撤去(天井野縁等下地含む)の上 イアルマグストーン ペイント仕上げガラス不織布貼り(木目調) 892×892×(7)25	
面積: 59.89㎡			
天井-2(上段)	改修	既存天井撤去(天井野縁等下地含む)の上 イアルマグストーン ペイント仕上げガラス不織布貼り(ホワイト) 892×892×(7)25	
面積: 133.18㎡			
天井-2(下段)	改修	既存天井撤去(天井野縁等下地含む)の上 イアルマグストーン ペイント仕上げガラス不織布貼り(ホワイト) 892×892×(7)25	
面積: 85.12㎡			
天井-3(上段)	改修	既存天井撤去(天井野縁等下地含む)の上 軽天地下 石膏ボード(7)9.5下地 AEP塗装	
面積: 61.15㎡			
天井-3(下段)	改修	既存天井撤去(天井野縁等下地含む)の上 斜天井 石膏ボード(7)9.5下地 AEP塗装	
面積: 82.99㎡			
天井廻り縁	改修	新規天井見切縁: 35×35OSCL塗装	
長さ: 131.04m			
壁-1	改修	既存壁表面調整の上、OP塗装	
面積: 60.00㎡			
壁見切縁	改修	既存巾木表面調整の上、CL塗装	
長さ: 78.80m			
壁-2	改修	既存壁表面調整の上、CL塗装	
面積: 119.67㎡			
巾木	改修	既存巾木表面調整の上、CL塗装	
長さ: 40.50m			
床	改修	既存タタミ撤去の上、新設柔道用タタミ敷込	
256枚			
備考		柔道用タタミ(マトロン×E同等) 枚数:204枚 赤タタミ:16枚 赤半タタミ:40枚 木製カーテンBOX CL塗装 木製得点表 EP塗装 新規天井点検口600角目地棒 7ヶ所	

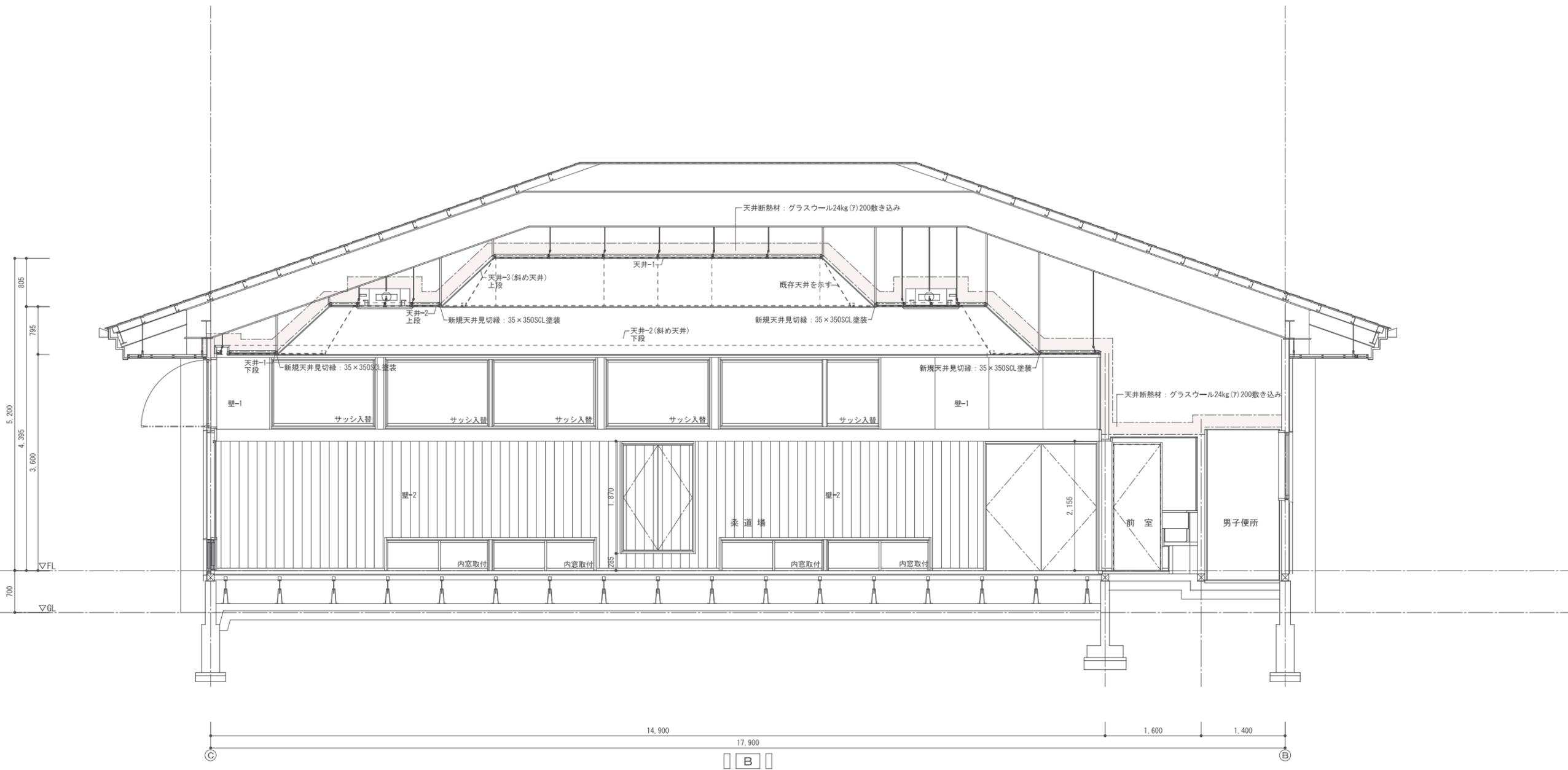
室名		上 壇	
天井	改修	既存天井表面調整の上、CL塗装	
面積: 10.50㎡			
天井廻り縁	改修	既存廻り縁表面調整の上、CL塗装	
長さ: 13.8m			
壁	改修	既存壁表面調整の上、CL塗装	
面積: 20.80㎡			
床-1	改修	既存タタミ撤去の上、新設柔道用タタミ敷込	
床-2	改修	既存のまま	
備考		柔道用タタミ(マトロン×E同等)枚数:6枚	



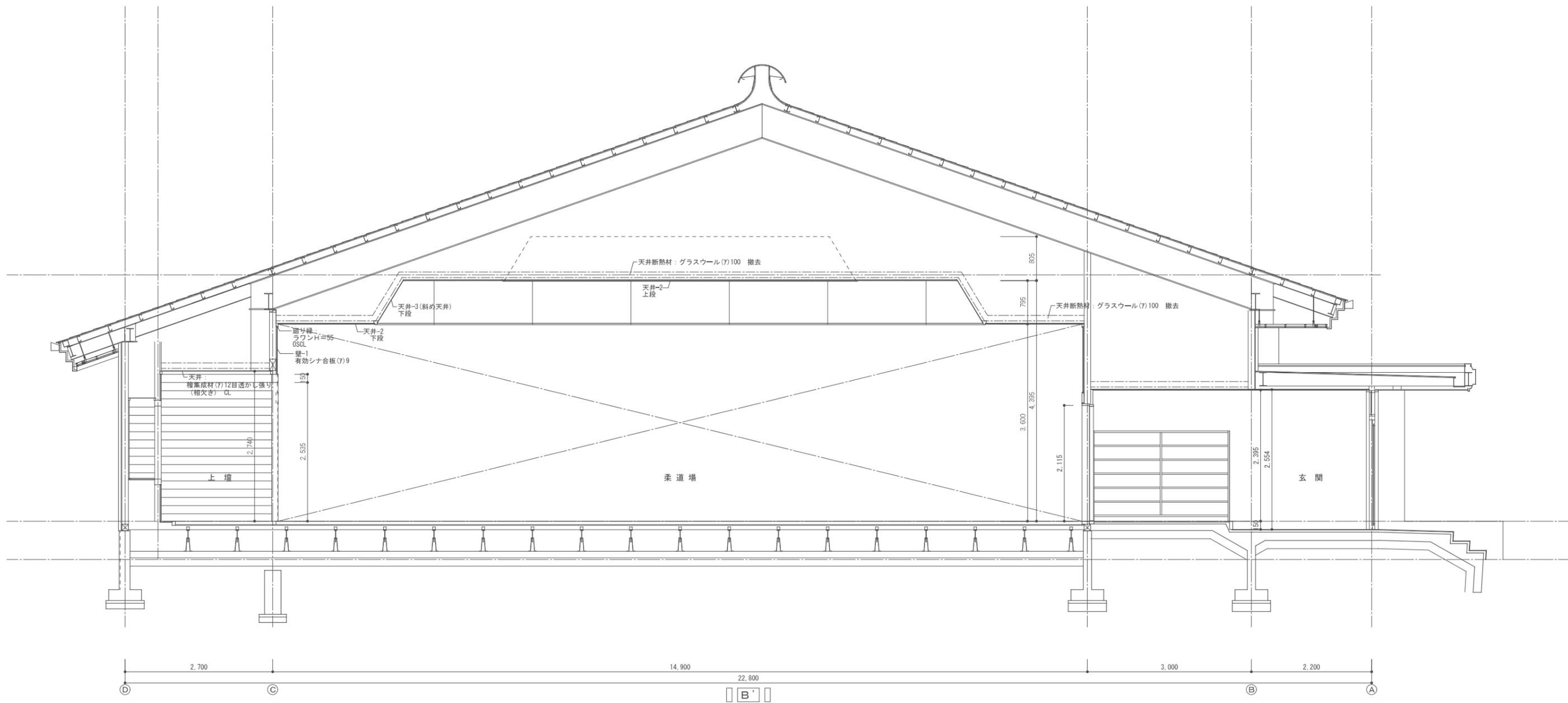
CHECK	DRAW	JOB NO	TITLE	SHEET NAME	SHEET NO
		202409	令和6年度(明許繰越) 豊科武道館柔道場大規模改修工事	改修展開図-1	A-21
				SCALE	DAY
				1:50	2024.12.05



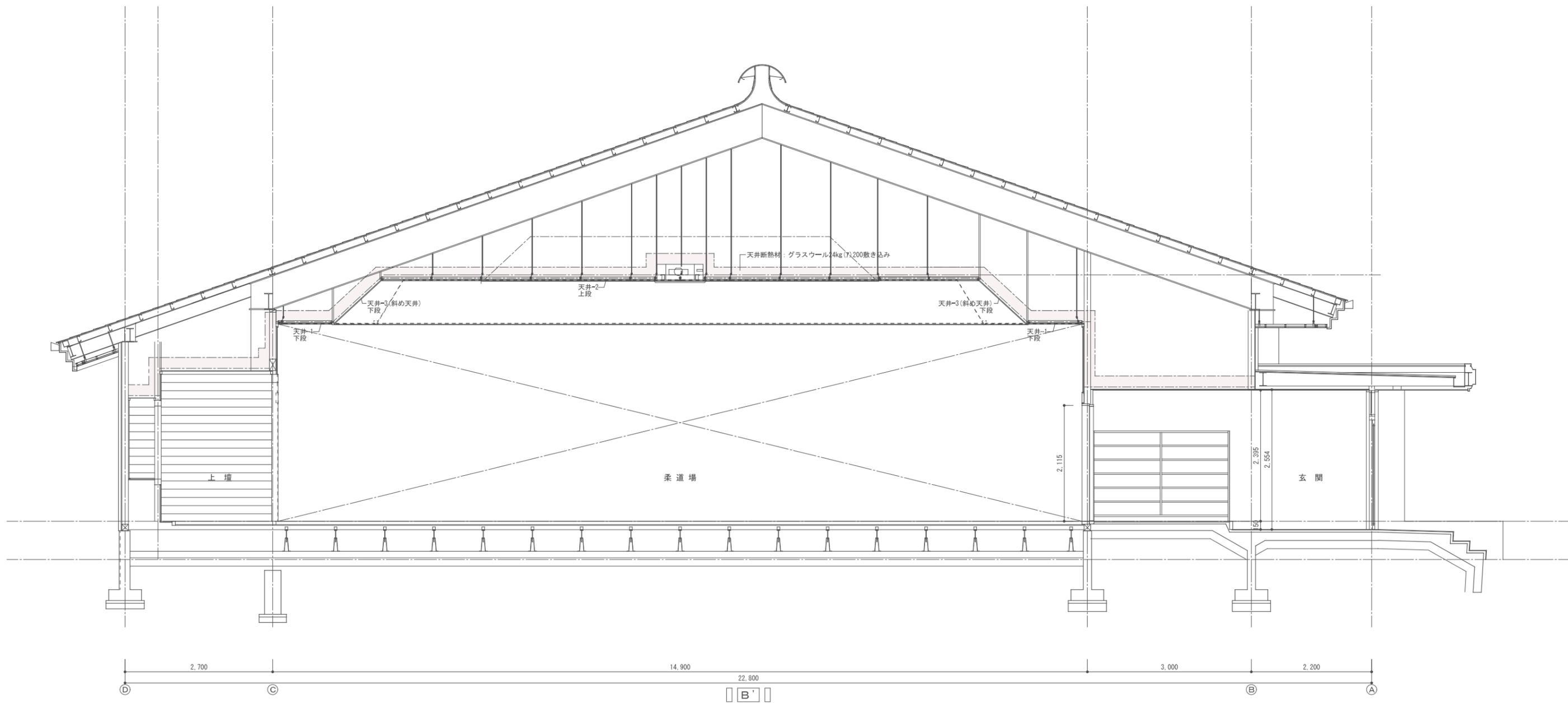
			CHECK	DRAW	JOB NO	TITLE	SHEET NAME	SHEET NO
					202409	令和6年度(明許繰越) 豊科武道館柔道場大規模改修工事	既存展開図-2	A-22
							SCALE	DAY
							1:50	2024.12.05



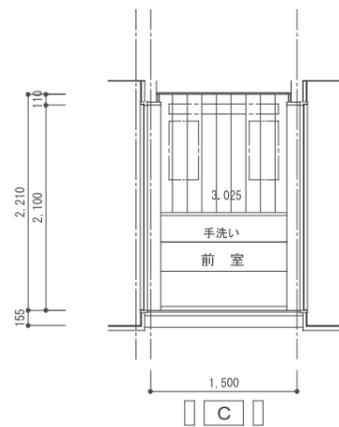
			CHECK	DRAW	JOB NO	TITLE	SHEET NAME	SHEET NO
					202409	令和6年度(明許繰越) 豊科武道館柔道場大規模改修工事	改修展開図-2	A-23
							SCALE	DAY
							1:50	2024.12.05



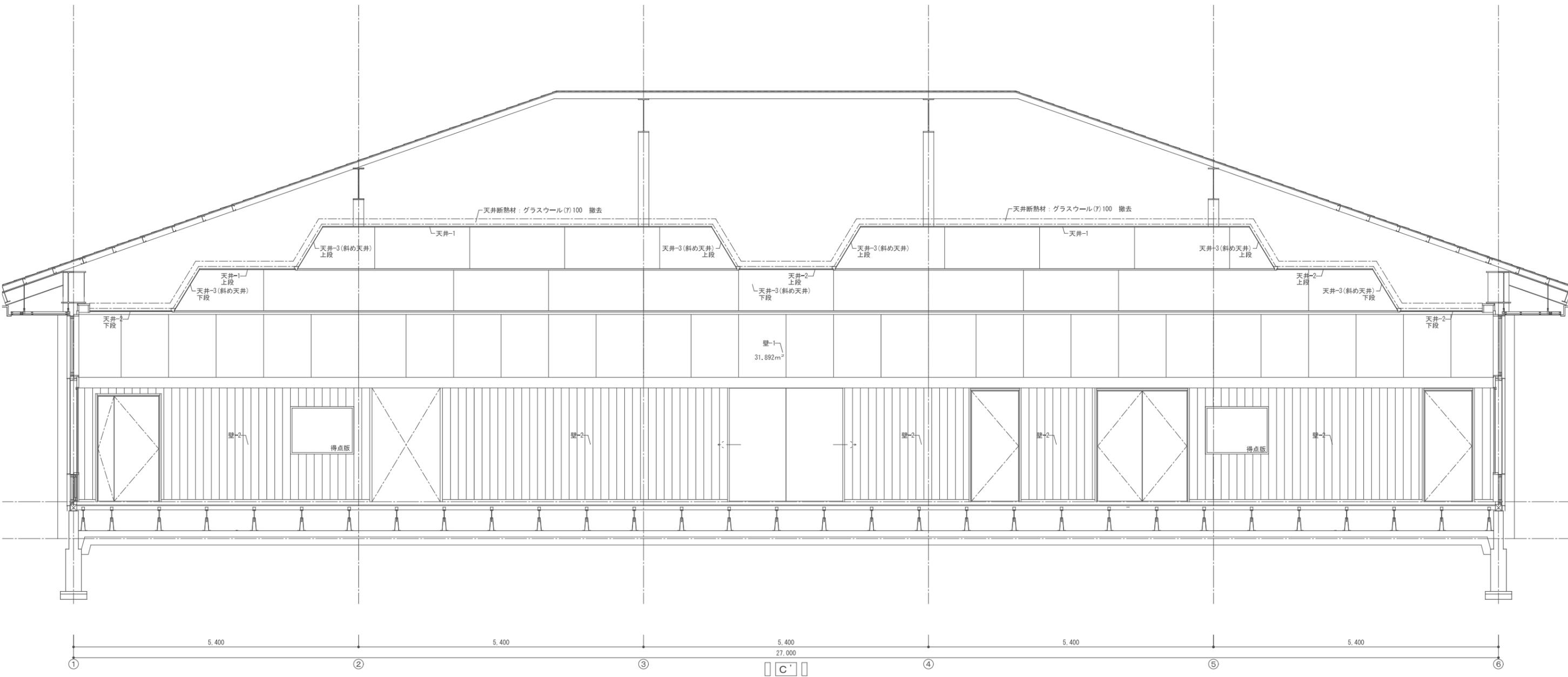
			CHECK	DRAW	JOB NO	TITLE	SHEET NAME	SHEET NO
					202409	令和6年度(明許繰越) 豊科武道館柔道場大規模改修工事	既存展開図-3	A-24
							SCALE	DAY
							1:50	2024.12.05



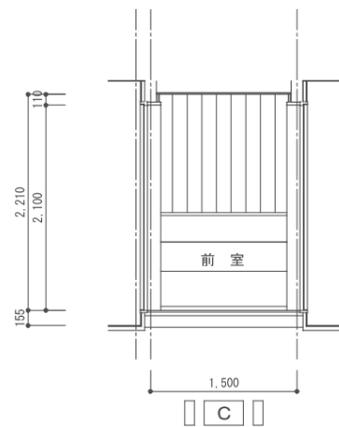
			CHECK	DRAW	JOB NO.	TITLE	SHEET NAME	SHEET NO.
					202409	令和6年度(明許繰越) 豊科武道館柔道場大規模改修工事	改修展開図-3	A-25
							SCALE	DAY
							1:50	2024.12.05



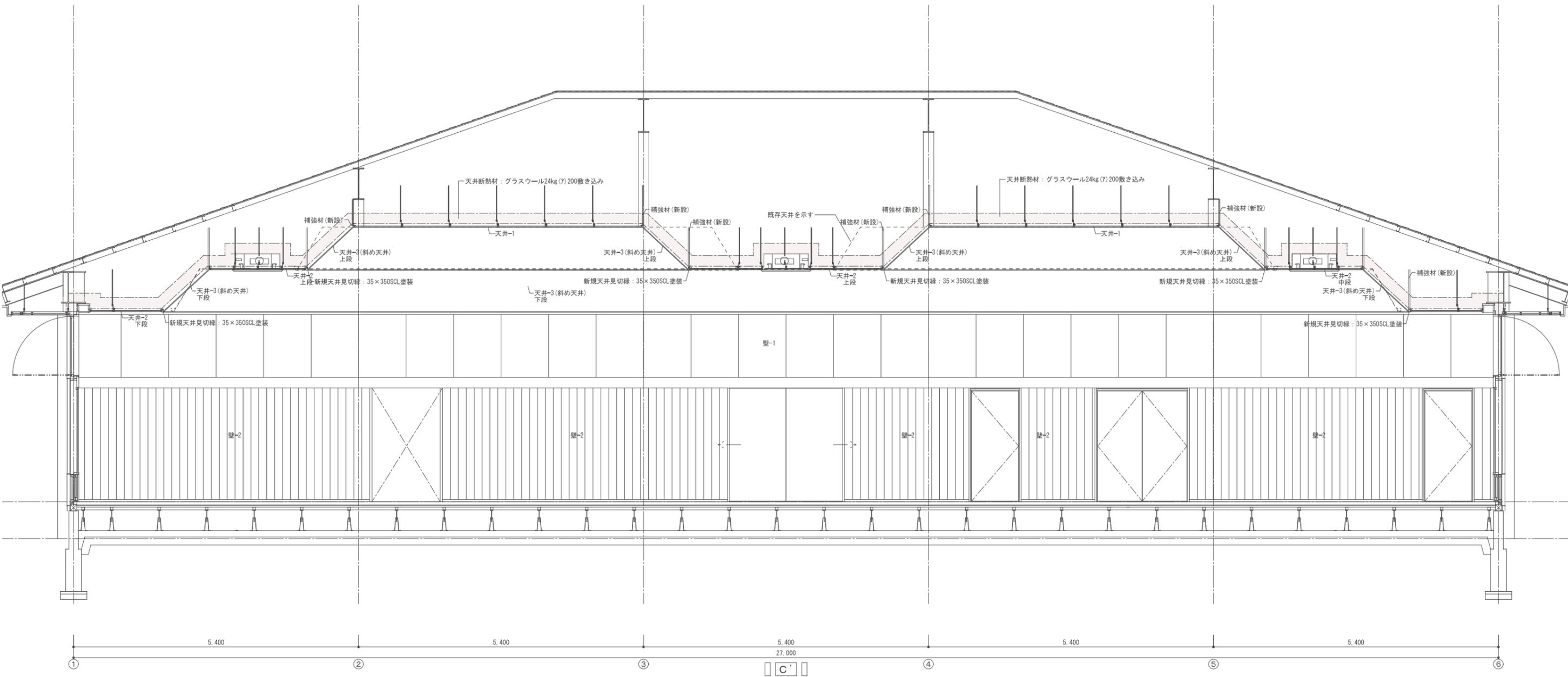
室名	前室	
天井	既存	石膏ボード(7)9枚張 岩綿吸音板(7)9張り
天井面積	2.40㎡	
天井廻縁	既存	ラワン O S C L H=55
長さ	6.20m	
壁	既存	桧集成材(7)15(相欠き)目隠し横張り CL
面積	4.31㎡	
床	既存	カハ桜フローリング(7)18 ポリウレタン3回塗
床面積	2.40㎡	
巾木	既存	ラワン O S C L H=60
長さ	1.92m	
備考	手洗い カガミ	



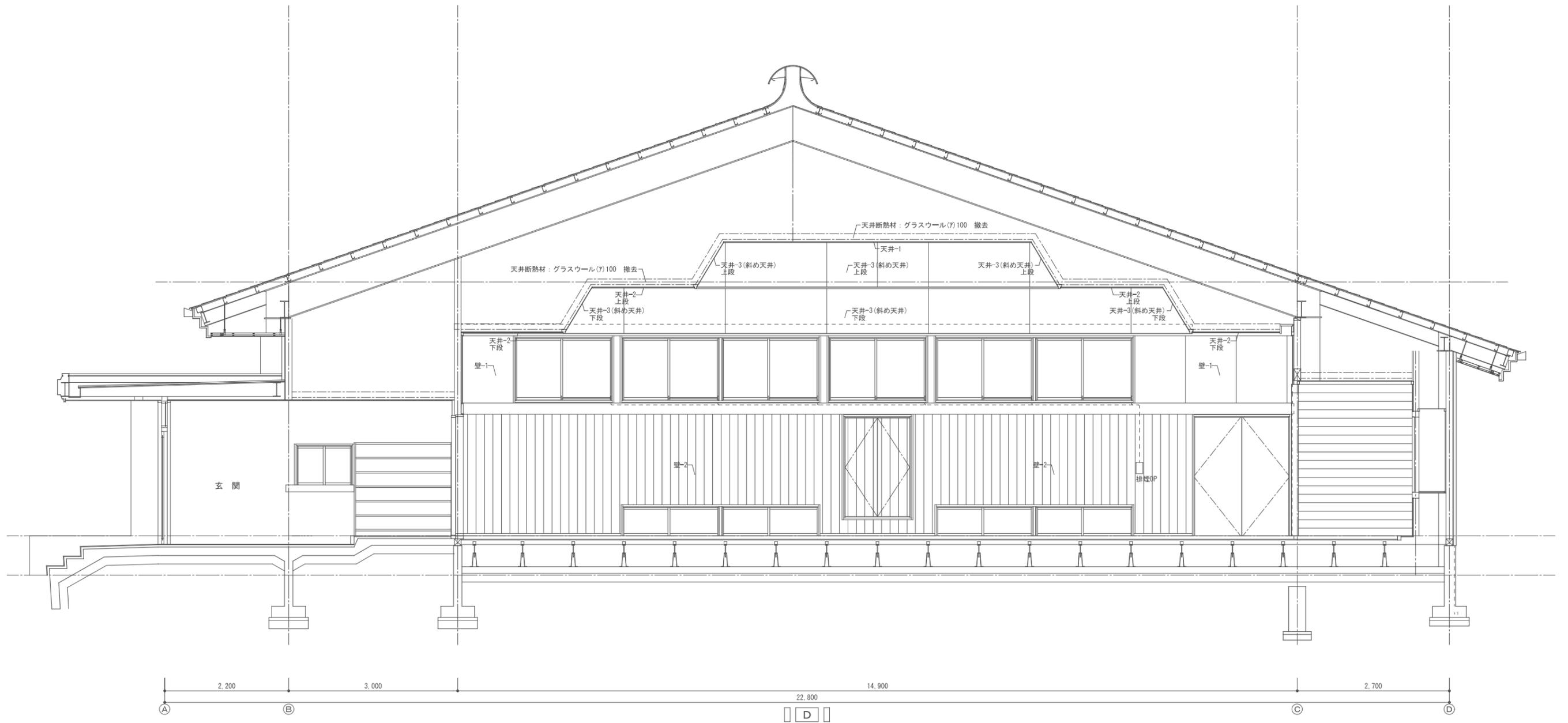
CHECK	DRAW	JOB NO 202409	TITLE 令和6年度(明許繰越) 豊科武道館柔道場大規模改修工事	SHEET NAME	SHEET NO
				既存展開図-4	A-26
				SCALE	DAY
				1:50	2024.12.05



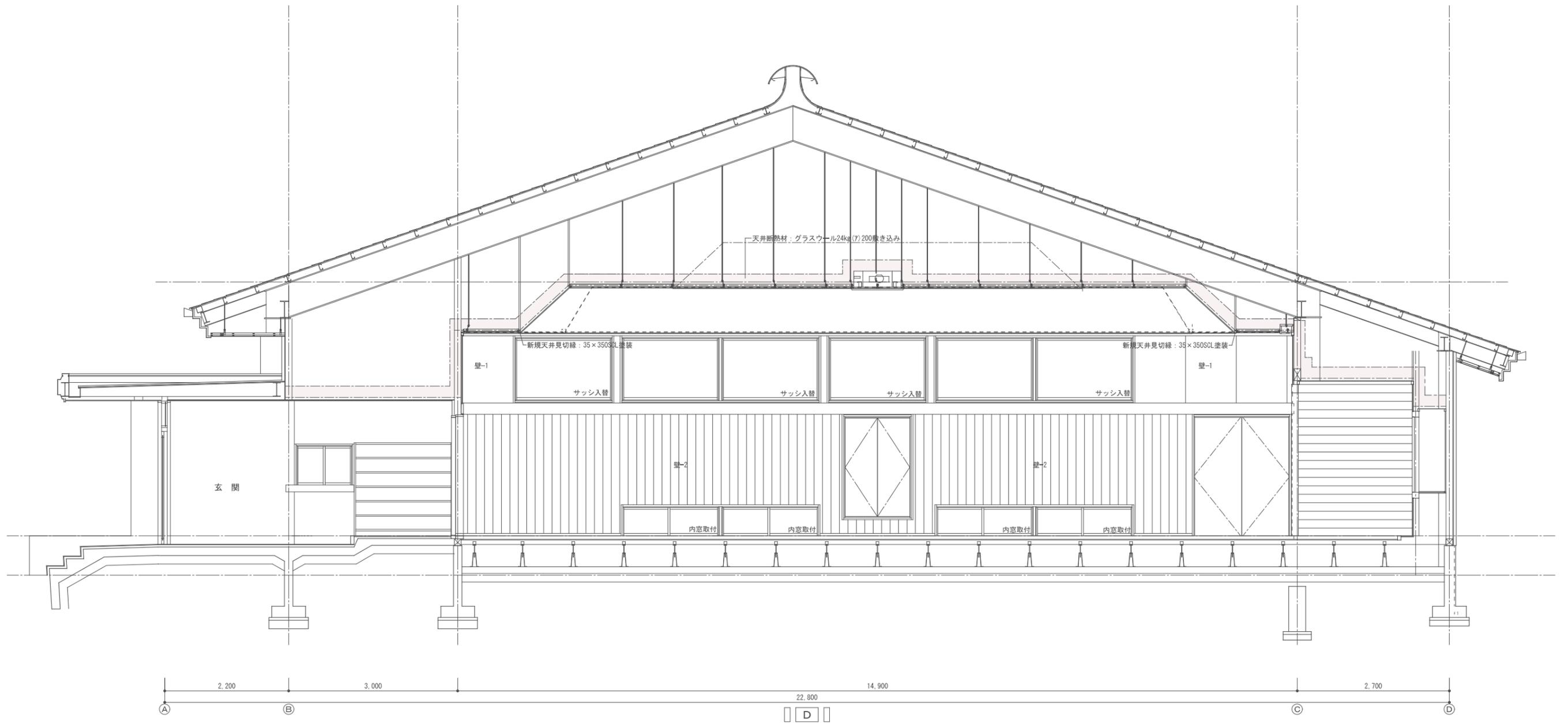
室名		前室
天井		
面積: 2.40㎡	改修	既存壁表面調整の上、EP塗装
天井廻縁		
長さ: 6.20m	改修	既存廻縁表面調整の上、CL塗装
壁		
面積: 4.31㎡	改修	既存壁表面調整の上、CL塗装
床		
面積: 2.40㎡	改修	既存のまま
巾木		
長さ: 1.92m	改修	既存のまま
備考		手洗い カガミ



CHECK	DRAW	JOB NO 202409	TITLE 令和6年度(明許繰越) 豊科武道館柔道場大規模改修工事	SHEET NAME	SHEET NO
				改修展開図-4	A-27
				SCALE	DAY
				1:50	2024.12.05

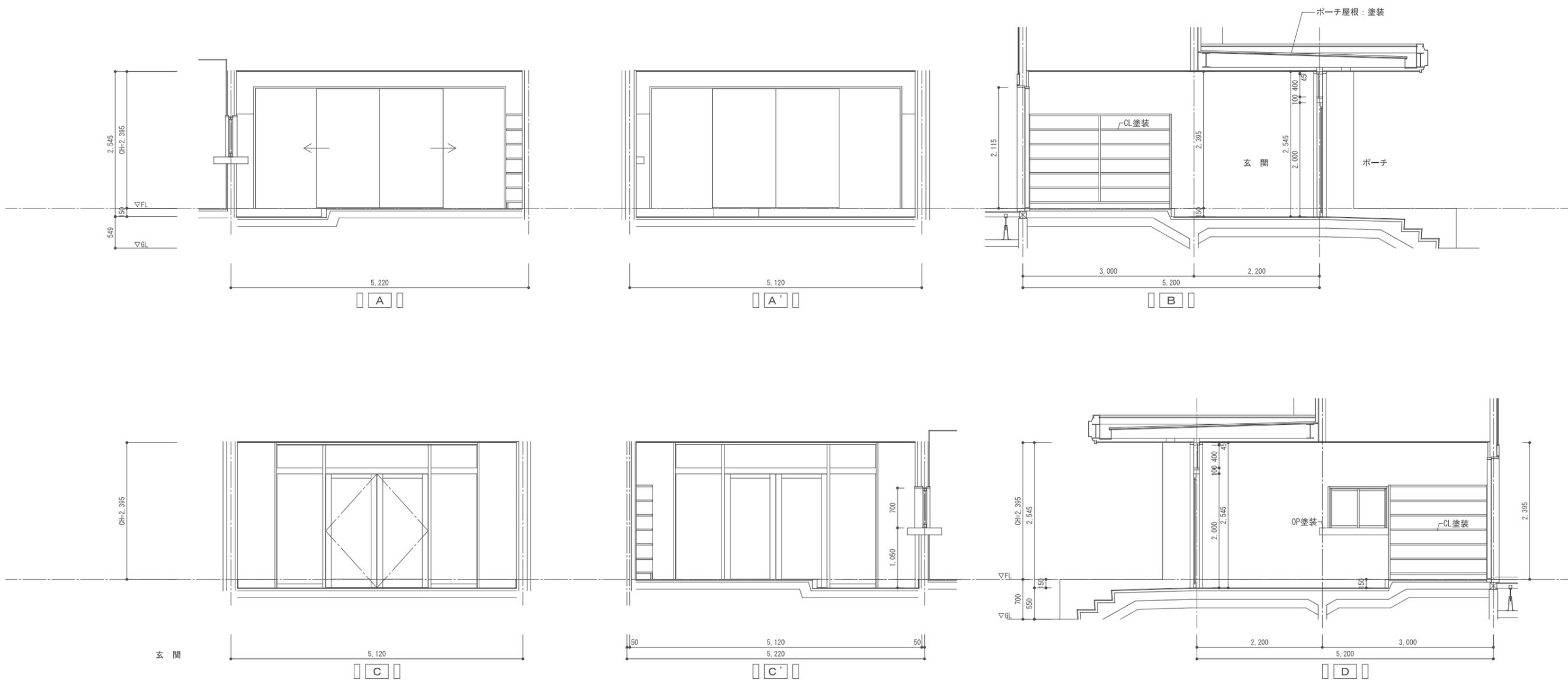


			CHECK	DRAW	JOB NO.	TITLE	SHEET NAME	SHEET NO.
					202409	令和6年度(明許繰越) 豊科武道館柔道場大規模改修工事	既存展開図-5	A-28
							SCALE	DAY
							1:50	2024.12.05



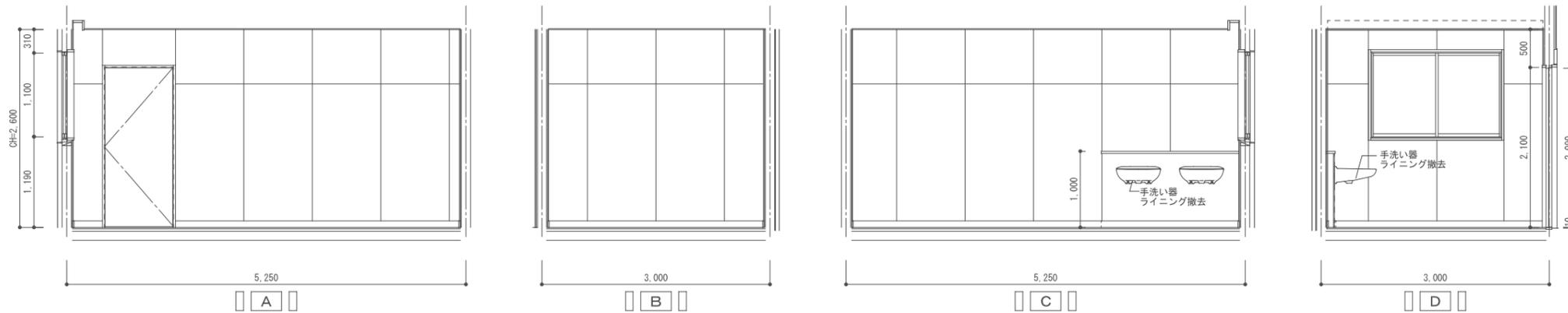
			CHECK	DRAW	JOB NO	TITLE	SHEET NAME	SHEET NO
					202409	令和6年度(明許繰越) 豊科武道館柔道場大規模改修工事	改修展開図-5	A-29
							SCALE	DAY
							1:50	2024.12.05

室名	玄関	
天井 面積: 27.14㎡	既存 改修	石膏ボード(7)9捨張岩綿吸音板(7)9張り 既存天井表面調整の上、EP塗装
天井廻縁 長さ: 20.74m	既存 改修	塩ビ廻り縁 既存のまま
壁 面積: 31.96㎡	既存 改修	ラスモルタル金網下地弾性吹付タイル吹付隠押え 既存壁表面調整の上、EP塗装
巾木 長さ: 11.10m	既存 改修	テラゾーブロック H=150 既存のまま
床-1 面積: 12.45㎡	既存 改修	カバ桜フローリング(7)18 ポリウレタン3回塗 既存のまま
床-2 面積: 13.35㎡	既存 改修	モルタル下地100・200角タイル貼り(セッキ質・施軸) 既存のまま
備考	受付カウンター EP塗装 木製スロープ(据置) 再使用 木製靴収納棚 CL塗装	

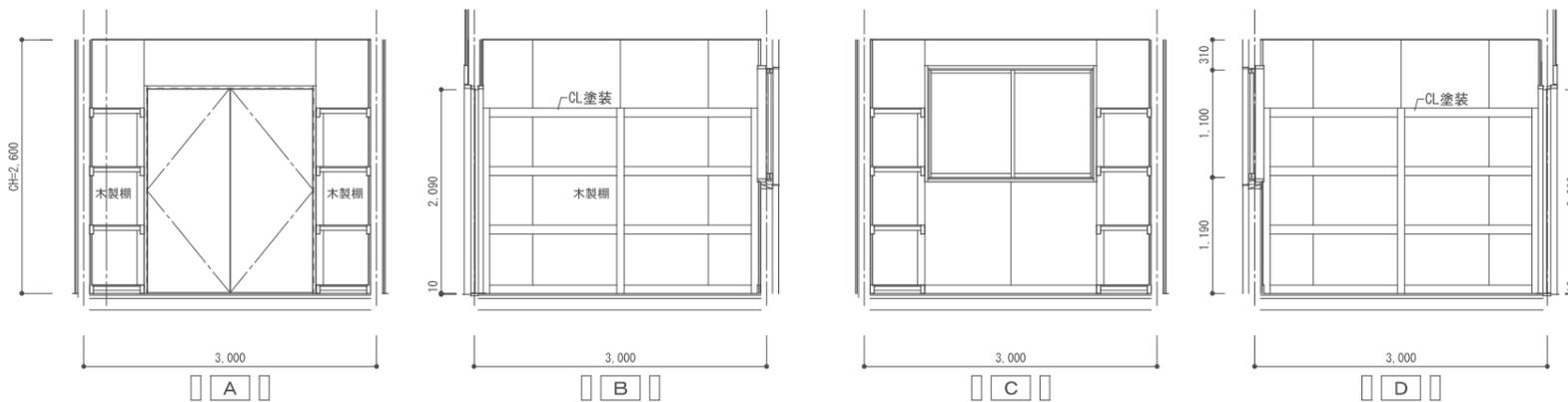


CHECK	DRAW	JOB NO	TITLE	SHEET NAME	SHEET NO
		202409	令和6年度(明許繰越) 豊科武道館柔道場大規模改修工事	既存・改修展開図-6	A-30
				SCALE	DAY
				1:50	2024.12.05

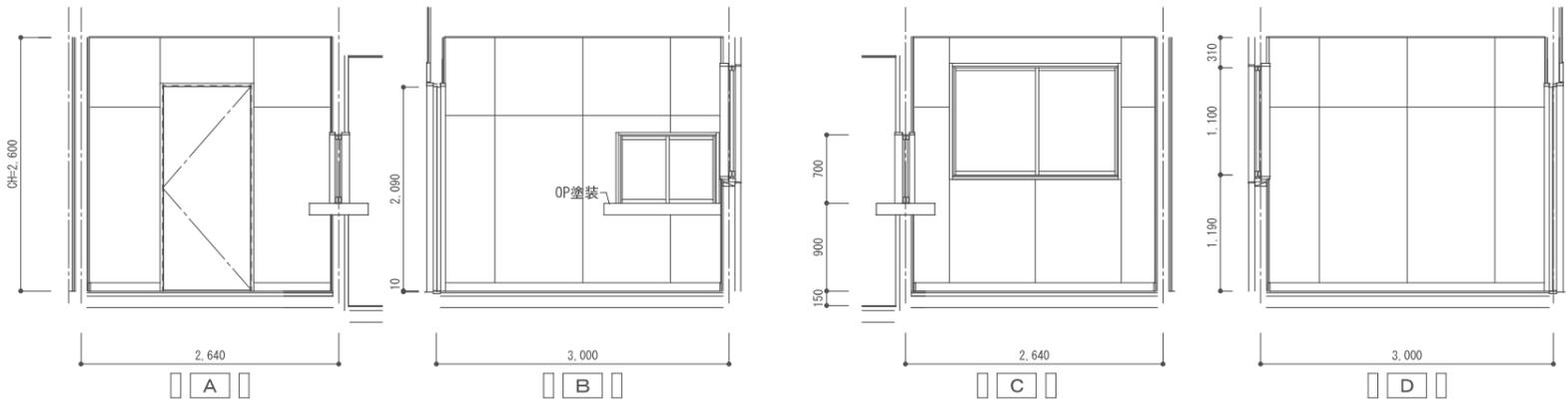
室名	更衣室⇒倉庫へ改修	
天井	既存	化粧石膏ボード(7)9張(ジブトーン)
面積:15.75㎡	改修	化粧石膏ボード(7)9張(ジブトーン)
天井廻縁	既存	ラワン OSCL H=55
長さ:16.50m	改修	ラワン OSCL H=55
壁-1	既存	シナ合板(7)9目透し張り OP塗装
面積:38.73㎡	改修	シナ合板(7)9目透し張り OP塗装
壁-2	既存	ライニング壁・メラミン化粧板(7)1.2貼り
面積:1.66㎡	改修	ライニング壁・メラミン化粧板(7)1.2貼り
巾木	既存	ラワン OSCL H=85
長さ:15.54m	改修	ラワン OSCL H=85
床	既存	カバ桜フローリング(7)18 ポリウレタン3回塗
面積:15.75㎡	改修	カバ桜フローリング(7)18 ポリウレタン3回塗
備考	洗面器撤去 木製カーテンBOX 木製ライニングカウンター撤去	



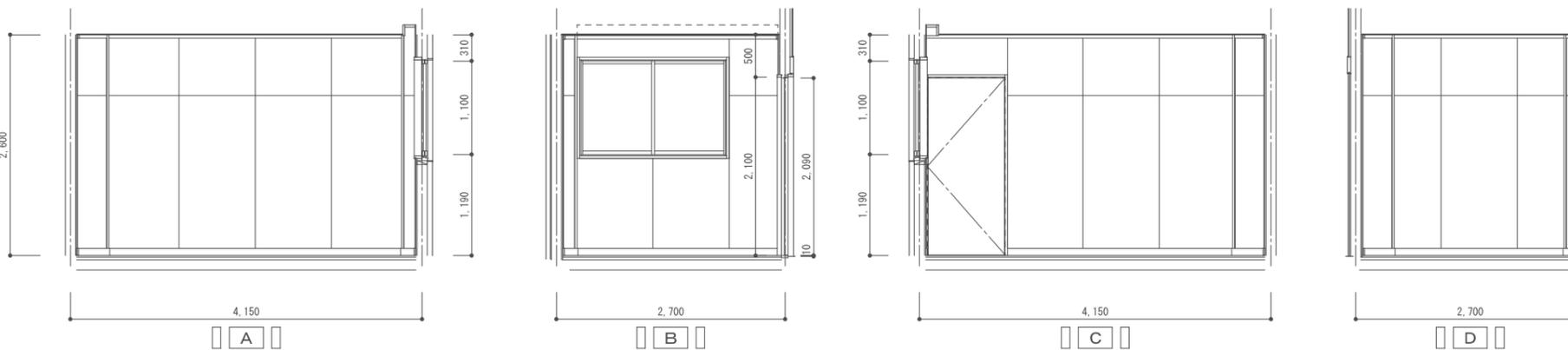
室名	器具庫	
天井	既存	化粧石膏ボード(7)9張(ジブトーン)
面積:9.00㎡	改修	既存天井撤去の上石膏ボード(7)9.5下地EP塗装
天井廻縁	既存	ラワン OSCL H=55
長さ:9.00m	改修	既存のまま
壁	既存	シナ合板(7)9目透し張り OP塗装
面積:25.36㎡	改修	既存壁表面調整の上、OP塗装
巾木	既存	ラワン OSCL H=85
長さ:1.72m	改修	既存のまま
床	既存	カバ桜フローリング(7)18 ポリウレタン3回塗
面積:9.00㎡	改修	既存のまま
備考	木製作り付け棚 CL塗装	



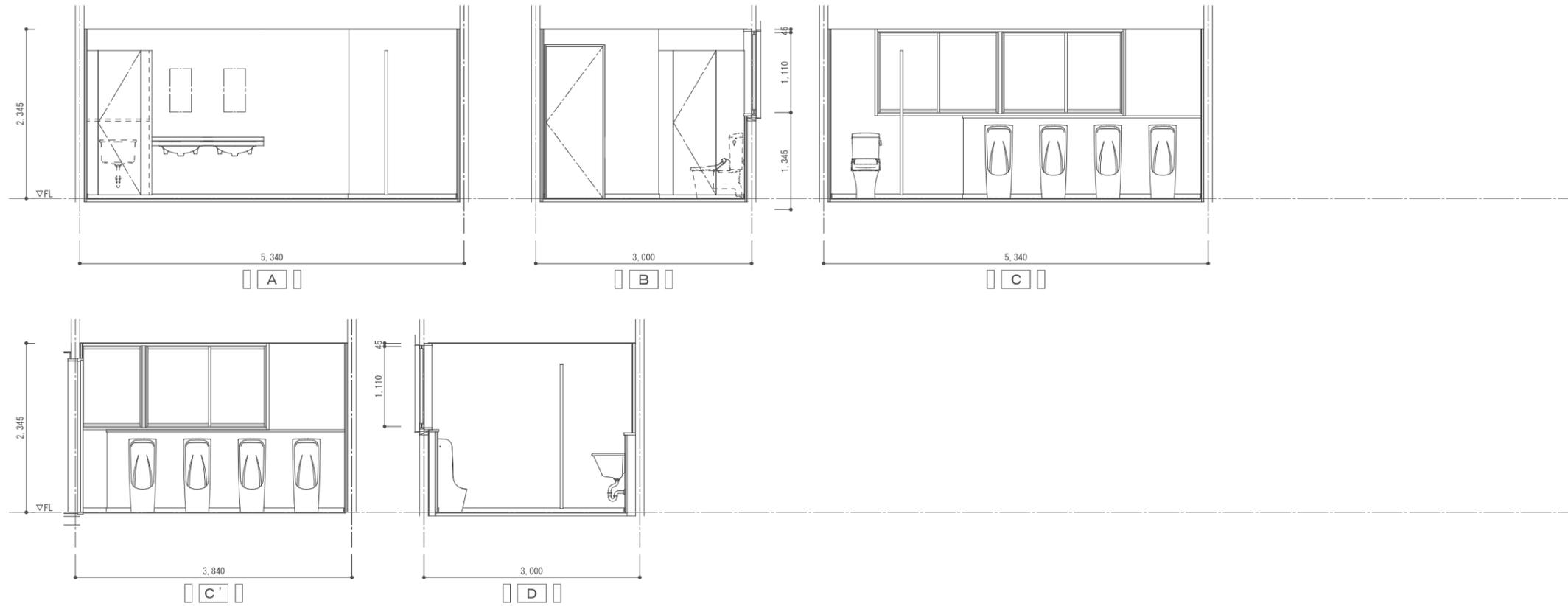
室名	事務室	
天井	既存	化粧石膏ボード(7)9張(ジブトーン)
面積:7.92㎡	改修	既存天井表面調整の上、EP塗装
天井廻縁	既存	ラワン OSCL H=55
長さ:11.28m	改修	既存のまま
壁	既存	シナ合板(7)9目透し張り OP塗装
面積:24.43㎡	改修	既存壁表面調整の上、OP塗装
巾木	既存	ラワン OSCL H=85
長さ:10.32m	改修	既存のまま
床	既存	カバ桜フローリング(7)18 ポリウレタン3回塗
面積:7.92㎡	改修	既存のまま
備考	受付カウンター OP塗装 木製カーテンBOX CL塗装	



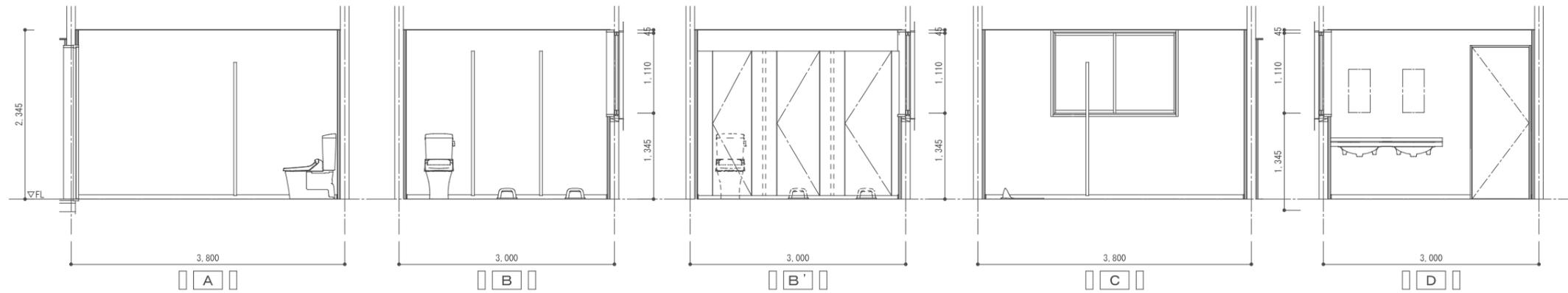
室名	研修室	
天井	既存	化粧石膏ボード(7)9張(ジブトーン)
面積:11.21㎡	改修	既存天井表面調整の上、EP装
天井廻縁	既存	ラワン OSCL H=40
長さ:11.28m	改修	既存のまま
壁	既存	シナ合板(7)9目透し張り OP塗装
面積:31.48㎡	改修	既存壁表面調整の上、OP塗装
巾木	既存	ラワン OSCL H=85
長さ:12.76m	改修	既存のまま
床	既存	カバ桜フローリング(7)18 ポリウレタン3回塗
面積:11.21㎡	改修	既存のまま
備考	木製カーテンBOX CL塗装	



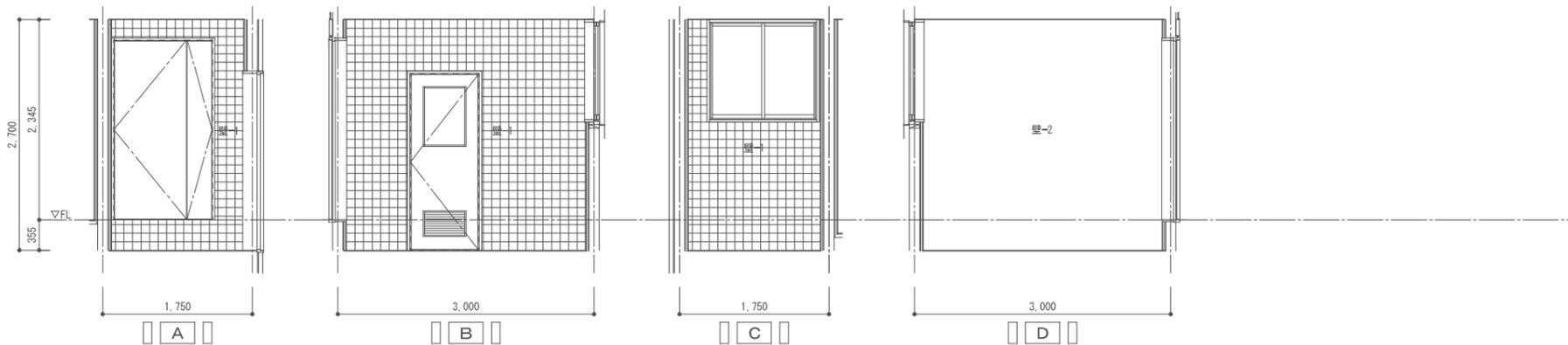
男子便所	
天井	既存 化粧石膏ボード(7)9張
天井面積: 13.77㎡	改修 既存天井表面調整の上、EP塗装
天井廻縁	既存 塩ビ廻り縁
長さ: 15.89m	改修 既存のまま
壁-1	既存 石膏ボード(7)12.5張り OP塗装
面積: 27.71㎡	改修 既存壁表面調整の上、OP塗装
壁-2	既存 ライニング壁・メラミン化粧板(7)1.2貼り
面積: 3.69㎡	改修 既存のまま
巾木	既存 ソフト巾木 H=60
長さ: 15.54m	改修 ソフト巾木 H=60 張替え
床	既存 ビニル床シート貼り
面積: 13.77㎡	改修 下地調整の上、ビニル床シート張替え
備考	SUSライニングカウンター 手洗い器水栓撤去。自動水栓新設。 トイレフース カガミ



女子便所	
天井	既存 化粧石膏ボード(7)9張
天井面積: 11.4㎡	改修 塩ビ廻り縁
天井廻縁	既存 塩ビ廻り縁
長さ: 13.6m	改修 石膏ボード(7)12.5張り OP塗装
壁	既存 石膏ボード(7)12.5張り OP塗装
面積: 28.44㎡	改修 石膏ボード(7)12.5張り OP塗装
巾木	既存 ソフト巾木 H=60
長さ: 12.85m	改修 ソフト巾木 H=60 張替え
床	既存 ビニル床シート貼り
面積: 11.4㎡	改修 下地調整の上、ビニル床シート張替え
備考	手洗い器水栓撤去。自動水栓新設。 トイレフース カガミ 和便器撤去。腰掛便器新設。

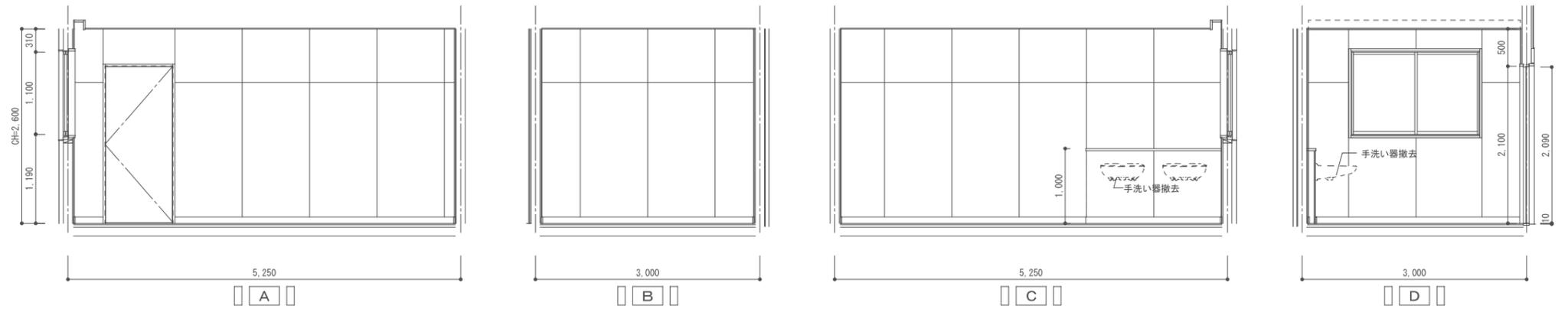


外部便所	
天井	既存 化粧石膏ボード(7)9張
天井面積: 5.25㎡	改修 塩ビ廻り縁
天井廻縁	既存 塩ビ廻り縁
長さ: 9.50m	改修 ラスマルタル下地100角タイル貼り(半磁器質タイル)
壁-1	既存 ラスマルタル下地100角タイル貼り(半磁器質タイル)
面積: 11.57㎡	改修 ラスマルタル下地100角タイル貼り(半磁器質タイル)
壁-2	既存 石膏ボード(7)12.5下地OP塗装
面積: 8.10㎡	改修 石膏ボード(7)12.5下地OP塗装
床	既存 モルタル下地モザイクタイル貼り
面積: 5.25㎡	改修 モルタル下地モザイクタイル貼り
備考	

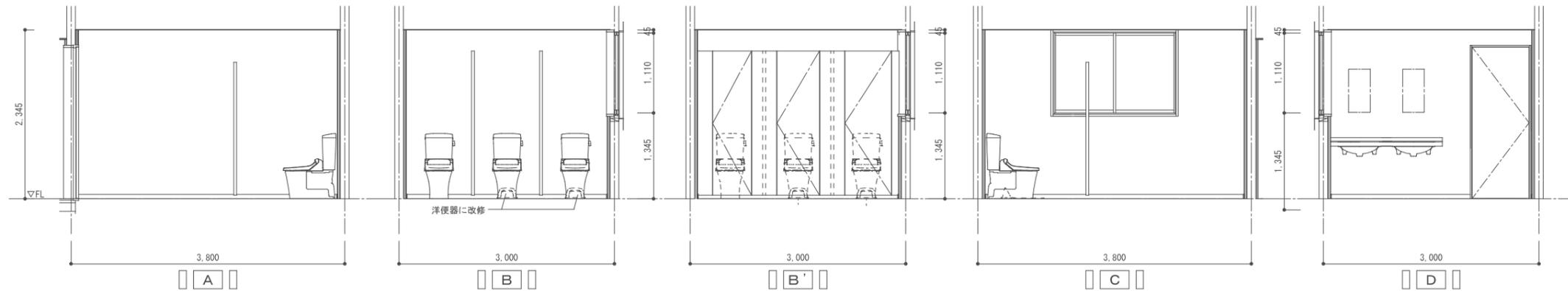


CHECK	DRAW	JOB NO.	TITLE	SHEET NAME	SHEET NO.
		202409	令和6年度(明許繰越) 豊科武道館柔道場大規模改修工事	既存・改修展開図-8	A-32
				SCALE	DAY
				1:50	2024.12.05

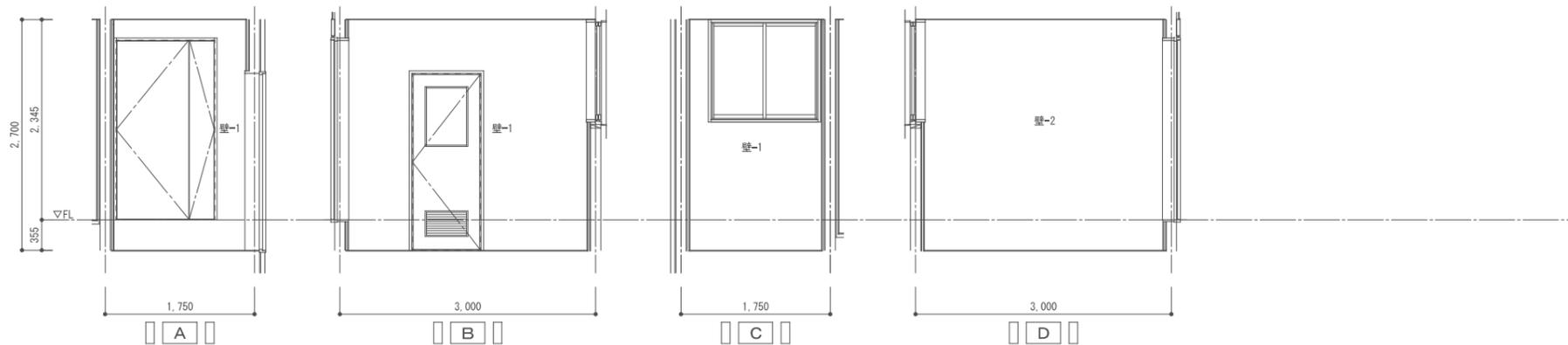
室名	更衣室⇒倉庫へ改修	
天井	改修	既存天井撤去の上、石膏ボード(7)9.5下地EP塗装
天井廻縁	改修	既存のまま
長さ:16.50m		
壁-1	改修	既存壁表面調整の上、OP塗装
面積:38.73㎡		
壁-2	改修	既存壁撤去の上、シナ合板(7)9目透かし張り OP塗装
面積:1.66㎡		
巾木	改修	既存のまま
長さ:15.54m		
床	改修	既存のまま
面積:15.75㎡		
備考	洗面器撤去 木製カーテンBOX CL塗装 木製ライニングカウンター 補修	



室名	女子便所	
天井	改修	既存天井表面調整の上、EP塗装
天井廻縁	改修	既存のまま
長さ:13.6m		
壁	改修	既存壁表面調整の上、OP塗装
面積:28.44㎡		
巾木	改修	ソフト巾木 H=60 張替え
長さ:12.85m		
床	改修	下地調整の上、ビニル床シート張替え
面積:11.4㎡		
備考	手洗い器水栓撤去。自動水栓新設。 トイレブース カガミ 和便器撤去。洋便器2箇所新設。	

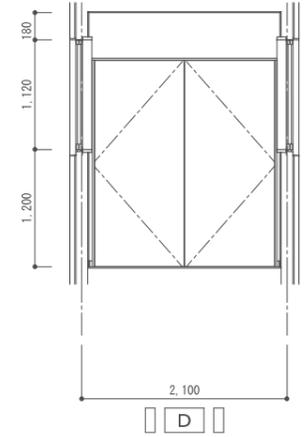
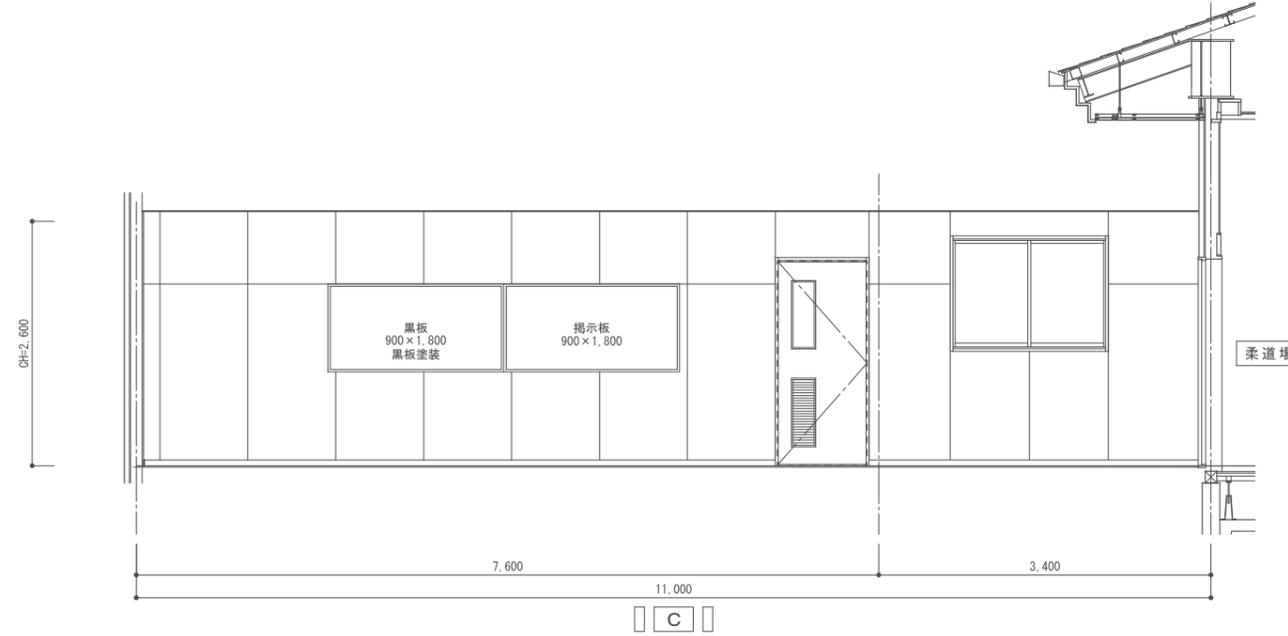
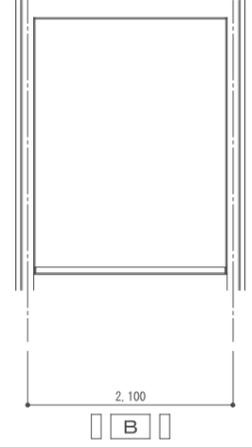
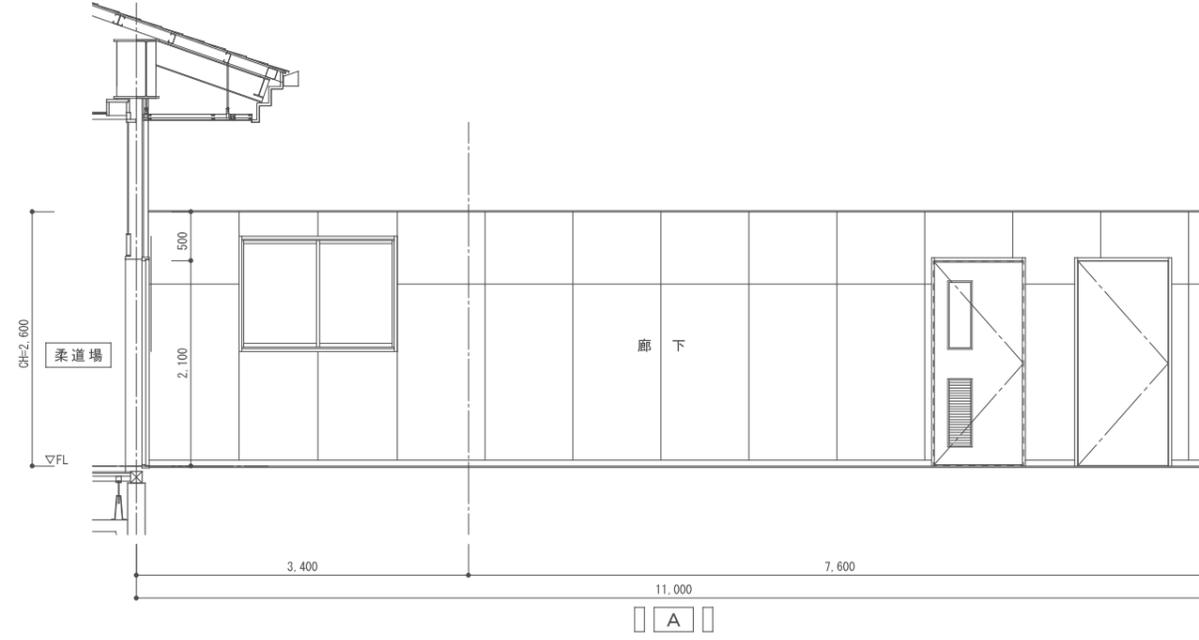


室名	外部便所	
天井	改修	既存天井表面調整の上、EP塗装
天井廻縁	改修	既存のまま
長さ:9.50m		
壁-1	改修	既存壁の上木輪石膏ボード(7)12.5下地OP塗装
面積:11.57㎡		
壁-2	改修	既存壁表面調整の上、OP塗装
面積:8.10㎡		
床	改修	モルタル金ゴテ下地ビニル床シート張り
面積:5.25㎡		
備考	巾木:ソフト巾木H=65 外扉額縁SUS見切り	

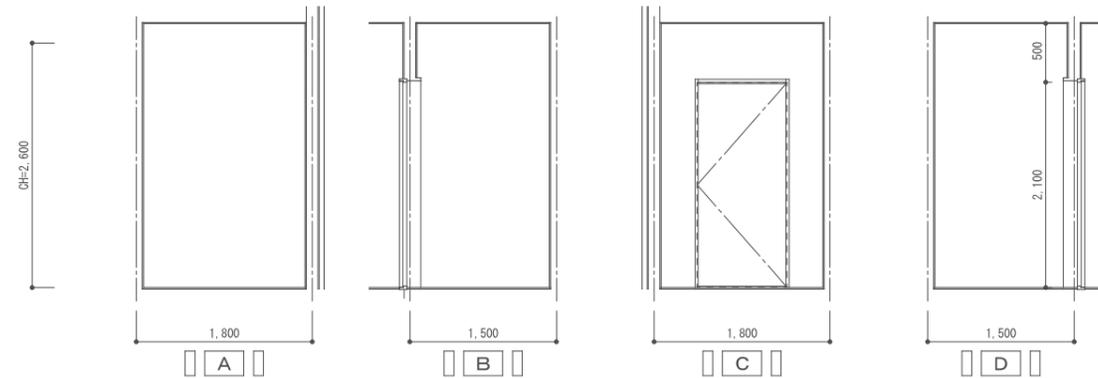


			CHECK	DRAW	JOB NO 202409	TITLE 令和6年度(明許繰越) 豊科武道館柔道場大規模改修工事	SHEET NAME 改修展開図-7・8	SHEET NO A-33
			SCALE 1:50	DAY 2024.12.05				

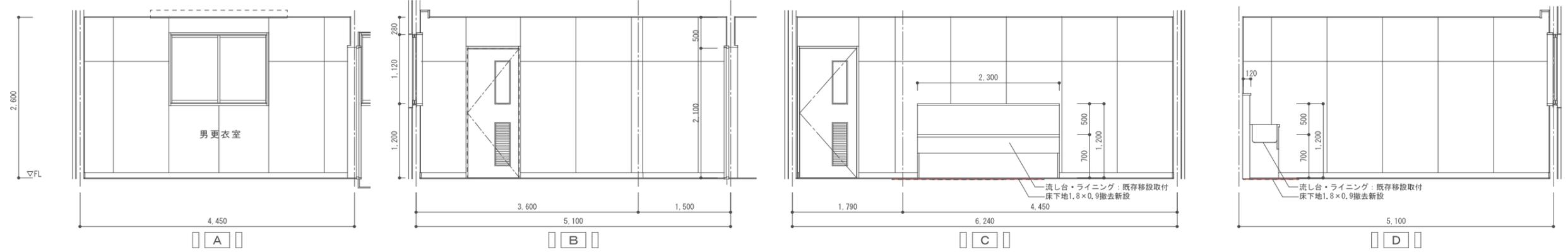
室名	付属棟 廊下	
天井	既存	化粧石膏ボード(7)9張り(ジブトーン)
面積: 23.10㎡	改修	既存天井表面調整の上、EP塗装
天井廻縁	既存	塩ビ廻り縁
長さ: 26.20m	改修	既存のまま
壁	既存	シナ合板(7)9 目透かし張り VP塗装
面積: 49.90㎡	改修	既存壁表面調整の上、NAD塗装
床	既存	カバ桜フローリング(7)18 ポリウレタン3回塗
面積: 23.10㎡	改修	既存のまま
巾木	既存	ラワン O S C L H=60
長さ: 18.79m	改修	既存のまま
備考	掲示板 黒板: 黒板塗装	



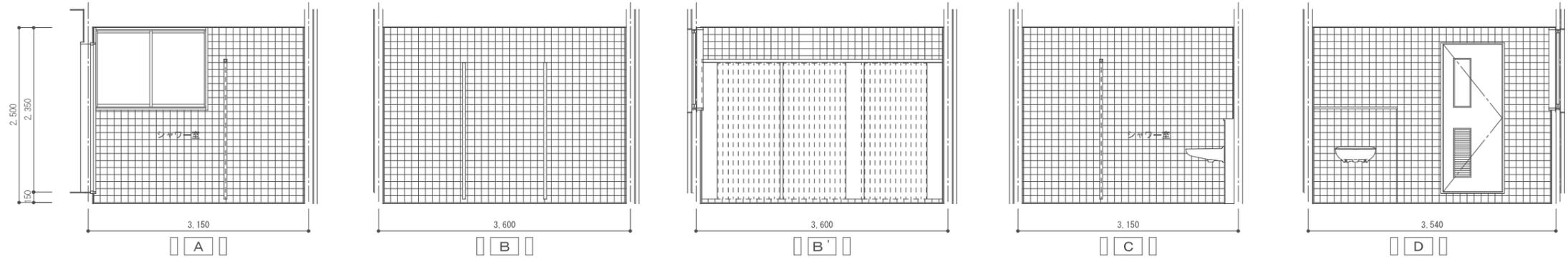
室名	付属棟 物入	
天井	既存	岩綿ケイカル板(7)6目透かし張り
面積: 2.70㎡	改修	既存のまま
天井廻縁	既存	塩ビ廻り縁
長さ: 6.60m	改修	既存のまま
壁	既存	ラスモルタル金ゴテ仕上げ
面積: 14.21㎡	改修	既存のまま
床	既存	ラスモルタル金ゴテ仕上げ
面積: 2.70㎡	改修	既存のまま
巾木	既存	モルタル金ゴテ仕上げ
	改修	
備考		



			CHECK	DRAW	JOB NO	TITLE	SHEET NAME	SHEET NO
					202409	令和6年度(明許繰越) 豊科武道館柔道場大規模改修工事	既存・改修展開図-9	A-34
							SCALE	DAY
							1:50	2024.12.05

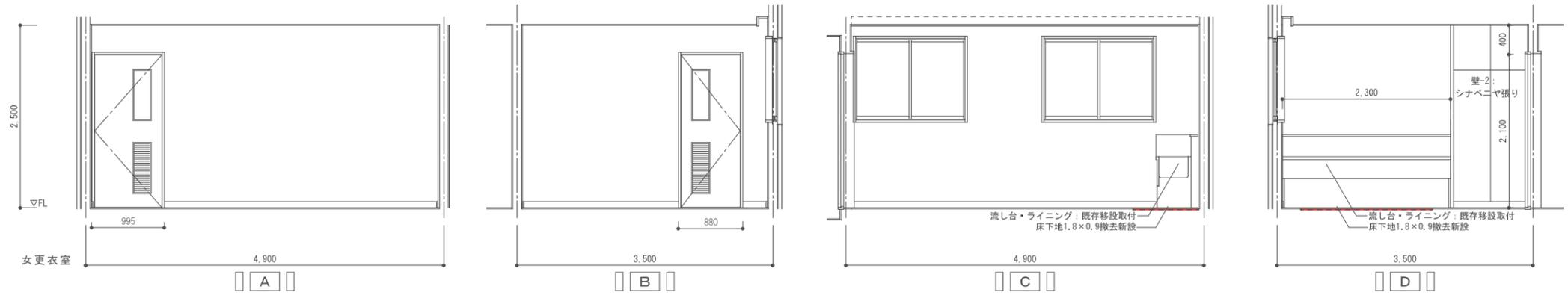


室名	付属棟 男更衣室
天井	既存 化粧石膏ボード(7)9張り (ジブトーン)
面積	24.95㎡
天井廻縁	改修 塩ビ廻り縁
長さ	21.80m
壁	既存 シナベニヤ O S C L
面積	50.79㎡
床	既存 コードカーペット敷込み
面積	24.72㎡
巾木	改修 ラワン O S C L H=60
長さ	21.8m
備考	ステンレス流し CL塗装
	木製カーテンBOX CL塗装

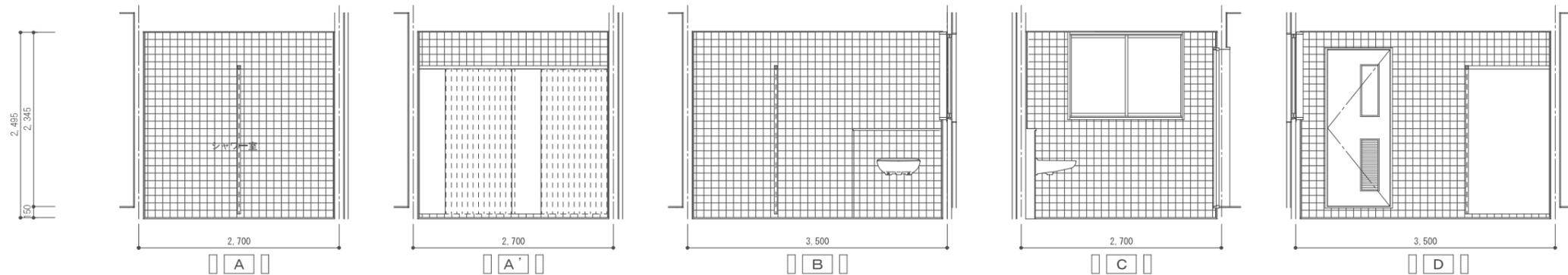


室名	付属棟 男シャワー室
天井	既存 石綿ケイカル(7)6目透し張 V P 塗装
面積	11.34㎡
天井廻縁	既存 塩ビ廻り縁
長さ	13.50m
壁	既存 モルタル下地タイル貼り
面積	29.87㎡
床	既存 モルタル下地タイル貼り
面積	11.34㎡
巾木	既存
長さ	
備考	ライニング、洗面器撤去
	シャワーブース・シャワーカーテン撤去

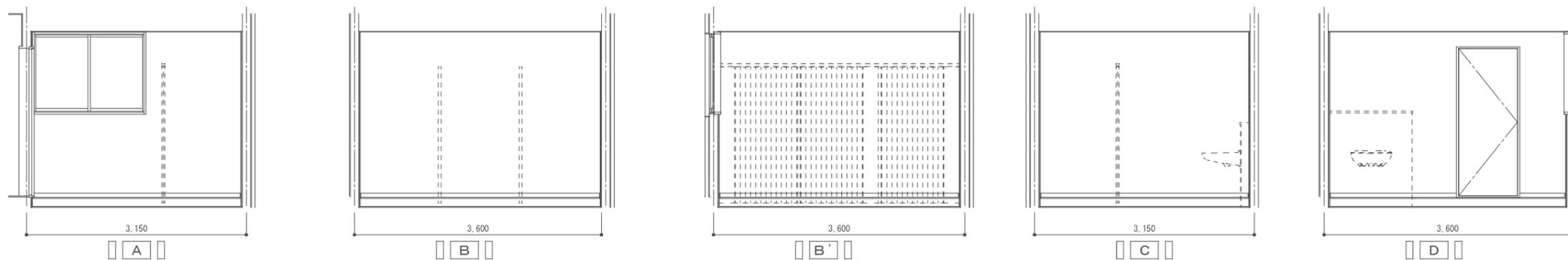
室名	付属棟 女更衣室
天井	既存 化粧石膏ボード(7)9張り (ジブトーン)
面積	17.15㎡
天井廻縁	改修 既存天井表面調整の上、EP 塗装
長さ	16.80m
壁-1	既存 石膏ボード(7)12.5下地 ビニルクロス張り
面積	30.87㎡
壁-2	改修 既存壁表面調整の上、ビニルクロス張り
面積	2.46㎡
床	既存 シナベニヤ O S C L
面積	17.15㎡
巾木	改修 コードカーペット敷込み
長さ	14.39m
備考	改修 ビニル床シート張り
	既存 ラワン O S C L H=60
	改修 既存巾木表面調整の上、CL 塗装
	ステンレス流し CL塗装
	木製カーテンBOX CL塗装



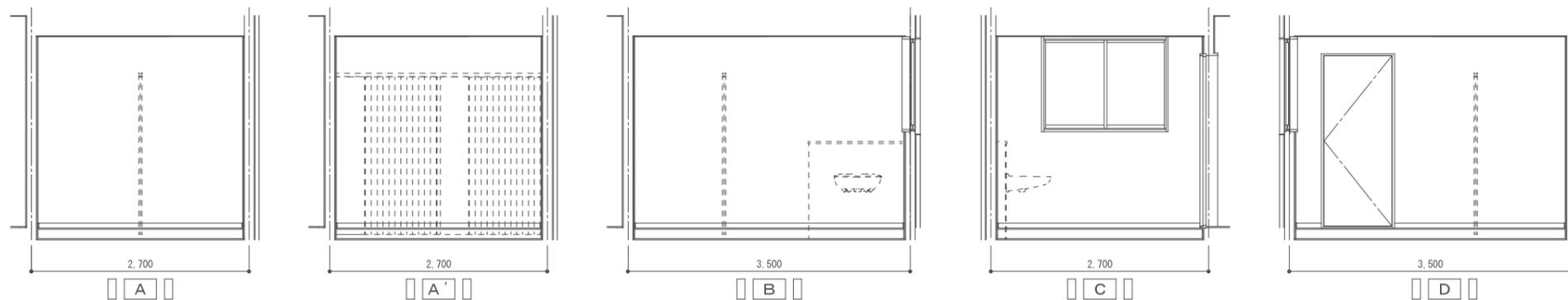
室名	付属棟 女シャワー室
天井	既存 石綿ケイカル(7)6目透し張 V P 塗装
面積	9.45㎡
天井廻縁	既存 塩ビ廻り縁
長さ	12.40m
壁	既存 モルタル下地タイル貼り
面積	27.13㎡
床	既存 モルタル下地タイル貼り
面積	9.45㎡
巾木	既存
長さ	
備考	ライニング、洗面器撤去
	シャワーブース・シャワーカーテン撤去



CHECK	DRAW	JOB NO	TITLE	SHEET NAME	SHEET NO
		202409	令和6年度(明許繰越) 豊科武道館柔道場大規模改修工事	既存・改修展開図-10	A-35
				SCALE	DAY
				1:50	2024.12.05

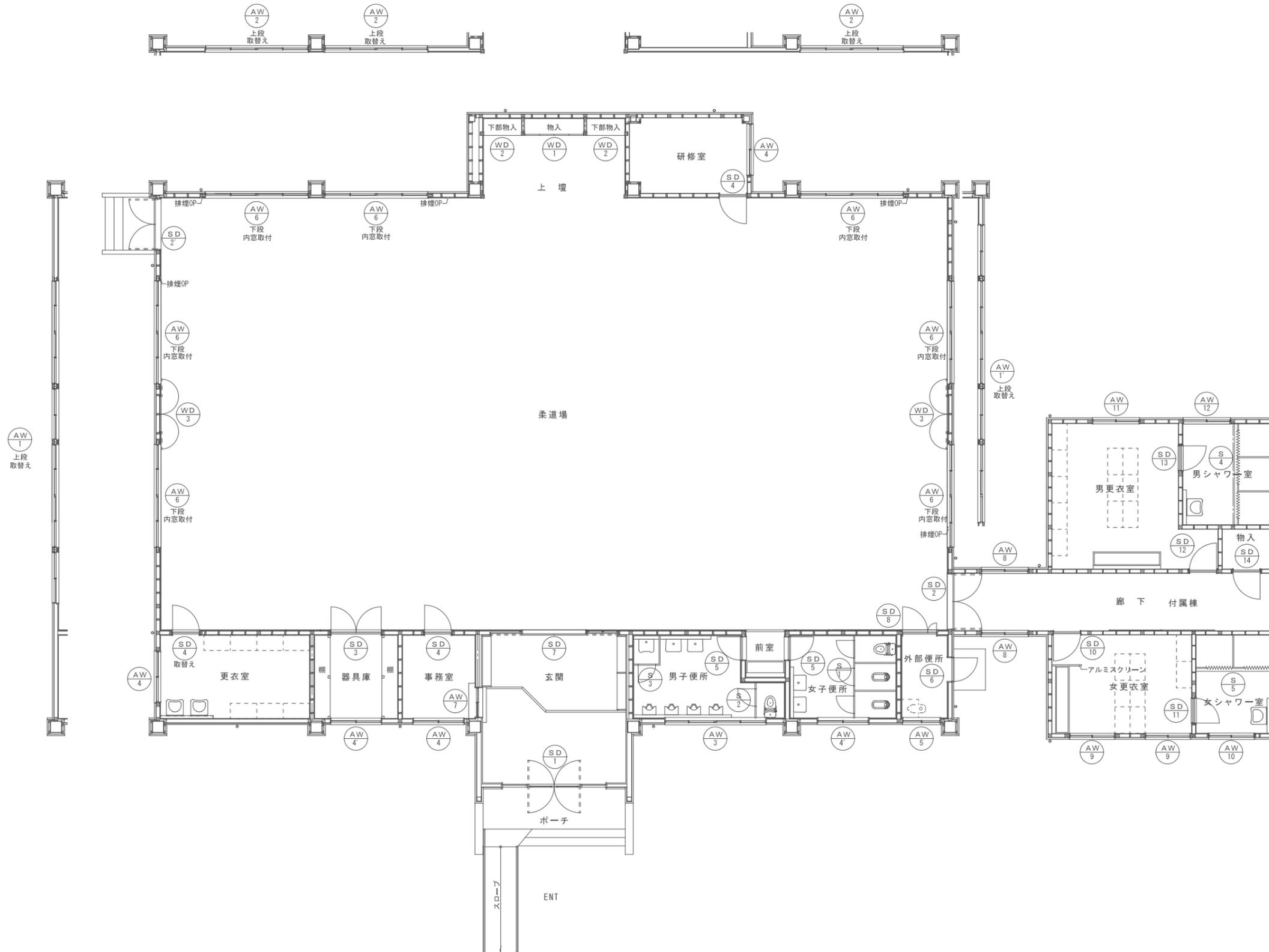


室名	付属棟 男シャワー室	
天井	改修	既存天井表面調整の上、EP塗装
天井廻縁	改修	塩ビ廻り縁
壁	改修	既存壁の上木軸石膏ボード(7)12.5下地ビニルクロス貼り
床	改修	木床組の上ラワンベニア(7)15下地ビニル床シート張り
巾木	改修	ソフト巾木 H=60
備考	ライニング、洗面器撤去 シャワーブース・シャワーカーテン撤去	



室名	付属棟 女シャワー室	
天井	改修	既存天井表面調整の上、EP塗装
天井廻縁	改修	塩ビ廻り縁
壁	改修	既存壁の上木軸石膏ボード(7)12.5下地ビニルクロス貼り
床	改修	木床組の上ラワンベニア(7)15下地ビニル床シート張り
巾木	改修	ソフト巾木 H=60
備考	ライニング、洗面器撤去 シャワーブース・シャワーカーテン撤去	

			CHECK	DRAW	JOB NO	TITLE	SHEET NAME	SHEET NO
					202409	令和6年度(明許繰越) 豊科武道館柔道場大規模改修工事	改修展開図-10	A-36
							SCALE	DAY
							1:50	2024.12.05



			CHECK	DRAW	JOB NO	TITLE	SHEET NAME	SHEET NO
					202409	令和6年度(明許繰越) 豊科武道館柔道場大規模改修工事	建具キープラン	A-37
							SCALE	DAY
							1:100	2024.12.05

記号・数量 $\frac{SD}{1}$ × 1 武道館 玄関	記号・数量 $\frac{SD}{2}$ × 1 武道館 柔道場	記号・数量 $\frac{SD}{2'}$ × 1 武道館 柔道場	記号・数量 $\frac{SD}{3}$ × 1 武道館 器具庫	記号・数量 $\frac{SD}{4}$ × 3 武道館 事務室、更衣室、研修室	記号・数量 $\frac{SD}{5}$ × 2 武道館 男子便所、女子便所
立面 	立面 	立面 	立面 	立面 	立面
型式・見込 ランマFix付フロアヒンジドアサッシ 100	型式・見込 スチール製フラッシュ両開戸 枠見込100m/m ドア厚40m/m	型式・見込 スチール製フラッシュ両開戸 枠見込100m/m ドア厚40m/m	型式・見込 軽量スチール製フラッシュ両開戸 枠見込86m/m ドア厚36m/m	型式・見込 軽量スチール製フラッシュ片開戸 枠見込86m/m ドア厚36m/m	型式・見込 軽量スチール製フラッシュ片開戸 枠見込86m/m ドア厚36m/m
材料・仕上 ステンレス（普通曲げ） SUS304	材料・仕上 スチール OP	材料・仕上 スチール OP	材料・仕上 扉面材：化粧鋼板 芯材：ペーパーコアU152種 枠：亜鉛メッキ鋼板（防錆塗装仕上げ） 枠：OP	材料・仕上 扉面材：化粧鋼板 芯材：ペーパーコアU152種 枠：亜鉛メッキ鋼板（防錆塗装仕上げ） 枠：OP	材料・仕上 扉面材：化粧鋼板 芯材：ペーパーコアU152種 枠：亜鉛メッキ鋼板（防錆塗装仕上げ） 枠：OP
硝子 ランマ部 5m/mフロート板硝子 他6.8m/m線入透明板硝子	硝子 -	硝子 -	硝子 -	硝子 -	硝子 4m/m 型板硝子
金物 フロアヒンジ、シリンドー錠、押縁棒、外部曲物65×30 内部曲物55×30	金物 ケースハンドルシリンドー錠、ステンレス丁番、フランス落し、DC、ステンレス音摺（SUS304）236、内部アングル3方、外部曲物3方25×37	金物 ケースハンドルシリンドー錠、ステンレス丁番、フランス落し、DC、ステンレス音摺（SUS304）236、内部アングル3方、外部曲物3方25×37	金物 ケースハンドルシリンドー錠、ステンレス丁番、フランス落し、DC、ステンレス音摺（SUS304）2m/m 内外アングル3方	金物 シリンドー錠、ステンレス丁番、DC、ステンレス音摺（SUS304）2m/m 内外アングル3方	金物 シリンドー錠、ステンレス丁番、DC、ステンレス音摺（SUS304）2m/m 内外アングル3方
備考 調整	備考 調整・OP塗装	備考 調整・OP塗装	備考 調整・金物取替え・OP塗装	備考 更衣室以外調整・OP塗装	備考 調整・OP塗装
記号・数量 $\frac{SD}{6}$ × 1 武道館 外部便所	記号・数量 $\frac{SD}{7}$ × 1 武道館 玄関	記号・数量 $\frac{SD}{8}$ × 1 武道館 柔道場	記号・数量 $\frac{SD}{9}$	記号・数量 $\frac{SD}{10}$ × 1 付属棟 女子更衣室	記号・数量 $\frac{SD}{11}$ × 1 付属棟 女子更衣室
立面 	立面 	立面 	立面 	立面 	立面
型式・見込 スチール製フラッシュ片開戸 枠見込100m/m ドア見込40m/m	型式・見込 軽量スチール製引き分けフラッシュ戸 戸車タイプ 枠見込100m/m ドア見込40m/m	型式・見込 軽量スチール製フラッシュ両開戸 枠見込86m/m ドア厚36m/m	型式・見込 軽量スチール製フラッシュ片開戸 枠見込86m/m ドア厚36m/m ガラリ付	型式・見込 軽量スチール製フラッシュ片開戸 枠見込86m/m ドア厚36m/m ガラリ付	型式・見込 軽量スチール製フラッシュ片開戸 枠見込86m/m ドア厚36m/m ガラリ付
材料・仕上 スチール OP	材料・仕上 SPOC 0.6m/m メラミン焼付塗装 扉・枠共 OP	材料・仕上 扉面材：化粧鋼板 芯材：ペーパーコアU152種 枠：亜鉛メッキ鋼板（防錆塗装仕上げ） 枠：OP	材料・仕上 扉面材：化粧鋼板 芯材：ペーパーコアU152種 枠：亜鉛メッキ鋼板（防錆塗装仕上げ） 枠：OP	材料・仕上 扉面材：化粧鋼板 芯材：ペーパーコアU152種 枠：亜鉛メッキ鋼板（防錆塗装仕上げ） 枠：OP	材料・仕上 扉面材：化粧鋼板 芯材：ペーパーコアU152種 枠：亜鉛メッキ鋼板（防錆塗装仕上げ） 枠：OP
硝子 6.8m/m 網入型板硝子	硝子 -	硝子 -	硝子 -	硝子 4m/m 型板硝子	硝子 4m/m 型板硝子
金物 シリンドー錠、DC、換気ガラリ（防虫網付） ステンレス音摺（SUS304）2m/m、内部曲物3方 155×30	金物 片面押棒、片面引手、内部アングル3方、外部曲物3方 40×30 ユーステンレール（SUS304） 付属金物一式	金物 ケースハンドルシリンドー錠、ステンレス丁番、フランス落し、DC、ステンレス音摺（SUS304）2m/m 内外アングル3方	金物 握り玉、シリンドー錠、ステンレス丁番、DC、ステンレス音摺（SUS304）2m/m 内外アングル3方	金物 握り玉、シリンドー錠、ステンレス丁番、DC、ステンレス音摺（SUS304）2m/m 内外アングル3方	金物 握り玉、錠錠、ステンレス丁番、DC、ステンレス音摺（SUS304）2m/m 内外アングル3方
備考 調整・OP塗装	備考 調整・金物取替え・OP塗装	備考 調整・OP塗装	備考	備考 調整・OP塗装	備考 調整・OP塗装
記号・数量 $\frac{SD}{12}$ × 1 付属棟 男子更衣室	記号・数量 $\frac{SD}{13}$ × 1 付属棟 男子更衣室	記号・数量 $\frac{SD}{14}$ × 1 付属棟 物入	記号・数量	記号・数量	記号・数量
立面 	立面 	立面 	立面 	立面 	立面
型式・見込 軽量スチール製フラッシュ片開戸 枠見込86m/m ドア厚36m/m ガラリ付	型式・見込 軽量スチール製フラッシュ片開戸 枠見込86m/m ドア厚36m/m ガラリ付	型式・見込 軽量スチール製フラッシュ片開戸 枠見込86m/m ドア厚36m/m ガラリ付	型式・見込	型式・見込	型式・見込
材料・仕上 扉面材：化粧鋼板 芯材：ペーパーコアU152種 枠：亜鉛メッキ鋼板（防錆塗装仕上げ） 枠：OP	材料・仕上 扉面材：化粧鋼板 芯材：ペーパーコアU152種 枠：亜鉛メッキ鋼板（防錆塗装仕上げ） 枠：OP	材料・仕上 扉面材：化粧鋼板 芯材：ペーパーコアU152種 枠：亜鉛メッキ鋼板（防錆塗装仕上げ） 枠：OP	材料・仕上	材料・仕上	材料・仕上
硝子 4m/m 型板硝子	硝子 4m/m 型板硝子	硝子 4m/m 型板硝子	硝子	硝子	硝子
金物 握り玉、シリンドー錠、ステンレス丁番、DC、ステンレス音摺（SUS304）2m/m 内外アングル3方	金物 握り玉、錠錠、ステンレス丁番、DC、ステンレス音摺（SUS304）2m/m 内外アングル3方	金物 握り玉、シリンドー錠、ステンレス丁番、DC、ステンレス音摺（SUS304）2m/m 内外アングル3方	金物	金物	金物
備考 調整・OP塗装	備考 調整・OP塗装	備考 調整・OP塗装	備考	備考	備考

CHECK

DRAW

JOB NO

202409

TITLE

令和6年度（明許繰越）
豊科武道館柔道場大規模改修工事

SHEET NAME

建具表-1

SCALE

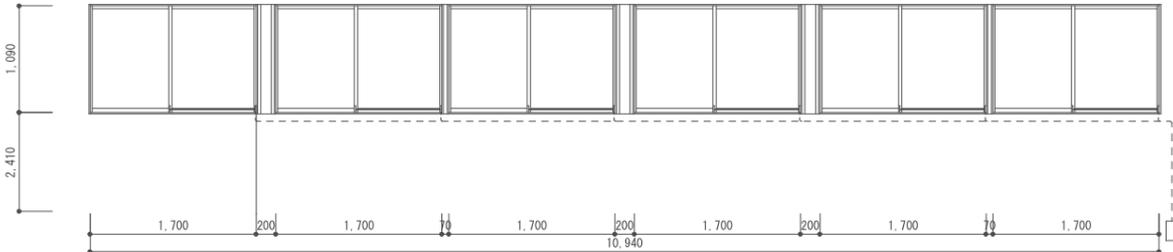
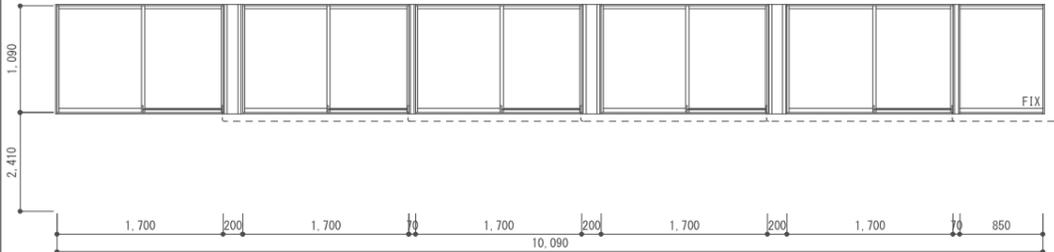
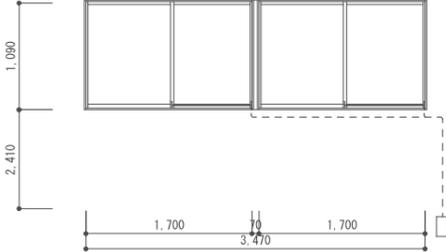
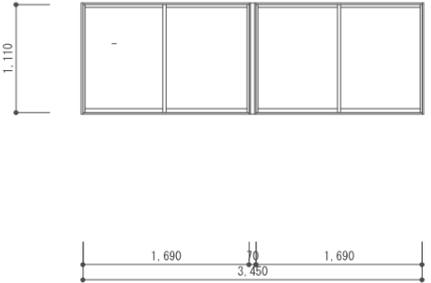
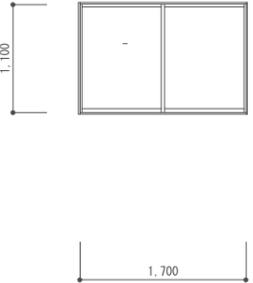
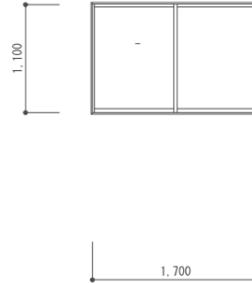
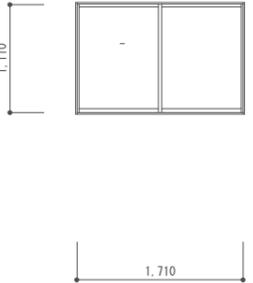
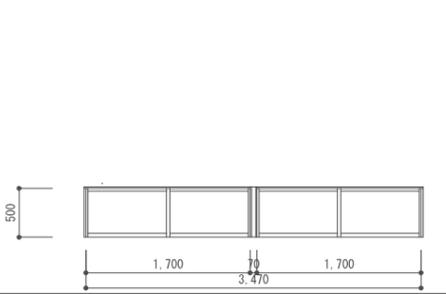
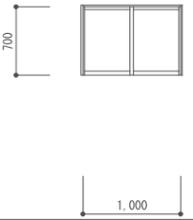
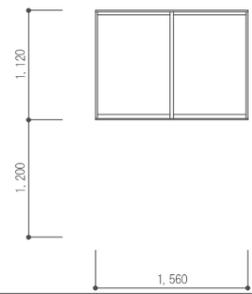
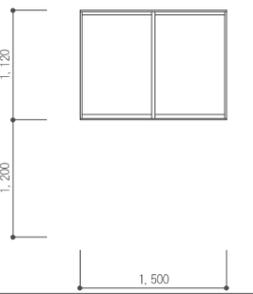
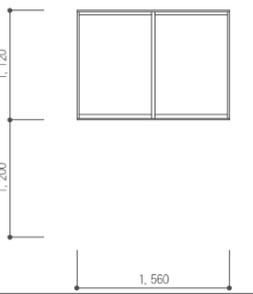
1 : 50

SHEET NO

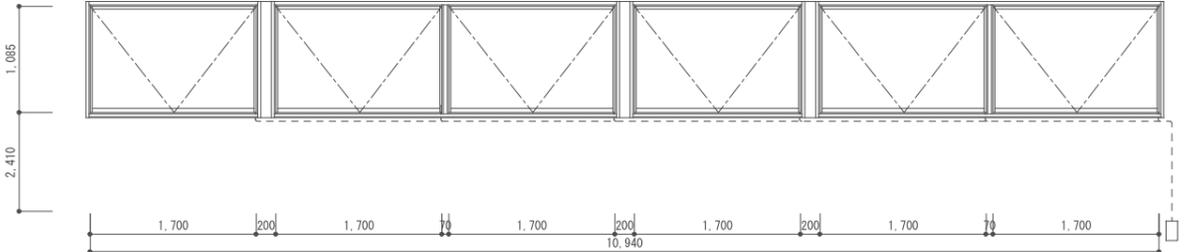
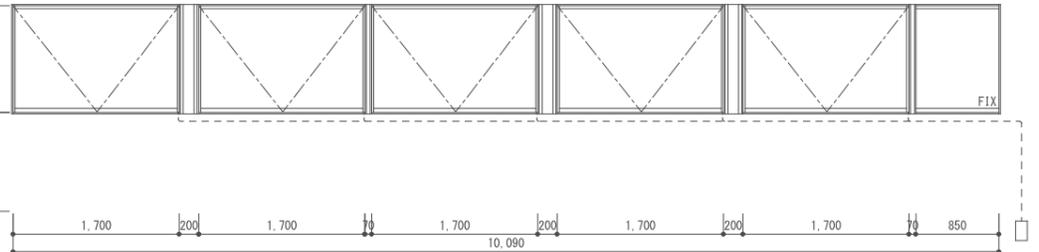
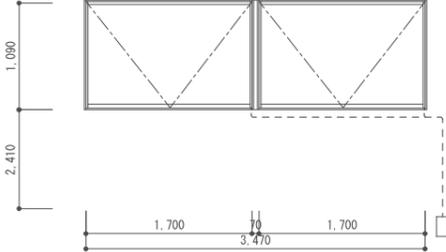
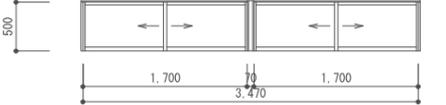
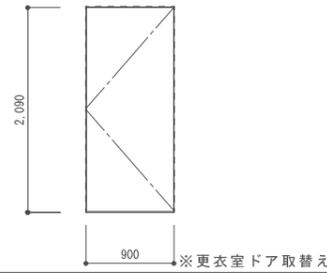
A-38

DAY

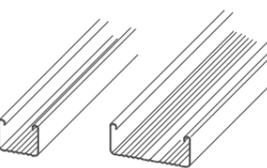
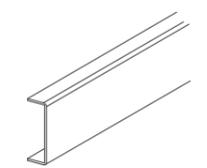
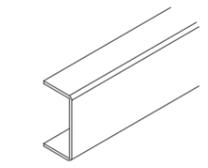
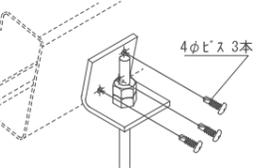
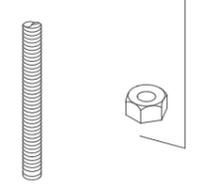
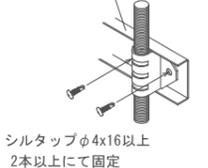
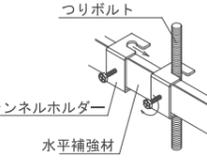
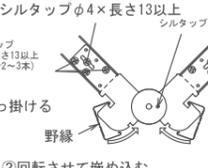
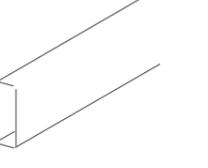
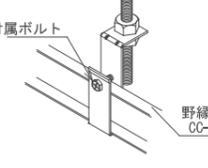
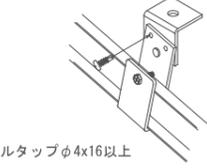
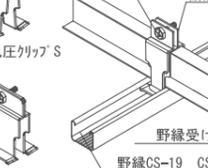
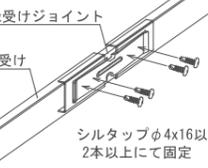
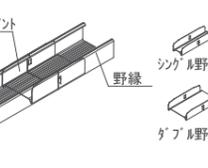
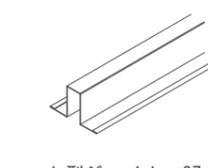
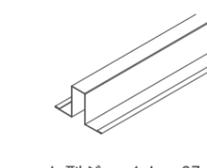
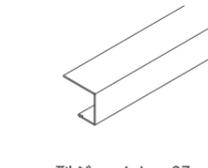
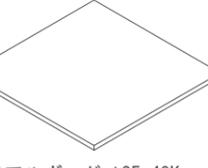
2024.12.05

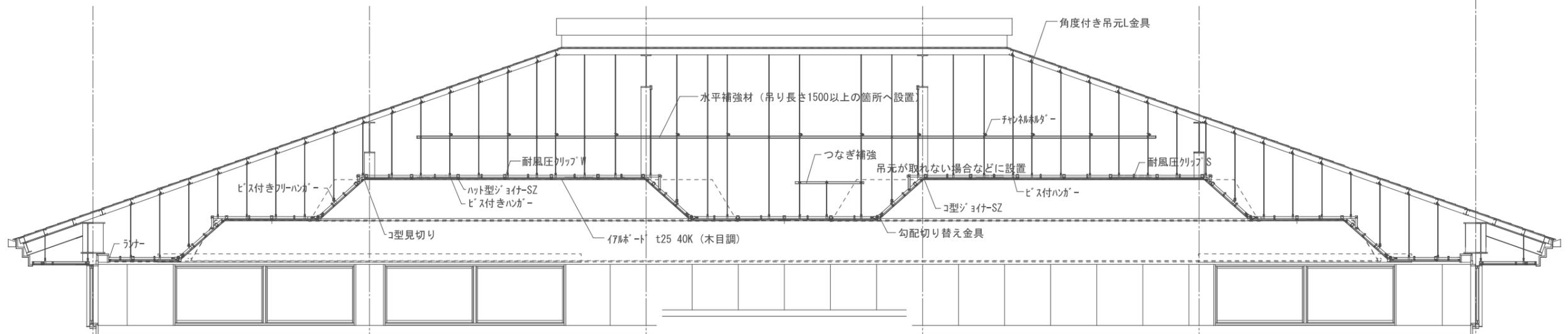
記号・数量  改修 × 1 武道館 柔道場					AW1' 改修 × 1 武道館 柔道場																								
式・見込	引違窓 7 0				式・見込	引違窓 7 0																							
材料・仕上	アルミ カラー 電解着色 (ブロンズ)				材料・仕上	アルミ カラー 電解着色 (ブロンズ)																							
硝子	5m/mフロート板硝子				硝子	5m/mフロート板硝子																							
金物	戸車 内部4方アングル、水切87、外部3方枠77×25、方立アルミ曲物、網戸(ステンネット)、オペレーター				金物	戸車 内部4方アングル、水切87、外部3方枠77×25、方立アルミ曲物、網戸(ステンネット)、オペレーター																							
備考	改修 別紙				備考	改修 別紙																							
記号・数量  改修 × 3 武道館 柔道場	AW3 × 1 武道館 男子便所	AW4 × 2 武道館 研修室, 事務室	AW4' × 3 武道館 女子便所, 更衣室, 器具庫	AW5 × 1 武道館 外部便所																									
式・見込	引違窓 7 0				式・見込	引違窓 7 0				式・見込	引違窓 7 0																		
材料・仕上	アルミ カラー 電解着色 (ブロンズ)				材料・仕上	アルミ カラー 電解着色 (ブロンズ)				材料・仕上	アルミ カラー 電解着色 (ブロンズ)																		
硝子	5m/mフロート板硝子				硝子	4m/m型板硝子				硝子	5m/mフロート板硝子																		
金物	戸車 内部4方アングル、水切87、外部3方枠77×25、方立アルミ曲物、網戸(ステンネット)、オペレーター				金物	クレセント、戸車 内部4方アングル、水切87、外部3方枠77×25、網戸(ステンネット) 張替				金物	クレセント、戸車 内部4方アングル、水切87、外部3方枠77×25、網戸(ステンネット) 張替																		
備考	改修 別紙				備考	改修: 網戸取付(1ヶ所)				備考	クレセント、戸車 内部4方アングル、水切87、外部3方枠77×25、改修: 網戸取付(事務所) カーテン撤去 新設																		
記号・数量  改修 × 7 武道館 柔道場	AW7 × 1 武道館 事務室	AW8 × 2 付属棟 廊下	AW9 × 2 付属棟 女更衣室	AW10 × 1 付属棟 女シャワー室	AW11 × 1 付属棟 男更衣室																								
式・見込	引違窓 7 0				式・見込	引違窓 7 0				式・見込	引違窓 7 0				式・見込	引違窓 7 0													
材料・仕上	アルミ カラー 電解着色 (ブロンズ)				材料・仕上	アルミ カラー 電解着色 (ブロンズ)				材料・仕上	アルミ カラー 電解着色 (ブロンズ)				材料・仕上	アルミ カラー 電解着色 (ブロンズ)													
硝子	6.8m/m網入り型板硝子 (改修ガラス2枚入替)				硝子	5m/mフロート板硝子				硝子	5m/mフロート板硝子				硝子	4m/m型板硝子													
金物	クレセント、戸車 内部4方アングル、水切87、外部3方枠77×25、方立アルミ曲物、網戸(ステンネット)、オペレーター 改修: 網戸1枚取付				金物	クレセント、戸車 内外アングル3方				金物	クレセント、戸車 内部4方アングル、水切87、外部3方枠77×25、				金物	クレセント、戸車 内部4方アングル、水切87、外部3方枠77×25、網戸(ステンネット) 張替													
備考	改修 別紙 網戸張替				備考	調整 カーテン撤去新設				備考	改修: 網戸取付(2ヶ所)				備考	調整 カーテン撤去新設													
					CHECK	DRAW		JOB NO	TITLE				SHEET NAME				SHEET NO												
								202409	令和6年度(明許繰越) 豊科武道館柔道場大規模改修工事				建具表-2				A-39												
													SCALE 1:50				DAY 2024.12.05												

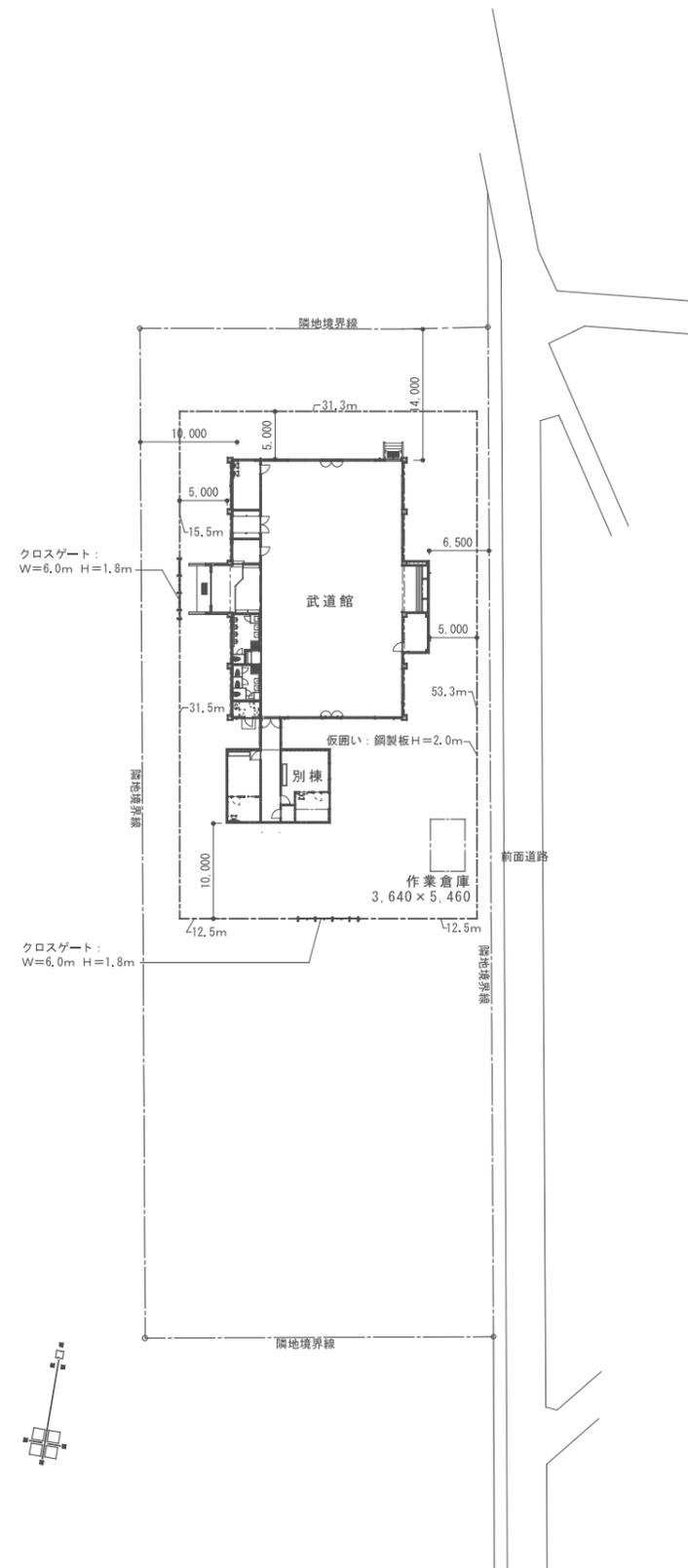
記号・数量	AW 12 × 1 付属棟 男更衣室								
姿図									
型式・見込	引込窓 70								
材料・仕上	アルミ カラー 電解着色 (ブロンズ)								
硝子	4m/m型板硝子								
金物	クレセント、戸車 内部4方アングル、水切87、 外部3方枠77×25、網戸(ステンネット) 張替								
備考	調整 カーテン撤去新設								
記号・数量	S 1 × 1 武道館 女子便所	S 2 × 1 武道館 男子便所	S 3 × 1 武道館 男子便所	S 4 × 1 付属棟 男シャワー室	S 5 × 1 付属棟 女シャワー室				
姿図									
型式・見込	木製フラッシュトイレスクリーン 40		木製フラッシュトイレスクリーン 40	木製フラッシュシャワーベース 40 撤去処分	木製フラッシュシャワーベース 40 撤去処分				
材料・仕上	シナベニヤフラッシュ OP		シナベニヤフラッシュ OP	シナベニヤフラッシュ OP	シナベニヤフラッシュ OP				
硝子	-		-	-	-				
金物	額縁(SUS304 t1.0)、足元壁支持金物:SUS304、 ラバトリーヒンジ、ラッチ式表示錠		額縁(SUS304 t1.0)、足元壁支持金物:SUS304、 ラバトリーヒンジ、ラッチ式表示錠	額縁(SUS304 t1.0)足元壁支持金物:SUS304、ラバトリーヒンジ	額縁(SUS304 t1.0)足元壁支持金物:SUS304、カーテンレール				
備考	既存のまま		既存のまま	シャワーカーテン	シャワーカーテン				
記号・数量	WD 1 × 1 武道館 上壇	WD 2 × 2 武道館 上壇	WD 3 × 2 武道館 柔道場 (姿見)			G 1 × 24 武道館 付属棟			
姿図									
型式・見込	観音開戸 36	両開戸 40	両開戸 37			地窓(床下換気口) 60			
材料・仕上	桧板張りフラッシュ (表面 シナベニヤ(7)4) CL	唐松集成材フラッシュ目透かし張り CL	唐松集成材フラッシュ目透かし張り OSC L			スチール 格子φ OP焼付塗装			
硝子	-		-			-			
金物	丁番、飾り取手、マグネットキャッチ、タイコ錠	丁番、埋込型取手、マグネットキャッチ	丁番、埋込型取手、マグネットキャッチ 内面 扉裏 錆貼り			付属金物一式			
備考	調整 CL塗装		調整 CL塗装			OP塗装			
				CHECK	DRAW	JOB NO	TITLE	SHEET NAME	SHEET NO
						202409	令和6年度(明許繰越) 豊科武道館柔道場大規模改修工事	建具表-3	A-40
								SCALE	DAY
								1:50	2024.12.05

記号・数量	 × 1 武道館柔道場	 × 1 武道館柔道場													
姿図															
型式・見込	外倒し連窓窓 100	外倒し連窓窓 100													
材料・仕上	アルミ カラー 電解着色 (ブロンズ)	アルミ カラー 電解着色 (ブロンズ)													
硝子	複層硝子:強化ガラス4m/m+エア-6m/m+ガラス3m/m	複層硝子:強化ガラス4m/m+エア-6m/m+ガラス3m/m													
金物	カバー工法 縦方立、障子滑車、ワイヤーストッパー、ダンパー、クランクアーム、網戸、付属金物一式	カバー工法 縦方立、障子滑車、ワイヤーストッパー、ダンパー、クランクアーム、網戸、付属金物一式													
備考	排煙オペレーター 暗幕撤去新設	排煙オペレーター 暗幕撤去新設													
記号・数量	 × 3 武道館柔道場	 × 7 武道館柔道場													
姿図															
型式・見込	外倒し連窓窓 100	引連窓 断熱内窓取付 100													
材料・仕上	アルミ カラー 電解着色 (ブロンズ)	樹脂複合サッシ													
硝子	複層硝子:強化ガラス4m/m+エア-6m/m+ガラス3m/m	複層硝子:強化ガラス4m/m+エア-6m/m+FLガラス3m/m													
金物	カバー工法 縦方立、障子滑車、ワイヤーストッパー、ダンパー、クランクアーム、網戸、付属金物一式	樹脂内窓取付 クレセント、戸車													
備考	排煙オペレーター 暗幕撤去新設	既存窓調整・内窓新設													
記号・数量	 × 1 武道館更衣室														
姿図															
型式・見込	軽量スチール製フラッシュ片開戸 枠見込86m/m ドア厚36m/m														
材料・仕上	扉面材:化粧鋼板 芯材:ペーパーコアU152種 枠:亜鉛メッキ鋼板(防錆塗装仕上げ) 枠:OP														
硝子	-														
金物	シリンダー錠、ステンレス丁番、 DC、ステンレス音摺(SUS304)2m/m 内外アンクル3方														
備考															
			<table border="1"> <tr> <td data-bbox="1463 1908 1567 2003">CHECK</td> <td data-bbox="1567 1908 1670 2003">DRAW</td> <td data-bbox="1670 1908 1774 2003">JOB NO 202409</td> <td data-bbox="1774 1908 2131 2003">TITLE 令和6年度(明許繰越) 豊科武道館柔道場大規模改修工事</td> <td data-bbox="2131 1908 2650 2003">SHEET NAME 改修建具表-1</td> <td data-bbox="2650 1908 2843 2003">SHEET NO A-41</td> </tr> <tr> <td colspan="4"></td> <td data-bbox="2131 1969 2650 2003">SCALE 1:50</td> <td data-bbox="2650 1969 2843 2003">DAY 2024.12.05</td> </tr> </table>	CHECK	DRAW	JOB NO 202409	TITLE 令和6年度(明許繰越) 豊科武道館柔道場大規模改修工事	SHEET NAME 改修建具表-1	SHEET NO A-41					SCALE 1:50	DAY 2024.12.05
CHECK	DRAW	JOB NO 202409	TITLE 令和6年度(明許繰越) 豊科武道館柔道場大規模改修工事	SHEET NAME 改修建具表-1	SHEET NO A-41										
				SCALE 1:50	DAY 2024.12.05										

部 材 表

 <p>野縁 (CW-19/CS-19)</p>	 <p>野縁受 (CC-19)</p>	 <p>水平補強材 (C-40×20× t 1.6)</p>	<p>3本打でない場合場合5φビス 2本</p>  <p>角度付き吊元L金具</p>	 <p>吊りボルト・ナット</p>
 <p>水平補強材 C-40×20× t 1.6</p> <p>シルタップφ4×長さ13以上 2本以上にて固定</p> <p>水平補強固定金具</p>	 <p>チャンネルホルダー</p> <p>水平補強材</p> <p>チャンネルホルダー</p>	<p>レベル調整用ビス (片側計1箇所) シルタップφ4×長さ13以上</p>  <p>①引っ掛ける 野縁</p> <p>②回転させて嵌め込む</p> <p>勾配切り替え金具</p>	 <p>野縁受 (CC-19)</p>	
 <p>付属ボルト</p> <p>野縁受CC-19 CC-25</p> <p>ビス付ハンガー</p>	 <p>シルタップφ4×長さ13以上</p> <p>ビス付フリーハンガー</p>	 <p>付属ボルト</p> <p>耐風圧クリップ</p> <p>耐風圧クリップ S</p> <p>耐風圧クリップ W</p> <p>野縁受け</p> <p>野縁CS-19 CS-25 CW-19 CW-25</p> <p>耐風圧クリップ</p>	 <p>野縁受けジョイント</p> <p>野縁受け</p> <p>シルタップφ4×長さ13以上 2本以上にて固定</p> <p>野縁受けジョイント</p>	 <p>野縁ジョイント</p> <p>野縁</p> <p>野縁ジョイント</p> <p>シングル野縁ジョイント19</p> <p>ダブル野縁ジョイント19</p>
<p>L=2730</p>  <p>ハット型ジョイナー-SZ-L</p>	<p>L=889</p>  <p>ハット型ジョイナー-SZ-S</p>	<p>L=2730</p>  <p>コ型ジョイナー-SZ</p>	<p>892×892 木目調</p>  <p>イアルボード t25 40K</p>	<p>φ4X13</p>  <p>スーパーフラットシルタップ</p>





仮設計画図 S=1/500

豊科武道館柔道場アスベスト調査業務委託

建材アスベスト含有分析

報告書番号	採取場所	試料名	分析結果
AS-240401	1. 基礎	モルタル	検出(クリソタイル)
AS-240402	2. 外壁、柱	仕上塗材	不検出
AS-240403	3. 軒天	ケイ酸カルシウム板	検出(クリソタイルアモサイト)
AS-240404	4. ボーヤ、玄関、物置壁 (床レンガタイル下)	モルタル	不検出
AS-240405	5. スロープ	モルタル	不検出
AS-240406	6. 屋根下地	ルーフィング	検出(アクリノライト)
AS-240407	7. 玄関 壁	仕上塗材	不検出
AS-240408	8. 玄関 壁	モルタル	不検出
AS-240409	9. 玄関 柔道場 天井	ロックウール吸音板+下地石膏ボード	不検出
AS-240410	10. 柔道場 天井	ロックウール吸音板(ラゾール)+下地石膏ボード	不検出
AS-240411	11. 更衣室ほか 天井	化粧石膏ボード	不検出
AS-240412	12. トイレ 外トイレ 床	ビニル床シート	不検出
AS-240413	13. トイレ 壁(改修部)	モルタル	不検出
AS-240414	14. トイレ 床(改修部)	モルタル	検出(クリソタイル)
AS-240415	15. トイレ 天井	繊維強化セメント板	検出(クリソタイル、アモサイト)
AS-240416	16. トイレ、シャワー室 (化粧石膏ボード下地)	モルタル	不検出
AS-240417	17. 男女更衣室 壁	石膏ボード	不検出
AS-240418	18. 男女更衣室 壁	壁紙	不検出
AS-240419	19. 男女シャワー室 (タイル下地)	モルタル	不検出
AS-240420	20. 廊下 折板屋根裏	折板屋根断熱材	不検出
AS-240421	21. ボイラ 室 床・壁	モルタル	不検出
AS-240422	22. 外壁	シーリング	不検出

みおなしアスベストで対応
 ①シャワー室、物入、通路、天井・・・ケイ酸カルシウム板
 ②トイレ壁のソフト巾木
 ③トイレ壁(ライニング部)のビニルタイル

			CHECK	DRAW	JOB NO 202409	TITLE 令和6年度(明許繰越) 豊科武道館柔道場大規模改修工事	SHEET NAME 仮設計画図・アスベスト調査結果表	SHEET NO A-43
							SCALE 1:500	DAY 2024.12.05

電気設備工事

I 工事概要

1 工事場所 安曇野市豊科5670

2 建物概要

建物名称	構造	階数	延面積 (㎡)	消防法施行令第1条第1号の区分	備考
豊科武道館柔道場	鉄骨造	地上1階			

3 工事種目 (○印のついたものを適用する。)

工事種目	項目	建物別及び屋外			
		地上	地下	屋外	その他
電灯設備	分岐	○	-	-	-
動力設備	幹線、分岐	○	-	-	-
電熱設備		-	-	-	-
雷保護設備		-	-	-	-
受変電設備		-	-	-	-
静止形電源設備	直流電源装置	-	-	-	-
発電設備		-	-	-	-
		-	-	-	-
		-	-	-	-
構内情報通信設備	LAN用配管	-	-	-	-
構内交換設備	電話設備	-	-	-	-
情報表示設備	時計設備	-	-	-	-
映像・音響設備		-	-	-	-
拡声設備		-	-	-	-
誘導支援設備	インターホン設備	-	-	-	-
テレビ共同受信設備		-	-	-	-
監視カメラ設備		-	-	-	-
駐車場管制設備		-	-	-	-
防犯・入室管理設備	予備配管	-	-	-	-
自動火災報知設備		○	-	-	-
自動閉鎖設備		-	-	-	-
非常警報設備		-	-	-	-
ガス漏れ警報設備		-	-	-	-
中央監視制御設備		-	-	-	-
		-	-	-	-
		-	-	-	-
構内配電線路		-	-	-	-
構内通信線路		-	-	-	-
昇降機設備		-	-	-	-

4 図面目録

番号	図面名称	番号	図面名称
1	表紙及び特記仕様書	21	
2	引込分電盤図	22	
3	冷暖房設備電源図	23	
4	換気設備電源図	24	
5	コンセント等改修図	25	
6	既設照明器具撤去図	26	
7	LED照明器具改修図	27	
8	照明器具姿図	28	
9	自動火災報知設備改修図	29	
10		30	
11		31	
12		32	
13		33	
14		34	
15		35	
16		36	
17		37	
18		38	
19		39	
20		40	

II 工事仕様

1 共通仕様

- 図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官庁官庁管轄の「公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編)(最新版)」(以下、「標準仕様書」という。),「公共建築改修工事標準仕様書(電気設備工事編)(最新版)」(以下、「改修標準仕様書」という。),及び「公共建築設備工事標準図(電気設備工事編)(最新版)」(以下、「標準図」という。)による。
- 機械設備工事及び建築工事を本工事に含む場合、機械設備工事及び建築工事はそれぞれの工事仕様書を採用する。

2 特記仕様

特記仕様は別紙「特記仕様書(共通事項)」によるほか次の各項目による。

- 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。
- 特記事項は、○印の付いたものを適用する。

項目	特記事項	
① 機材等	本工事に使用する設備機材等は、設計図書に規定するもの又は、これらと同等なものとする。ただし、これらと同等のものとする場合は、監督職員の承諾を受ける。	
② 機材の品質・性能証明	使用する機材が、社団法人・公共建築協会が発行する「建築材料・設備機材等品質性能評価事業設備機材等評価名簿」等によって所定の評価を受けている場合は、監督職員への機材の品質及び性能を有することの証明となる資料の提出を省略することができる。	
③ 化学物質を発生する建築材料等	本工事の建物内部に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、次の(1)から(5)を満たすものとする。 (1)合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、仕上り塗材及び壁紙は、ホルムアルデヒドを放射しないか、放射が極めて少ないものとする。 (2)保温材、緩衝材、断熱材はホルムアルデヒド及びビスフェンを放射しないか、放射が極めて少ないものとする。 (3)接着剤はフタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシルを含有しない揮発性の可塑剤を使用し、ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放射しないか、放射が極めて少ないものとする。 (4)塗料はホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放射しないか、放射が極めて少ないものとする。 (5)上記(1)、(3)及び(4)の建築材料等を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器等は、ホルムアルデヒドを放射しないか、放射が極めて少ないものとする。 なお、ホルムアルデヒドを放射しないものは放射量が規制対象外のもの、ホルムアルデヒドの放射が極めて少ないものは放射量が第三種のもの、原則として規制対象外のものを使用するものとする。 ただし、該当する材料等がない場合は、第三種のものを使用するものとする。 また、「ホルムアルデヒドの放射量」は、次のとおりとする。	
	ホルムアルデヒドの放射量	該当する建築材料
		①JIS及びJASのF☆☆☆☆規格品 ②建築基準法施行令第20条の7第4項による国土交通大臣認定品 ③下記表示のあるJAS規格品 a 非ホルムアルデヒド系接着剤使用 b 接着剤等不使用 c 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放射させない材料使用 d ホルムアルデヒドを放射させない塗料等使用 e 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放射させない塗料使用 f 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放射させない塗料等使用
	規制対象外	
	第三種	①JIS及びJASのF☆☆☆☆規格品 ②建築基準法施行令第20条の5第3項による国土交通大臣認定品 ③旧JISのE〇規格品 ④旧JISのF〇〇規格品
④ 電気保安技術者	電気事業法に定める自家用電気工作に係る工事においては、電気保安技術者をおき、電気工作物の保安の業務を行うものとする。	
⑤ 電気工事士	契約電力500kW以上の電気工作物においても、第一種電気工事士により施工を行う。	
⑥ 実施工程表及び施工計画書	(1)実施工程表、総合施工計画書は、工事着手に先立ち速やかに提出する。 (2)工種別の施工計画書は、当該工事に先立ち速やかに提出し、品質計画に係る部分は監督職員の承諾を受けること。	
⑦ 使用材料発注先調書	使用材料名、製造業者名、発注先等を記載した調書を作成し提出する。	
⑧ 発生材の処理	(1)引渡しを要するもの：無、有 () (2)引渡しを要するもの以外：構外搬出、関係法令により適切に処理をする。 (3)特別管理産業廃棄物：無、有 () (4)再利用又は再資源化を図るもの：無、有 (・コンクリート・木材・アスファルト・金属くず・ダンボール類)	
9 監督員事務所	・設けない、・設ける(規模：)	
⑩ 工事用仮設備	すべて請負者の負担とする。 構内に作ることが、できる、できない	
⑪ 足場・さん橋類	○別契約の関係請負者が定置したものは、無償で使用できる。 ・本工事で設置する。 ・内部仮設足場等(・架台足場・移動式足場・移動式室内足場) ・外部仮設足場等(・A種・B種・C種・D種)・防護シート ()	
⑫ 工事用電力・水・その他	本工事に必要な工事用電力、水等の費用及び官公署その他の関係機関への諸手続等に要する費用は請負者の負担とする。	
⑬ 工事写真	工事の着手に先立ち、撮影計画の作成を行い、監督職員へ提出すること。	
⑭ しゅん工時提出物	標準仕様書及び別表による。	
⑮ 再使用機器	取外し再使用機器は、原則として清掃及び絶縁抵抗測定を行った後取り付ける。ただし、絶縁劣化等で使用に耐えない場合は、監督職員に報告する。	
⑯ 耐震施工	設備機器の固定は、「建築設備耐震設計・施工指針2005版(国土交通省国土技術政策総合研究所・独立行政法人建築研究所監修)」による。なお、施工に際し、耐震強度計算書を監督職員へ提出し、承諾を受けるものとする。 (1)設計用水平地震力 機器の重量 [kgf] に、設計用標準水平地震度を乗じたものとする。 なお、特記なき場合、設計用標準水平地震度は次による。	

項目	特記事項				
	重要機器	一般機器	重要機器	一般機器	
設計用標準水平地震度	設計用標準水平地震度				
設置場所	機器種別	特定の施設		一般の施設	
上層階、屋上及び塔屋	機器	2.0	1.5	1.5	1.0
	防振支持の機器	2.0	2.0	2.0	1.5
	水槽類(※1)	2.0	1.5	1.5	1.0
中間階	機器	1.5	1.0	1.0	0.6
	防振支持の機器	1.5	1.5	1.5	1.0
	水槽類(※1)	1.5	1.0	1.0	0.6
地下1階	機器	1.0	0.6	0.6	0.4
	防振支持の機器	1.0	1.0	1.0	0.6
	水槽類(※1)	1.5	1.0	1.0	0.6
	(※1)水槽類にはオイルタンク等を含む。				
	◎重要機器の定義は次による。 ・受変電設備 ・発電設備 ・直流電源設備 ・交流無停電電源装置 ・交換機 ・自動火災報知受信機 ・中央監視装置				
	◎上層階の定義は次による。 2~6階建の場合は最上階、7~9階建の場合は上層2階、10~12階建の場合は上層3階、13階以上の場合は上層4階とする。				
	(2)設計用鉛直地震力 設計用水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。				
① あと施工アンカー	(1)重要機器類は公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)8章の2節8.2.4及び11節による。 (2)上記以外の機器類は建築工事改修仕様書6章による。 (引抜き試験を ・実施する ・実施しない)				
⑤ 防火区画等の貫通処理	電線等が、防火区画又は防火上主要な間仕切りを貫通する場合の施工状況について、貫通箇所の両面から写真撮影し、工事写真として提出する。				
⑬ 電線・ケーブル	(1)EM-EFFは紫外線による劣化を抑制する性能を持たせ、「リジドイテン EM-EFF」と表記されたものを使用する。 (2)EM-UTPは JIS X 5150「構内情報配線システム」に準じ、絶縁材料及びシースにJIS規格によるEMケーブルの耐燃性ポリエチレンを用いたもの。				
20 予備配管	埋込分電盤からの立上り予備配管は、予備の配線用遮断器4個以下の場合には(25)を1本5個以上の場合は(25)を2本、天井まで立上げる。				
② 呼び線	長さ1m以上の入線しない電線管には、1.2mm以上のビニル被覆鉄線を挿入する。				
⑫ 金属製電線管の塗装	下記の露出配管は塗装を行う。 ・屋外 ・屋内 ()				
⑫ 埋め戻し土	・種別 ・A種 ・B種 ・C種 ・D種 ・管の下部は50mm以上砂を敷きならし、管の上部100mm以上砂を用いて締め固める				
⑫ 建設発生土の処理	○構外搬出処理 ・構内の指定場所に敷き均し				
⑬ ケーブル埋設票	(1) 地中線路には、ケーブル埋設票をもうける。 ・鉄製 ・コンクリート製 (2) 低圧地中配線にあつても地中線路設置確認シートを敷設する。				
⑮ ブルボックス	(1) 露出するブルボックスの本体及びふたの仕上げは、メラミン焼付塗装とする。 (2) 露出するブルボックスのふたの止めねじは化粧ビスとする。				
⑯ フラッシュプレート	図面に特記あるもの及び特殊なものを除き ○金属製 ・樹脂製				
⑲ プレートの用途表示	ブルボックス、ジョイントボックス及び機器を実装しないプレートには、用途を明示した略稱をつける。				
⑲ 配線器具	タンブラススイッチは適用形とする。ただし、2口の場合は複式を使用して良い。また(2P15A)以外はすべてキャップとする。				
⑳ フロアコンセント	・直付(ビス止め)型上下式(・銅合金製 ・アルミ製)とする ・直付(ビス止め)型垂直上下式(銅合金製)とする				
⑪ 機器への接続	本工事の動力制御盤より別途電動機等への配線の接続は本工事とする。				
⑫ 照度測定	(1) 非常用照明の照度測定は設置後速やかに行い、監督職員に報告する。 (2) 学校施設における室内照度測定(測定教室： 個所、測定黑板面： 個所) ※教室の照度は、1教室当たり机上面9か所、黑板垂直面9か所で測定する				
⑬ 盤類	(1) 分電盤等の図面ホルダーに、単線結線図・絶縁抵抗測定表・接地抵抗測定表を収納する。 (2) 端子盤には、線番表・結線表を備え付ける。				
⑮ グリーン購入の推進	長野県グリーン購入推進方針に基づく調達項目 <資材> ・照明制御システム ・変圧器 () <建設機器> ・排出ガス対策型建設機器 ・低騒音型建設機器				
⑮ 他工事又は他工種との取り合い	工事区分表(平成 年版)による。ただしこれにより難い場合は監督職員と協議する。				
⑯ その他及び電子納品	保険等の各種措置及び電子納品については、別添「特記仕様書(共通事項)」による。 (長野県公式ホームページ(電子入札システム)に掲載される、当該入札公告の添付図書)				

(別表) しゅん工時提出物 (・に○印のついたものを提出する。)

個別提出物	一括提出物
1 完成図 ・原図(A1版 ケース入り) ・縮図(A1 2つ折り製本 1部) ・マイクロフィルム (オーバーチュアカード貼付 台紙は黄色)	5 機器完成図
○CADデータ	6 工事写真
2 設計図 ・マイクロフィルム (オーバーチュアカード貼付 台紙は青色)	7 完成写真
3 引渡書	8 工事記録 (打合せ簿、工事日誌、協議書)
4 納入品 ○予備品 ・ハンドホールフック、ジャッキ ○塗料の罐	9 機材の試験成績書
	10 施工の試験成績書
	11 社内試験成績書
	12 発生材処理報告書 (廃棄物処理実施書・運搬及び処理の委託契約書の写し・マニフェストの写し、フロー図)
	13 納入品一覧表
	14 官公署手続、検査書(管理者用正本、写し)
	15 保全に関する資料(取扱い説明書も含む)

3 ハンドホール

下表による。(梯子は各ハンドホールに設置する。蓋取外し用ジャッキを1組納入する。)
ブロックハンドホール(寸法は内法を示す。底部とはハンドホール内側底部をいう。)
・コンクリート相互間などは、エポキシ系樹脂接着剤により接着する。
・ブロックの仕様は国土交通省仕様にも準ずるものとする。

	ハンドホール No.-	1,500×1,500×1,500D 蓋 WPM-60A (Eマーク入)	底部 GL-1,740以上 (アルミ梯子付)
	ハンドホール No.-	1,200×1,200×1,500D 蓋 WPM-60A (Eマーク入)	底部 GL-1,700以上 (アルミ梯子付)
	ハンドホール No.-	1,000×1,000×1,400D 蓋 WPM-60A (Eマーク入)	底部 GL-1,600以上 (アルミ梯子付)
	ハンドホール No.-	1,000×1,000×1,100D 蓋 WPM-60A (Eマーク入)	底部 GL-1,300以上 (アルミ梯子付)
	ハンドホール No.-	1,000×1,000×900D 蓋 WPM-60A (Eマーク入)	底部 GL-1,060以上 (アルミ梯子付)
	ハンドホール No.-	900×900×1,100D 蓋 WPM-60A (Eマーク入)	底部 GL-1,260以上 (アルミ梯子付)
	ハンドホール No.-	900×900×900D 蓋 WPM-60A (Eマーク入)	底部 GL-1,060以上 (既設足場付)
	ハンドホール No.-	600×600×680D 蓋 WPM-60A (Eマーク入)	(既設足場付)
	ハンドホール No.-	450×450×680D 蓋 WPM-45B (Eマーク入)	※柱載等車庫の通行の恐れがない場所、 収容ケーブルが少ない場所に限る

4 接地極

下表による。ただし、これによりがたい場合は監督員との協議による。

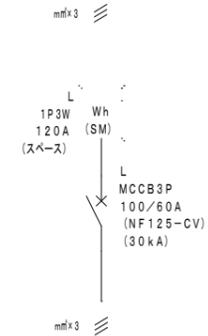
	A種接地	鋼板1.5t×900×900 リード端子付 埋附埋戻中心深さ2m	補助接地棒(連結式10φ×1,500) 埋設棒(貴銅製又はステンレス製)
	B種接地	鋼板1.5t×600×600 リード端子付 埋附埋戻中心深さ2m	補助接地棒(連結式10φ×1,500) 埋設棒(貴銅製又はステンレス製)
	C種接地	鋼板1.5t×300×300 リード端子付 埋附埋戻中心深さ1.5m	補助接地棒(連結式10φ×1,500) 埋設棒(貴銅製又はステンレス製)
○	D種接地	接地棒(10φ×1,500)	リード端子付 打ち込み式 埋設棒(貴銅製又はステンレス製)

5 機器取付高

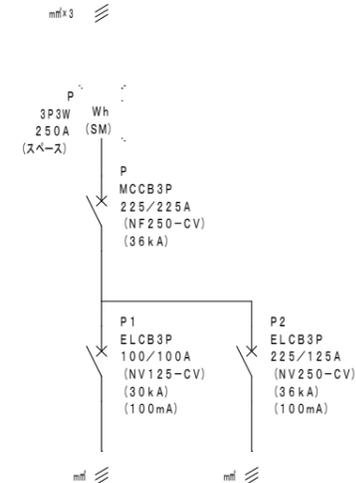
図面に特記なきものは下表を標準とする。但し下表によりがたい場合には監督員との協議による。

	名称	測点	取付高(mm)		名称	測点	取付高(mm)
共 通	取引用計器	地上~上端	2,000	時計・ 拡声	壁掛形時計	床上~中心	1,500 (上端1,900以下)
	引込分電盤	床上~上端	1,800		子時計	"	"
		床上~中心	1,500		壁掛形スピーカ	"	"
					アツテネーター	"	1,300
電 灯	分電盤	床上~中心	1,500 (上端1,900以下)	表	表示盤	床上~中心	(天井高)×0.9
	タンブラススイッチ (身障者用)	"	1,300		ベ発信器	"	1,300
	コンセント(一般)	"	300	プザール	"	(天井高)×0.9	
	"(和室)	"	150	押ボタン	"	1,300	
	"(便所等)	"	500	"(身障者用押印)	"	900	
	"(台上)	台上~中心	150	身障者用表示灯	"	2,000	
	ブラケット(一般)	床上~中心	2,100	復帰ボタン	"	1,800	
動 力	"(隔場)	"	2,500	イン タ ー	壁付インターホン (壁付位置ボックスを除く)	床上~中心	1,500
	"(線路)	線路~中心	150		"	"	1,100
	避難口誘導灯	床上~上端	1,500以上	動 作 力	壁掛形制御盤	床上~中心	1,500 (上端1,900以下)
	廊下通路誘導灯	床上~下端	1,000以下		手元閉閉器	"	1,500
				操作スイッチ・ 押ボタン	"	1,300	
電 話	室内端子盤 (廊下・室内)	床上~下端	300	テ レ ビ 共 同 受 信	機器収容箱 アウトレット	床上~中心	(天井高)×0.9
	中階端子盤 (EPS・電気室)	床上~中心	1,500		"	"	300
	集合保安器箱 壁付アウトレット ボックス(一般)	"	300		"	"	150
				火 災 報 知	受信機	床上~操作部	800~1,500
					副受信機	床上~中心	800~1,500
					機器収容箱	床上~中心	800~1,500
					発信器	"	800~1,500
					消火栓表示灯	"	(天井高)×0.9
							(天井高)×0.8

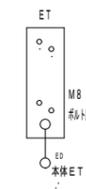
AC1φ3W 100/200V 60Hz



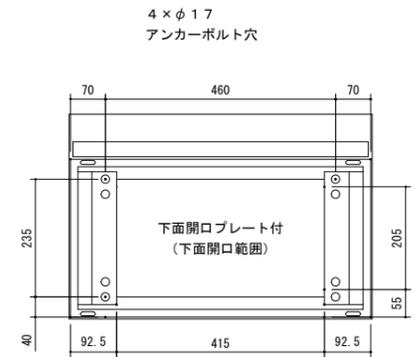
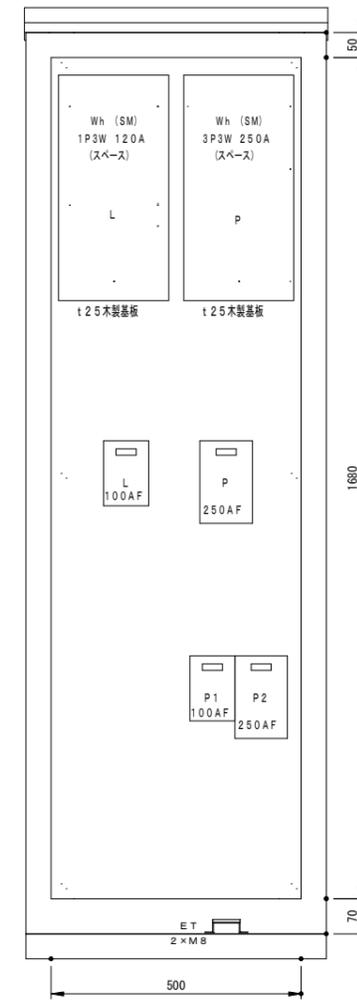
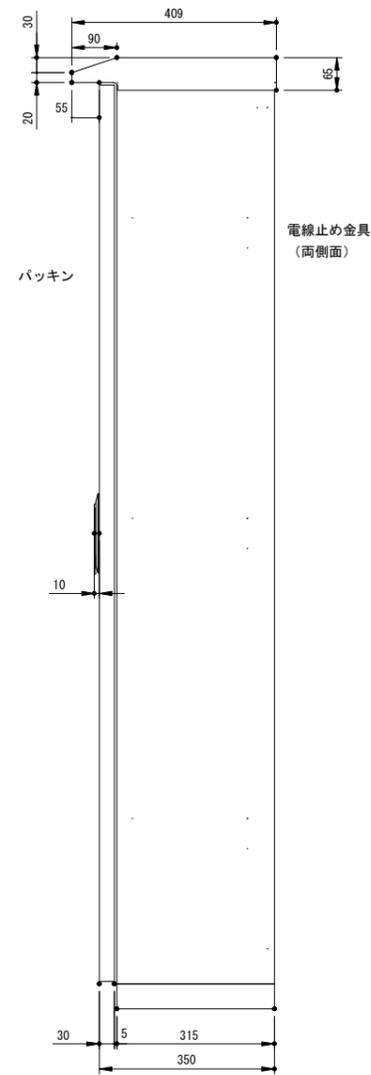
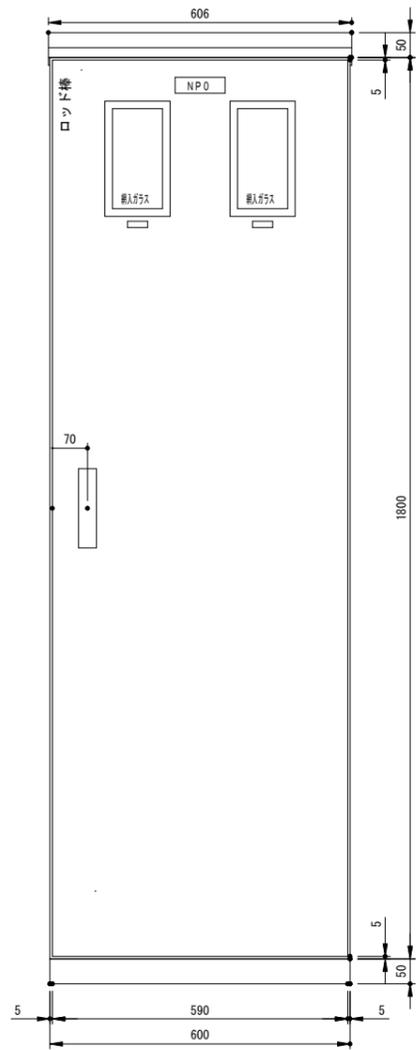
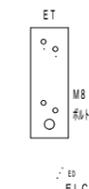
AC3φ3W 200V 60Hz



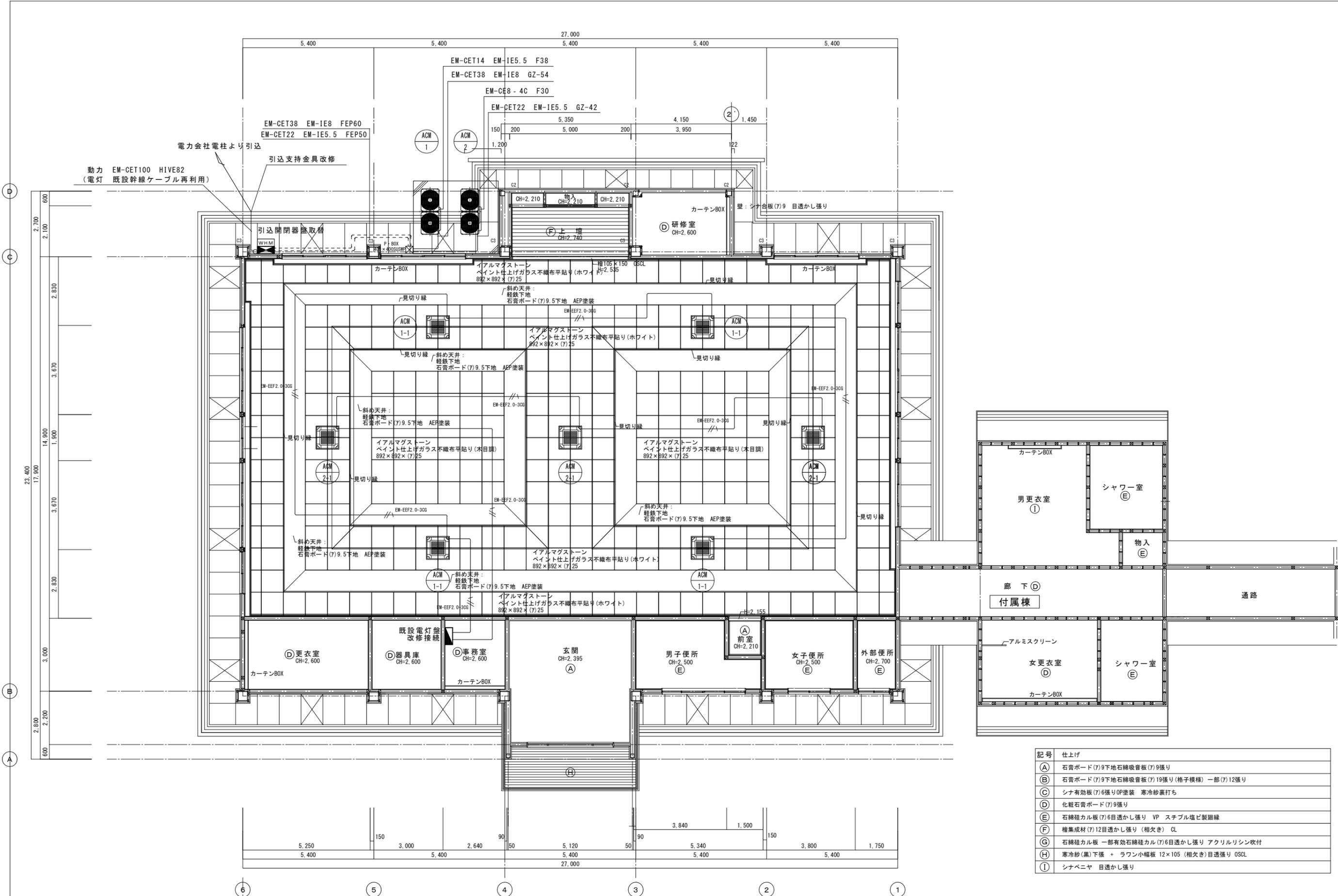
※必要時必要箇所へ取付
7-スネジ (各分岐数分)



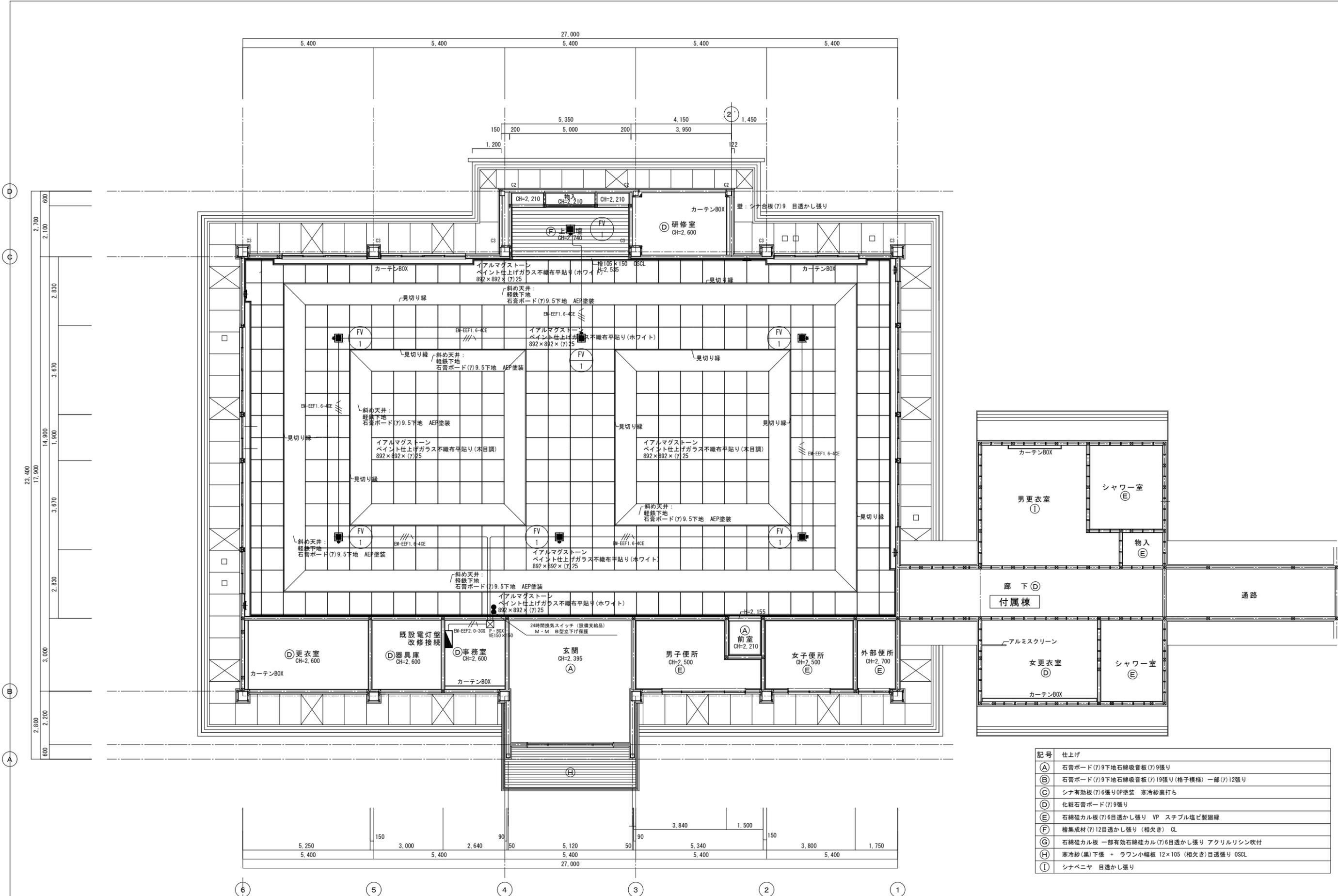
※必要時必要箇所へ取付
7-スネジ (各分岐数分)



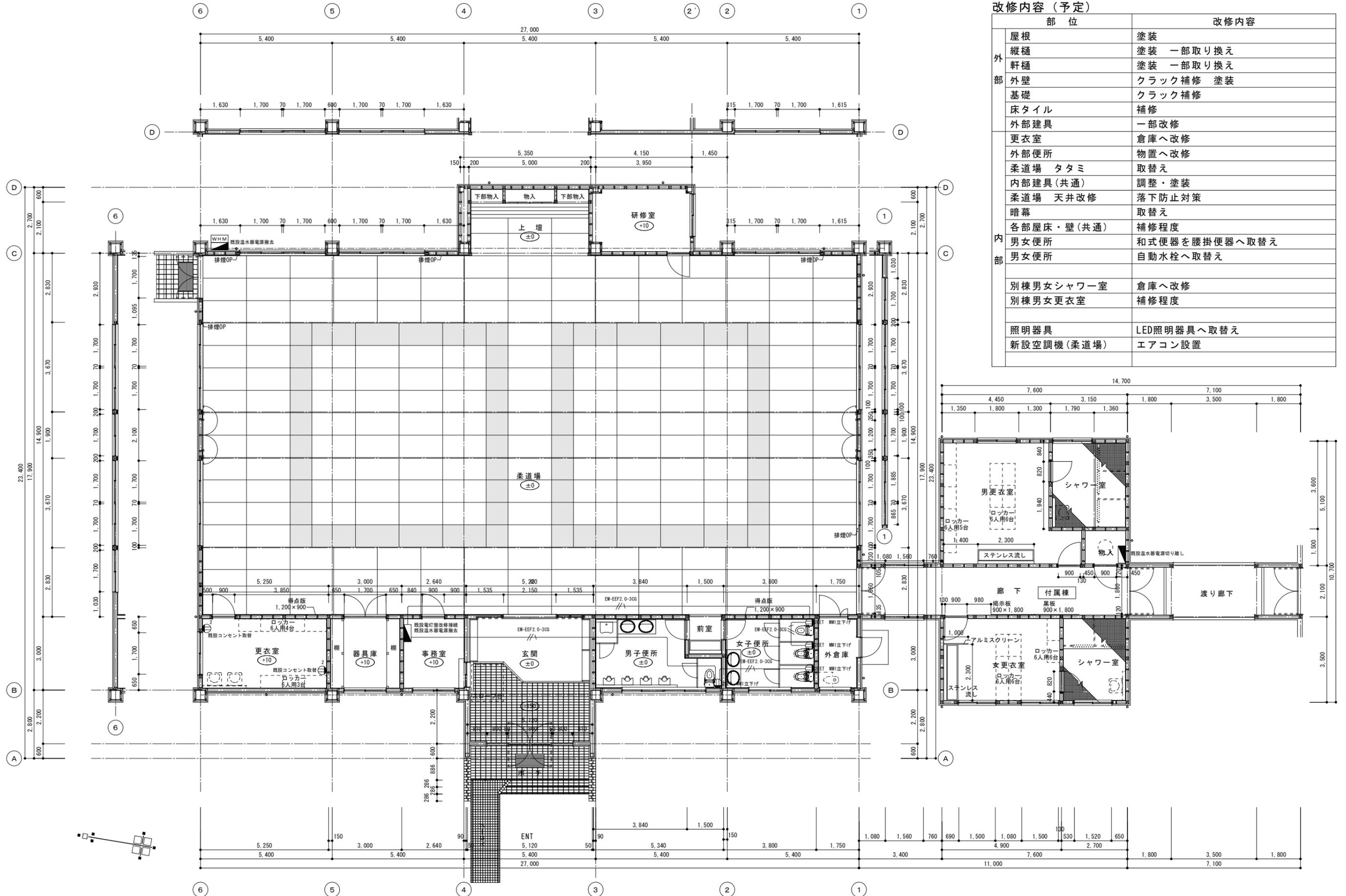
			CHECK	DRAW	JOB NO	TITLE	SHEET NAME	SHEET NO
					202409	令和6年度(明許繰越) 豊科武道館柔道場大規模改修工事	引込分電盤図	E-02
							SCALE	DAY
							1:100	2024.11.



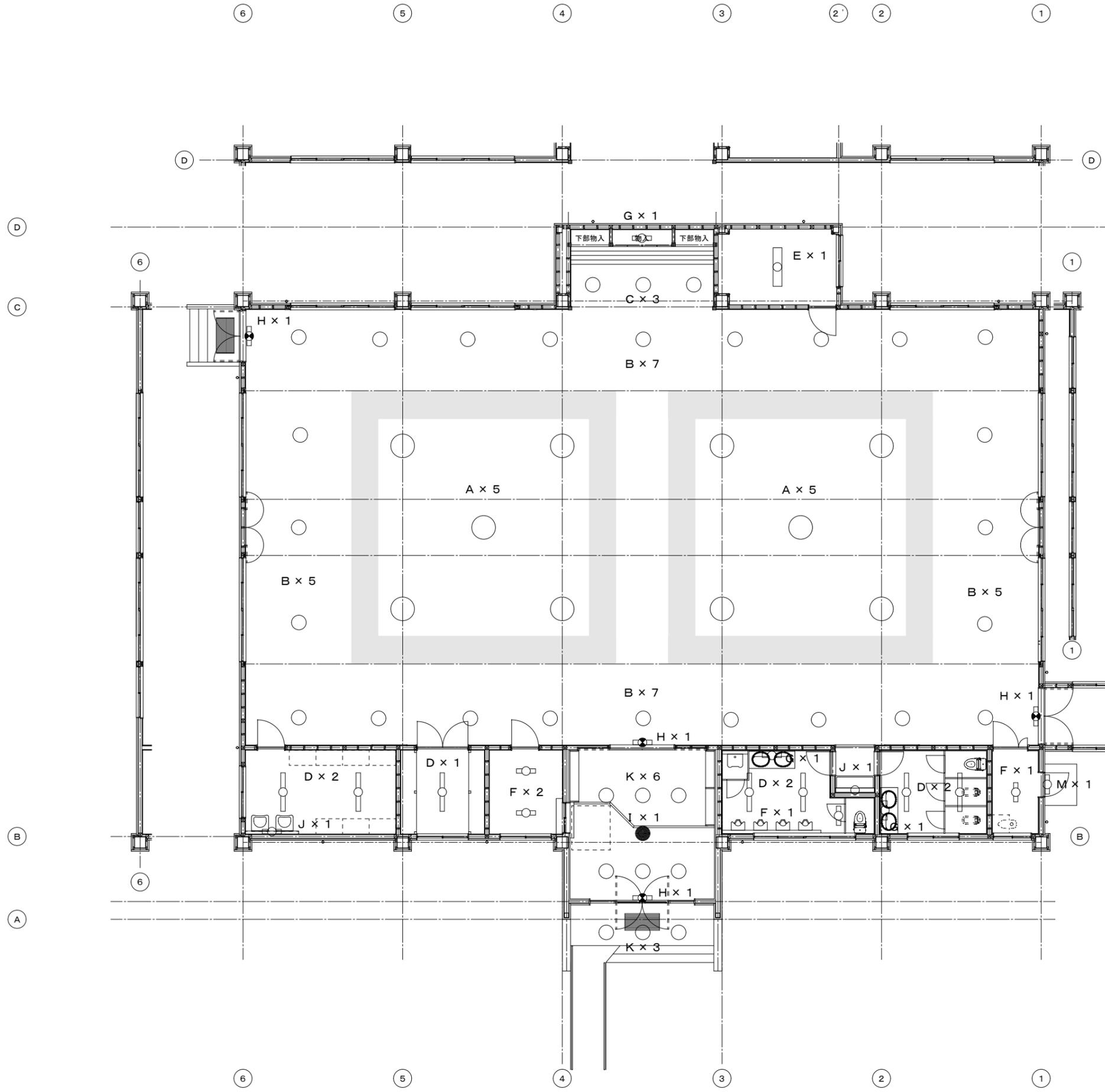
記号	仕上げ
(A)	石膏ボード(7)9下地石綿吸音板(7)9張り
(B)	石膏ボード(7)9下地石綿吸音板(7)19張り(格子模様)一部(7)12張り
(C)	シナ有効板(7)6張りOP塗装 寒冷紗裏打ち
(D)	化粧石膏ボード(7)9張り
(E)	石綿珪カル板(7)6目透かし張り VP スチール塩ビ製廻縁
(F)	檜集成材(7)12目透かし張り(相欠き) CL
(G)	石綿珪カル板 一部有効石綿珪カル(7)6目透かし張り アクリルリシン吹付
(H)	寒冷紗(黒)下張 + ラワン小幅板 12×105(相欠き)目透張り OSCL
(I)	シナベニヤ 目透かし張り



記号	仕上げ
(A)	石膏ボード(7)9下地石綿吸音板(7)9張り
(B)	石膏ボード(7)9下地石綿吸音板(7)19張り(格子模様)一部(7)12張り
(C)	シナ有効板(7)6張りOP塗装 寒冷紗裏打ち
(D)	化粧石膏ボード(7)9張り
(E)	石綿珪カル板(7)6目透かし張り VP スチブル塩ビ製廻縁
(F)	檜集成材(7)12目透かし張り(相欠き) CL
(G)	石綿珪カル板 一部有効石綿珪カル(7)6目透かし張り アクリルリシン吹付
(H)	寒冷紗(黒)下張 + ラワン小幅板 12×105(相欠き)目透張り OSCL
(I)	シナベニヤ 目透かし張り

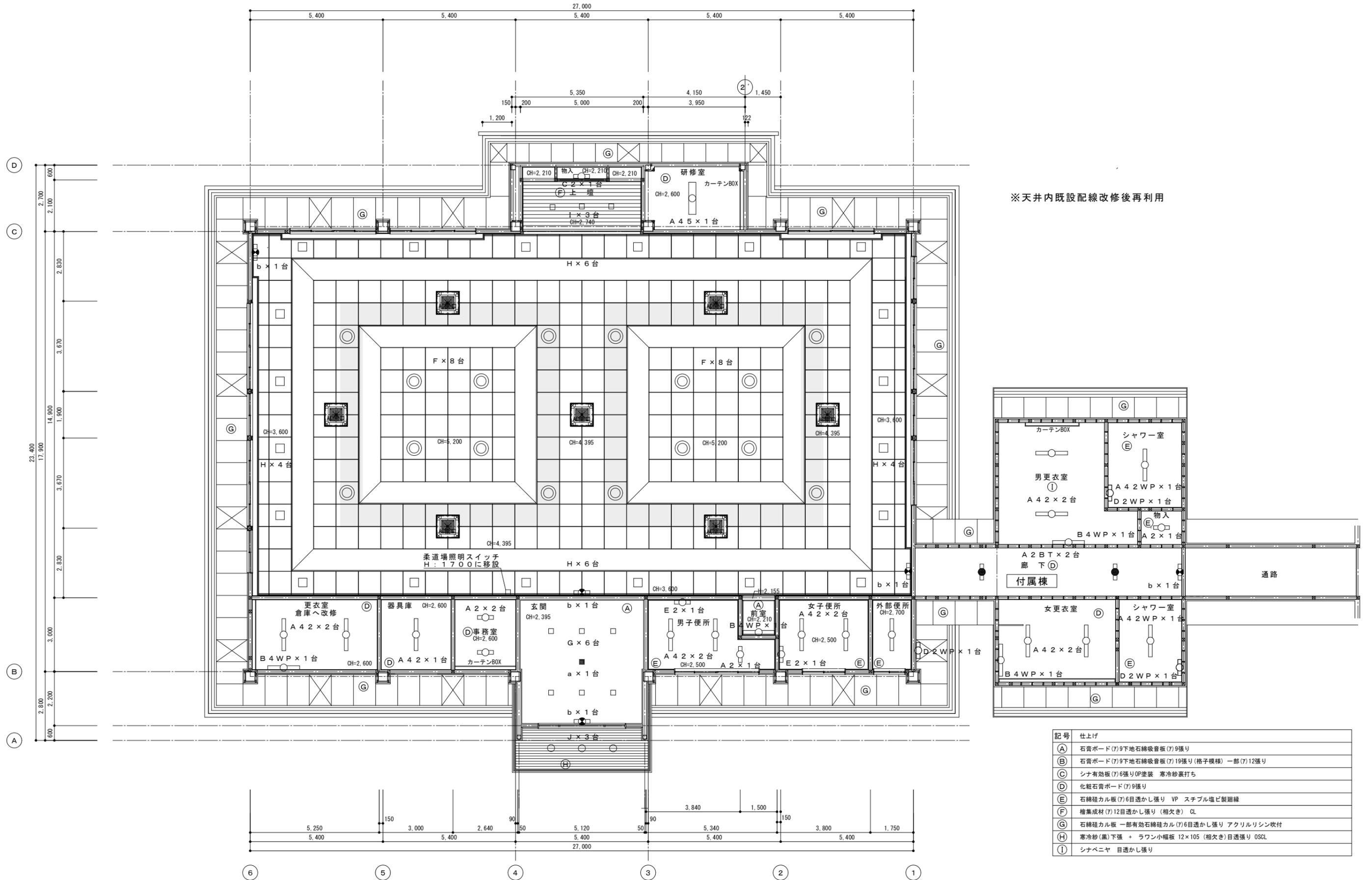


改修内容 (予定)		
部位	改修内容	
外部	屋根	塗装
	縦樋	塗装 一部取り換え
	軒樋	塗装 一部取り換え
	外壁	クラック補修 塗装
	基礎	クラック補修
	床タイル	補修
	外部建具	一部改修
	更衣室	倉庫へ改修
	外部便所	物置へ改修
	柔道場 タタミ	取替え
内部	内部建具 (共通)	調整・塗装
	柔道場 天井改修	落下防止対策
	暗幕	取替え
	各部屋床・壁 (共通)	補修程度
	男女便所	和式便器を腰掛便器へ取替え
	男女便所	自動水栓へ取替え
	別棟男女シャワー室	倉庫へ改修
	別棟男女更衣室	補修程度
	照明器具	LED照明器具へ取替え
	新設空調機 (柔道場)	エアコン設置



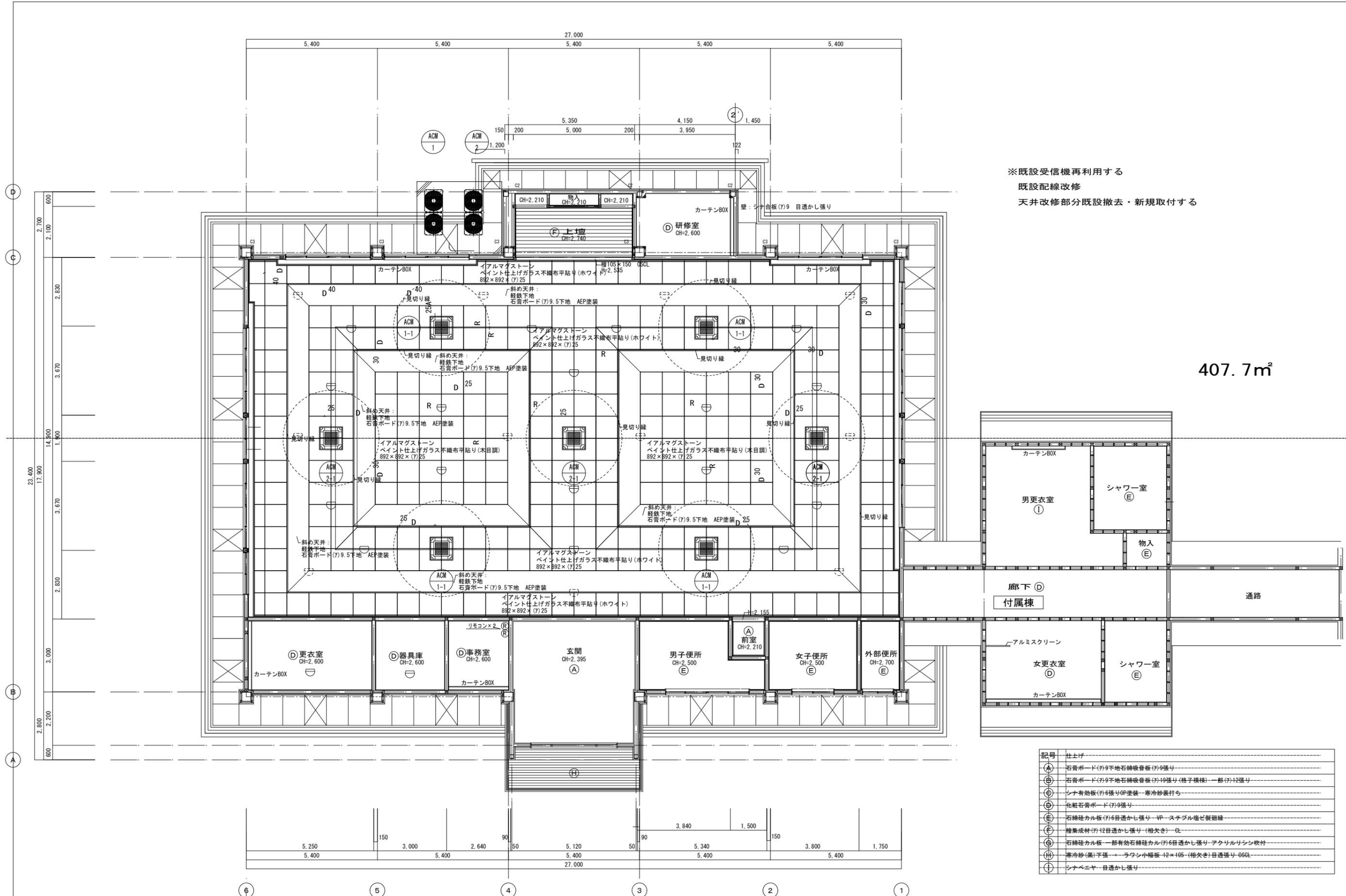
既設照明器具（撤去）

照明器具	照明器具内容
A 埋込型水銀灯	H I D 400W 電動昇降装置付
B 埋込型白熱灯	I L 80W
C 埋込型蛍光灯	F U L 13W
D 直付型蛍光灯	F L 40W x 1
E 直付型蛍光灯	F L 40W x 2
F 直付型蛍光灯	F L 20W x 1
G 壁付型蛍光灯	F L 20W x 1
H 直付型誘導灯	F L 20W x 1 予備電源内蔵型
I 埋込型非常灯	I L 20W 予備電源内蔵型
J 壁付型蛍光灯	F L 40W x 1
K 埋込型白熱灯	I L 60W
L 直付型蛍光灯	F L 40W x 1
M 壁付型蛍光灯	F L 20W x 1
N 直付型非常灯	F L 20W x 1 予備電源内蔵型



※天井内既設配線改修後再利用

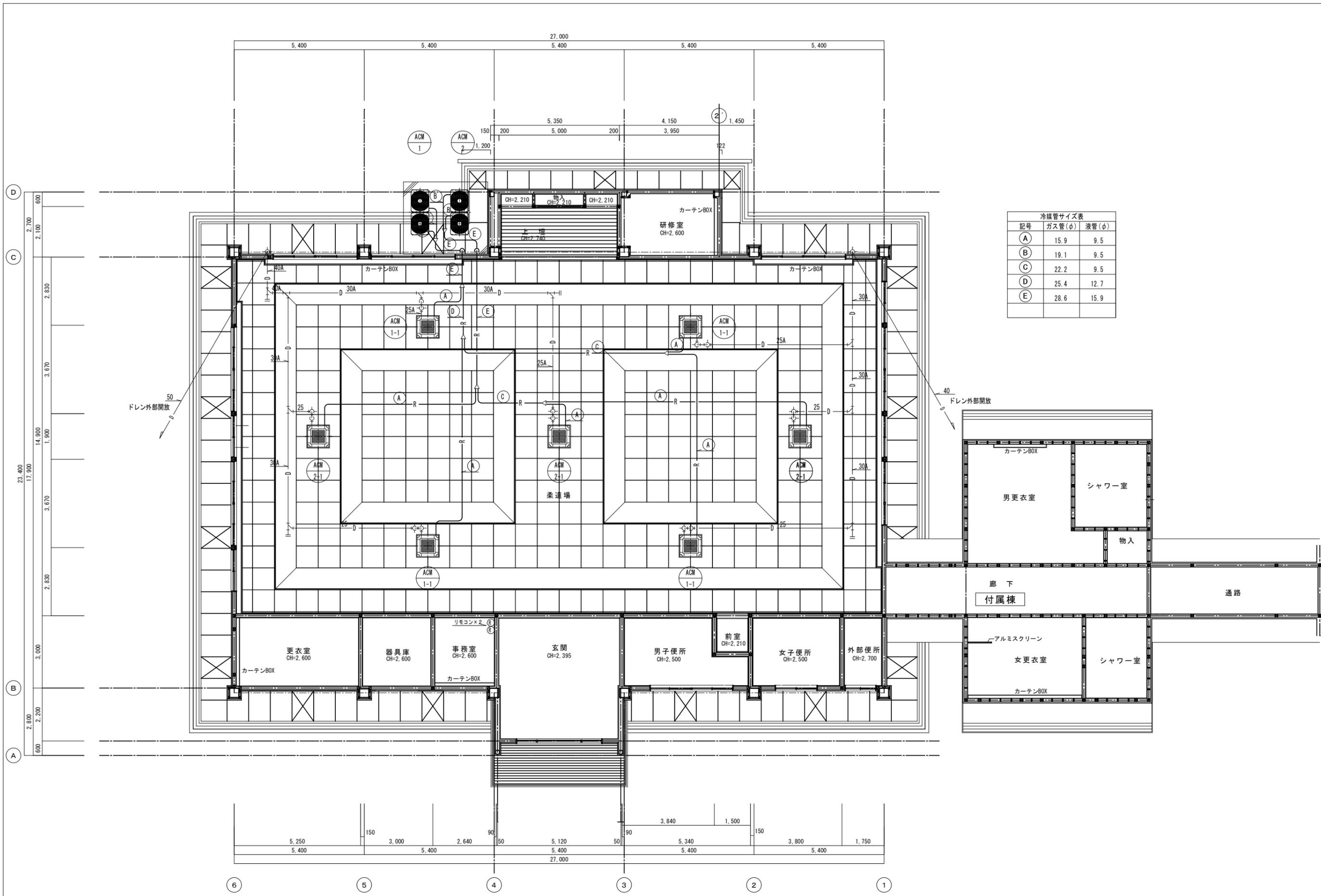
記号	仕上げ
(A)	石膏ボード(7)9下地石綿吸音板(7)9張り
(B)	石膏ボード(7)9下地石綿吸音板(7)19張り(格子模様)一部(7)12張り
(C)	シナ有効板(7)6張りOP塗装 寒冷紗裏打ち
(D)	化粧石膏ボード(7)9張り
(E)	石綿硅カル板(7)6目透かし張り VP スチブル塩ビ製廻縁
(F)	檜集成材(7)12目透かし張り(相欠き) CL
(G)	石綿硅カル板 一部有効石綿硅カル(7)6目透かし張り アクリルリシン吹付
(H)	寒冷紗(黒)下張 + ラワン小幅板 12×105(相欠き)目透張り OSCL
(I)	シナベニヤ 目透かし張り



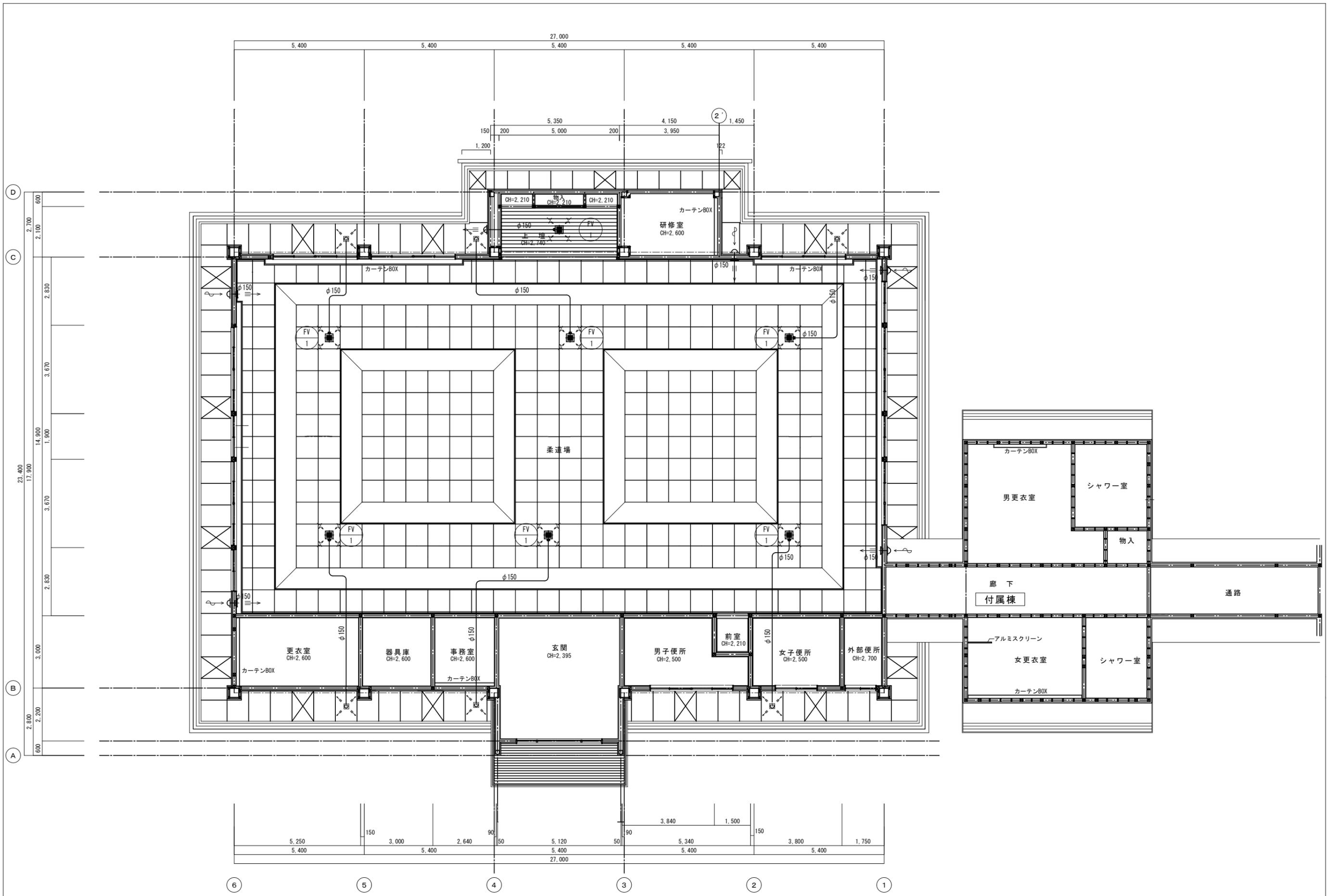
※既設受信機再利用する
既設配線改修
天井改修部分既設撤去・新規取付する

407.7m²

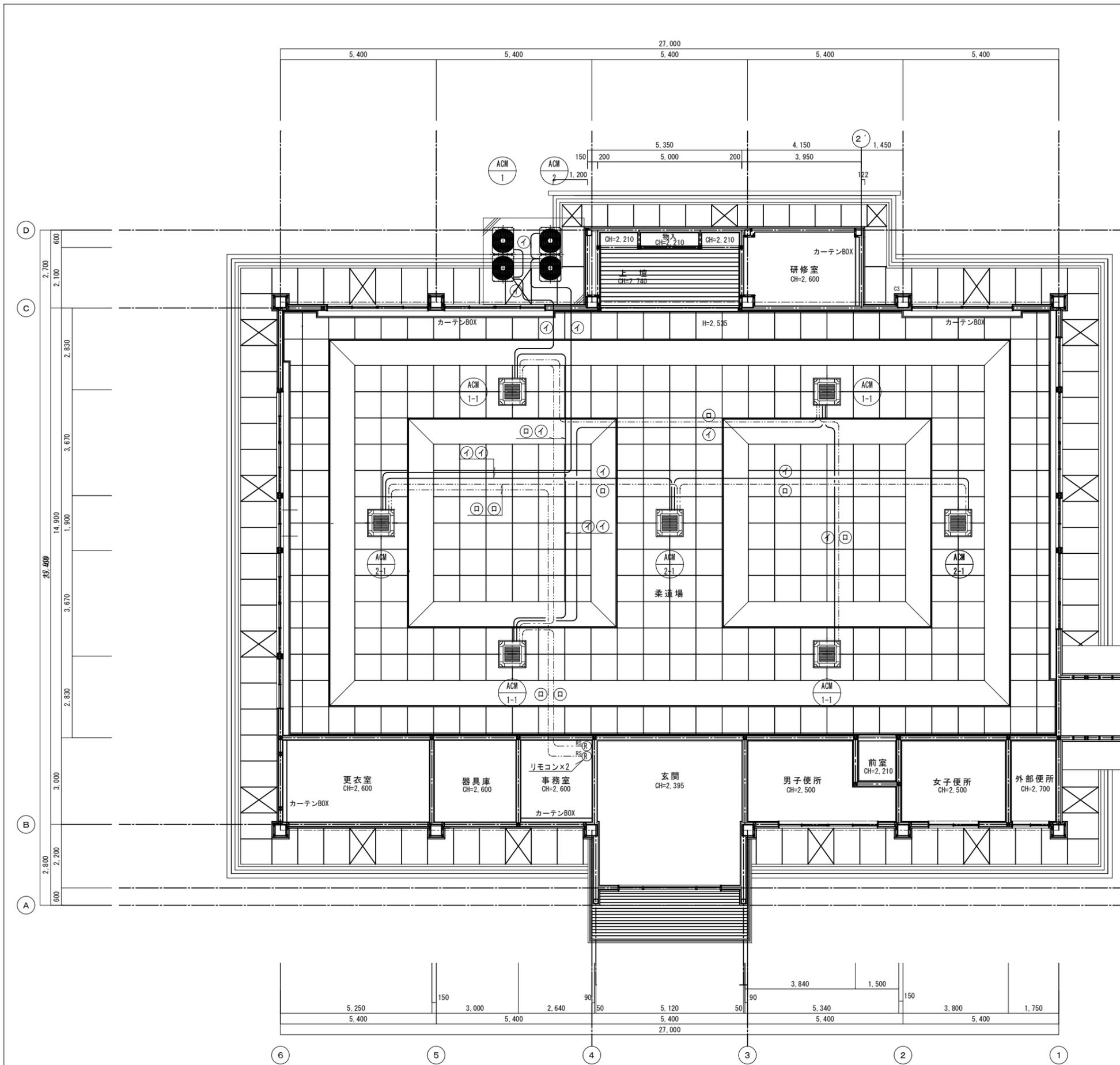
記号	仕上げ
(A)	石膏ボード(7)9下地石綿吸音板(7)9張り
(B)	石膏ボード(7)9下地石綿吸音板(7)10張り(格子模様)一部(7)12張り
(C)	シナ有効板(7)6張りOP塗装-寒冷紗裏打ち
(D)	化粧石膏ボード(7)9張り
(E)	石綿珪カル板(7)6目透かし張り-VP-スチアル塩ビ製網継
(F)	積層成材(7)12目透かし張り(相欠き)-6t
(G)	石綿珪カル板-一部有効石綿珪カル(7)6目透かし張り-アクリルリシン吹付
(H)	寒冷紗(黒)下張-ラファン小幅板-12×105(相欠き)目透張り-05CL
(I)	シナベニヤ-目透かし張り



記号	ガス管(φ)	液管(φ)
(A)	15.9	9.5
(B)	19.1	9.5
(C)	22.2	9.5
(D)	25.4	12.7
(E)	28.6	15.9



CHECK	DRAW	JOB NO	TITLE	SHEET NAME	SHEET NO
		202409	令和6年度(明許繰越) 豊科武道館柔道場大規模改修工事	換気設備平面図	A-06
				SCALE	DAY
				(A2) 1:100	



制御及び配線電源配線ケーブル一覧表・他		
記号	ケーブル種別・電線管	用途
イ	EM-CEES 1.25°-2C (冷媒管共巻)	室外機~室内機~室内機への配線
ロ	EM-CEES 1.25°-2C	空調機用リモコン (空調機付属品)
RS	空調機用個別リモコン	スイッチボックス (金属製) 露出2個用を設ける 壁露出 メタルモール (A型)
配線凡例		
記号	施工種別	備考
---	天井フトロ配管配線	
---	冷媒配管共巻配線	

